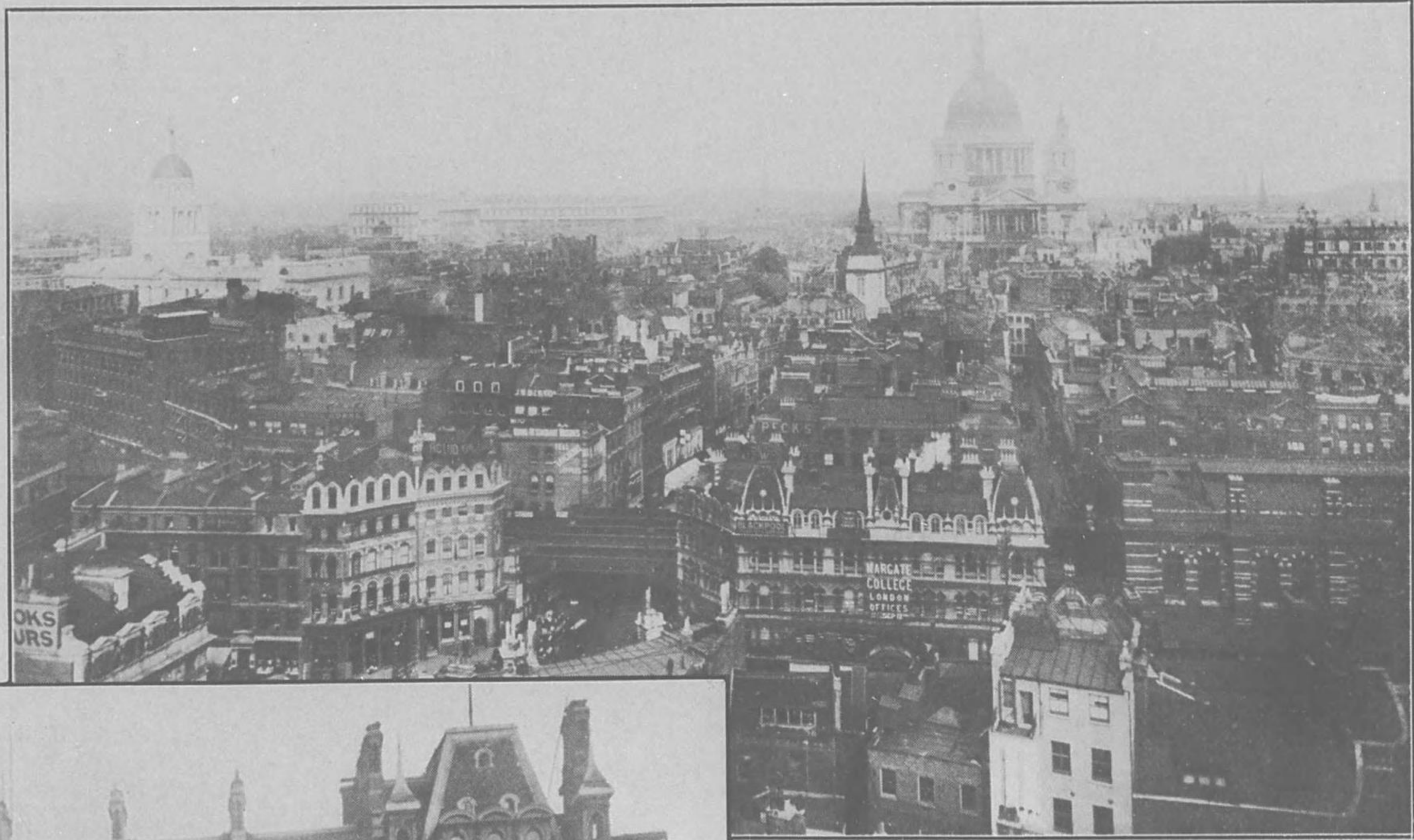
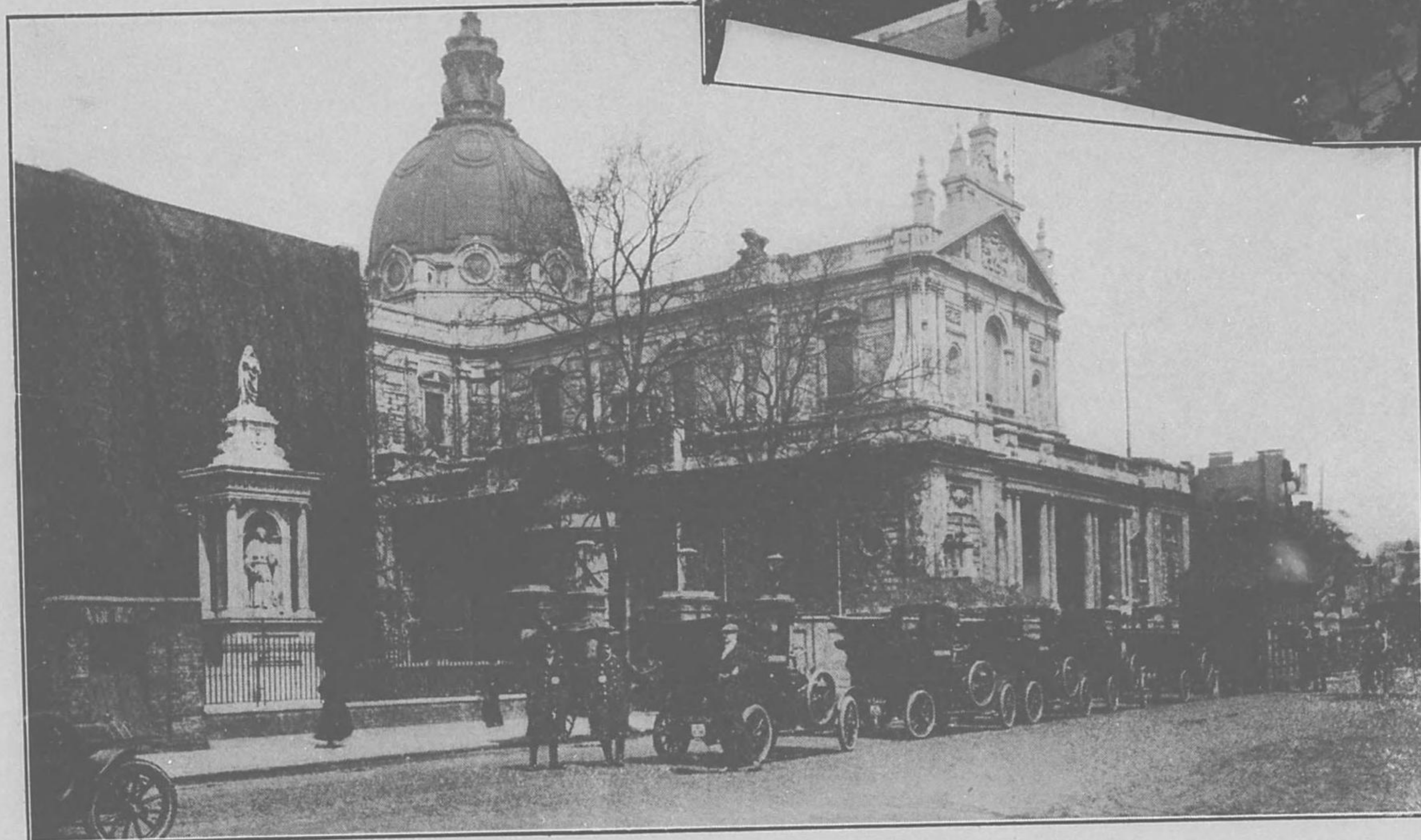


セント・ドールト寺院より倫敦市の展望 (圖上)

倫敦チャールズ・ニククロス停車場(下圖)

トラファルガー・スクウェアに接近してストランド町の西端左方に西南鐵道の終點あり市中到る處に連絡せらる是れ即ちチャールズ・ニククロス停車場にしてバーレ氏に依りて成就せられ階上にはチャールズ・ニククロスホテルあり。





ナシヨナル・ガラリー及ヒセント・マルチン寺院

左方二階建の建物はナシヨナル・ガラリーにして右方はセント・マルチン寺院なり兩者共にトラファルガー・スクウェア附近に在りガラリーは西曆一千八百三十二年より一千八百三十八年の間に竣工せしものにして建築費約百萬圓を投じ而も其當時は僅に三十八種の繪畫のみなりしか現今は二千種以上の繪畫を蒐集するに至れりと云ふ。

プロンプト禮拜堂

サウス・ケンシントン博物館の西方に在りてグレック式の建造物にして西曆一千八百八十四年に公開せられたる院なり。

英國博物館

レジエンド公園の南東殆ど市の中央に在り英國は流石に古雅を貴ふ國柄なれば三四千年前の古物埃及印度希臘伊太利其他世界の各國よりして多數に蒐集せられ我國古代の武器茶湯道具等も亦藏置せらる而して其最も珍とせらるるものは世界に於て一番古き文字あることにして勿論未だ紙の製造せられざる時代のものなれば之を小石に彫刻せり又世界に於ける憲法の根原たるマグナカルタの原本あり其他種種の珍品枚舉に遑あらずして其價格の幾億圓に上るを知らざるなり。





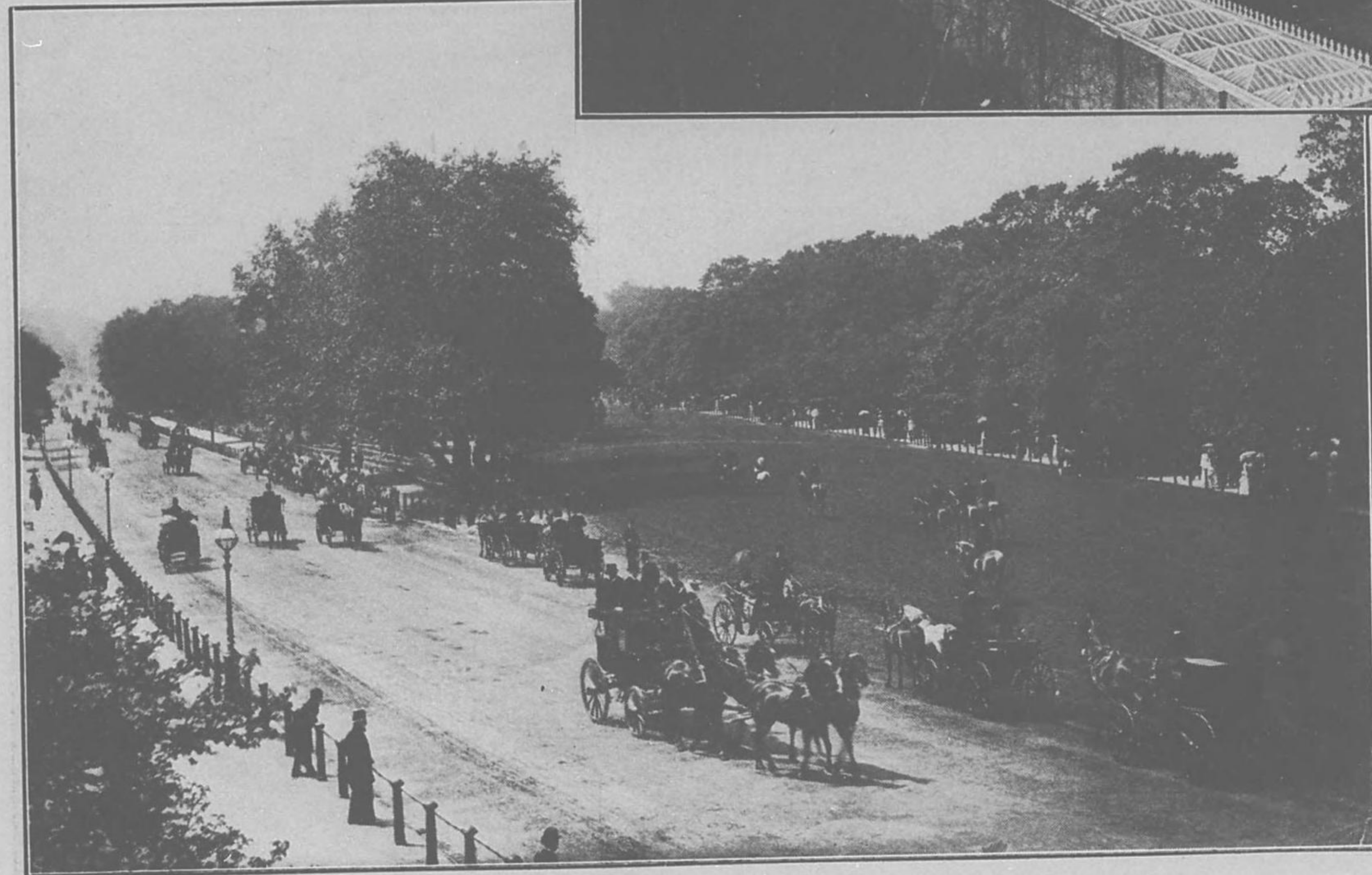
倫敦橋

テムズ河に架せり此附近は倫敦市中商業の最も盛なる地域にして恰も我が日本橋と云ふか如き所なり長さ約八百尺其欄干の上に於けるランプ臺は曾て佛蘭西より分捕りたる大砲を以て製造せられたるものなりと云ふ一日此橋上を通行するもの車馬二萬二千臺十一萬餘人に及ふと云ふ其般賑なる以て知るべきなり。

ピカデリー街

ピカデリーはヘイマアテットよりハイドパークの間に在りて
レジンド街の西に連り長さ殆ど一哩倫敦市西部の最も繁盛な
る地域にして劇場寄席料理店等檐を竝へ夜間は兩側の燈影晝
よりも明に實に不夜城の觀あり或る英國の文學者は此處を稱
して人肉賣買の場所と言ふ以て其一般を窺ふことを得へし。





ハイド・パーク

セント・ジエームス・パーク、ケンシントン・パークと相接近して其地域四十六萬八千坪ありエリゼベス女皇時代には此公園内に鹿狩りを爲せしことありと云ふ以て其廣大なるを知るべく其設備に至りては善美を盡し人道車道は勿論又廣大なる馬場の設備あり音楽堂處處にありて晩景に至れば男女手を携へて此公園に散歩するもの其幾千人なるを知らず。

犬の墓

ハイド・パーク内一の名所にしてグイットリヤ門内にあり其縁起は或る紳士か其愛犬の此門側にて轢殺せられたる爲め其遭難地近く此處に葬りたるに因ると云ふ英國人か其死後ウエスト・ミンスター、セント・ポール寺院等に葬らるゝを以て人間無上の光榮とするか如く犬に取りては此處に葬らるゝを無上の光榮と爲すに至れり而も後には獨り犬のみならず鸚鵡の碑をも築きたる人あり又甚しきは遠くメキシコ國より遙に愛犬の骨を納むべく特に來航したる人さへあるに至れりと云ふ。

水晶宮

倫敦市を距る八哩シイデン・ハムと云ふ處に在り全部鐵骨にして硝子を以て之を覆ひ遠くより之れを望めば日光と相映照して恰も水晶の如し故に此名あり其重なる部分は西曆一千八百五十一年第一勸業博覽會の建物を使用し其中央部の長さ三百十三尺幅百二十尺高さ百一十一尺ありと云ふ其周圍に廣大なる庭園の附屬せるあり内外に料理店、音楽堂、舞踏室其他種種の遊戯場ありて恰も小規模の博覽會の如く終日遊覽して飽くを知らすと云ふ。

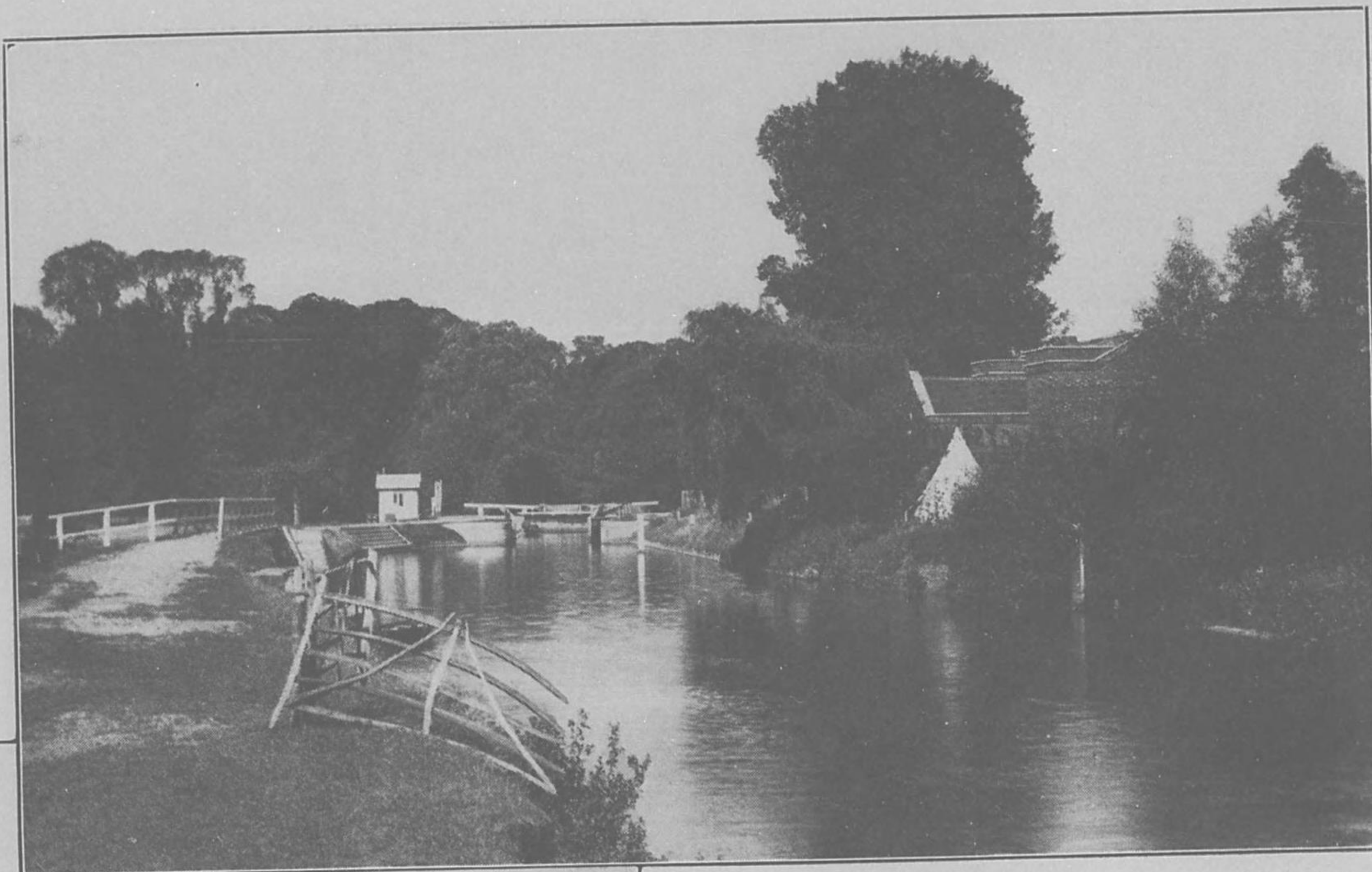
テームス河上流の堰

テームス河流には上下三十餘箇所の開門あり自由に開閉して
水平面の高低を計るの設備を爲す此地方は有名なるオックス
フォード大學あるを以て名あり。

テームス河の上流

オックスフォード大學とケンブリッジ大學の端艇競漕をして盛
に且つ世界に有名ならしむるは此テームス河に歸する所頗る
多大なり





オックスフォード近傍田舎の風景

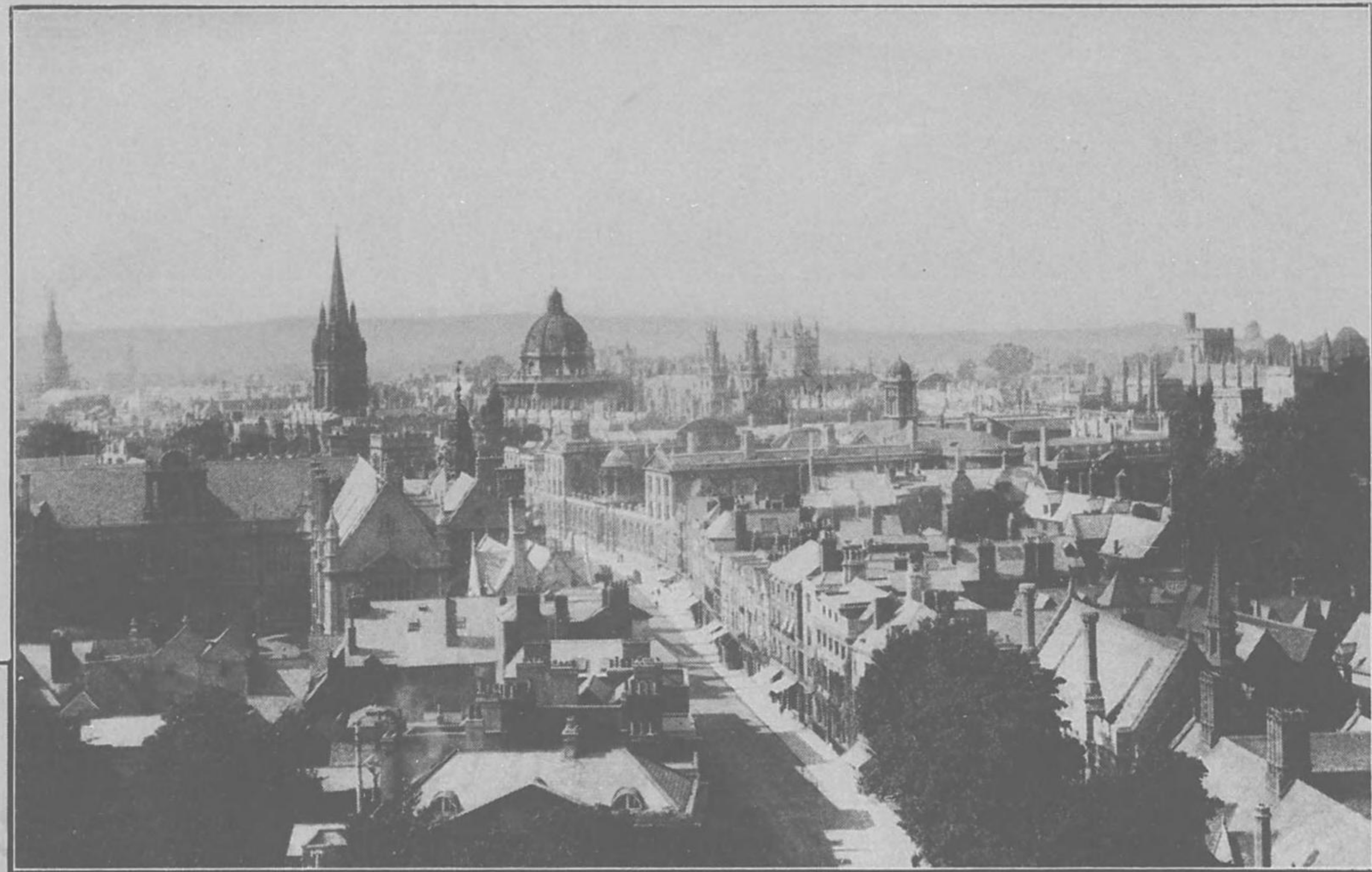
オックスフォードはケムブリッジと共に英國の著名なる兩大學の所在地たるに其風光の明媚を以て名あり。

オックスフォールド市

歐洲に於て最も古く十三世紀の初め既に三千の學生を養成したるオックスフォールド大學の所在地にして此大學はケンブリッジ大學と並稱せられて其名世界に高し然れば此市の繁榮は一に此大學の盛衰に因りて相消長すと云ふ。

オックスフォールド近傍テームス河の上流

テームス河の上流は到る處水清くして綠蔭深ければ各國人の避暑地となり夏期中は水上生活を爲すものあり或は此近傍に天幕を設けて田園的生活をなすもの多し。





ハンプトンコート離宮

倫敦の西南汽車四十分許にして達する地點にあり又電車の便あり西曆一千五百十五年ウルゼー僧正の爲めにガテナルフルセイ氏に依りて建てられ其後ヘンリー八世の望に依りて離宮となりジョージ一世以來宮城たりしか後再び離宮となりて公衆の觀覽に供することゝなれり宮中繪畫を陳列し中には稀有の珍品も少からすと云ふ。

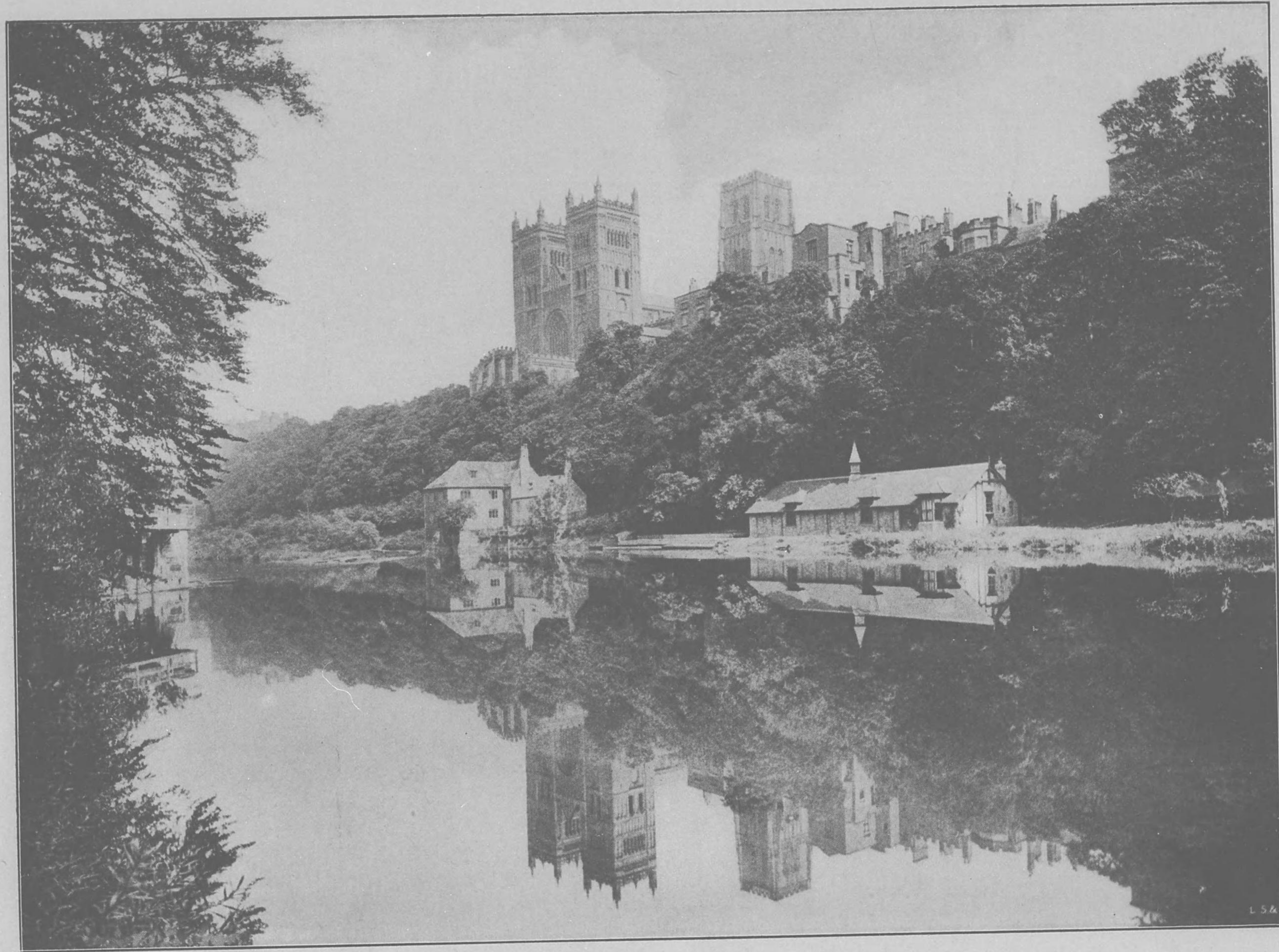
セント・ジョージ・チャペル(上圖)

ウインズル城内に在りてガーター勳章を有する人人の功を勸し其幸福を祈る所にして其左右の旗はガーター勳章を受けたる人人の紋章にして我か菊花御紋章も金色燦爛として飾られたりエドワード四世の御代より起工してヘンリー八世時代に竣成せしゴシック式の建物なり此内には歴世の國王を葬り今年崩御のエドワード七世も亦此内に葬らるゝと云ふ。

ウインズル城(下圖)

倫敦を距る二十餘哩英國皇帝歴代の居城となり或は慶典を擧げ或は議會を此處に開かじむることあり初めはウイリヤム・コンクケラー王の築く所なれともヘンリー一世同二世の時に改築を経て今日の壯觀を爲し又最後に建築費九百萬磅を投じて更に修築を加へ其間ジョージ四世よりヴィクトリヤ女王の時代に及へりと云ふ城はテムス河の崖上に臨み幾多の城樓を連ね其中央には圓塔高く屹立し四顧開豁北方遠く河を隔てミートンの學習院を眺望する等頗る形勝を得たり内部の各室は其裝飾の善美を盡せること言ふまでもなく現皇帝御居間の外は係員の案内を以て盡く拜觀するを得ると云ふ。





ダーハム寺院

倫敦より二百五十哩許りの北部に在り七八百年前は繁盛なる市街なりしも現今は痛く衰頽せり此寺院は河岸に在りて英國内にて最も有名なる寺院の一なり。

ニューキャッスル市の中央部(上圖)

倫敦を距る二百七八十里の北方に在りタイン河其中央を流る人口約三十萬地下一面に石炭を以て覆はるか故に名あり工業最も盛にして就中帝國軍艦三笠を初め多くの各國軍艦及商船を製造せるを以て有名なるアームストロング會社は實に此處に在り。

アームストロング庭園の一部(右圖)

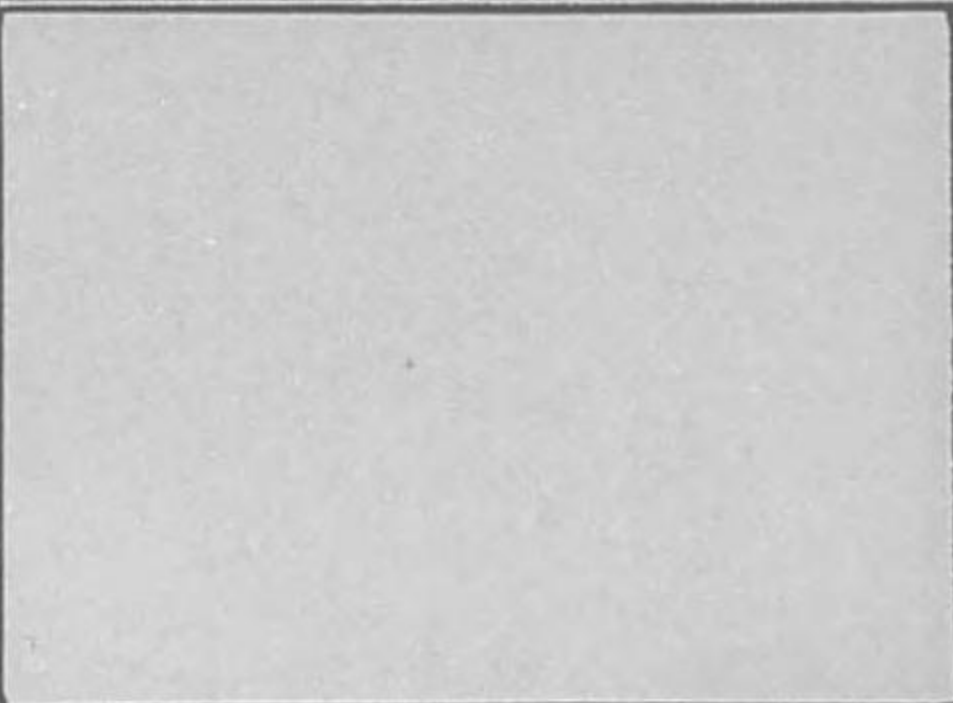
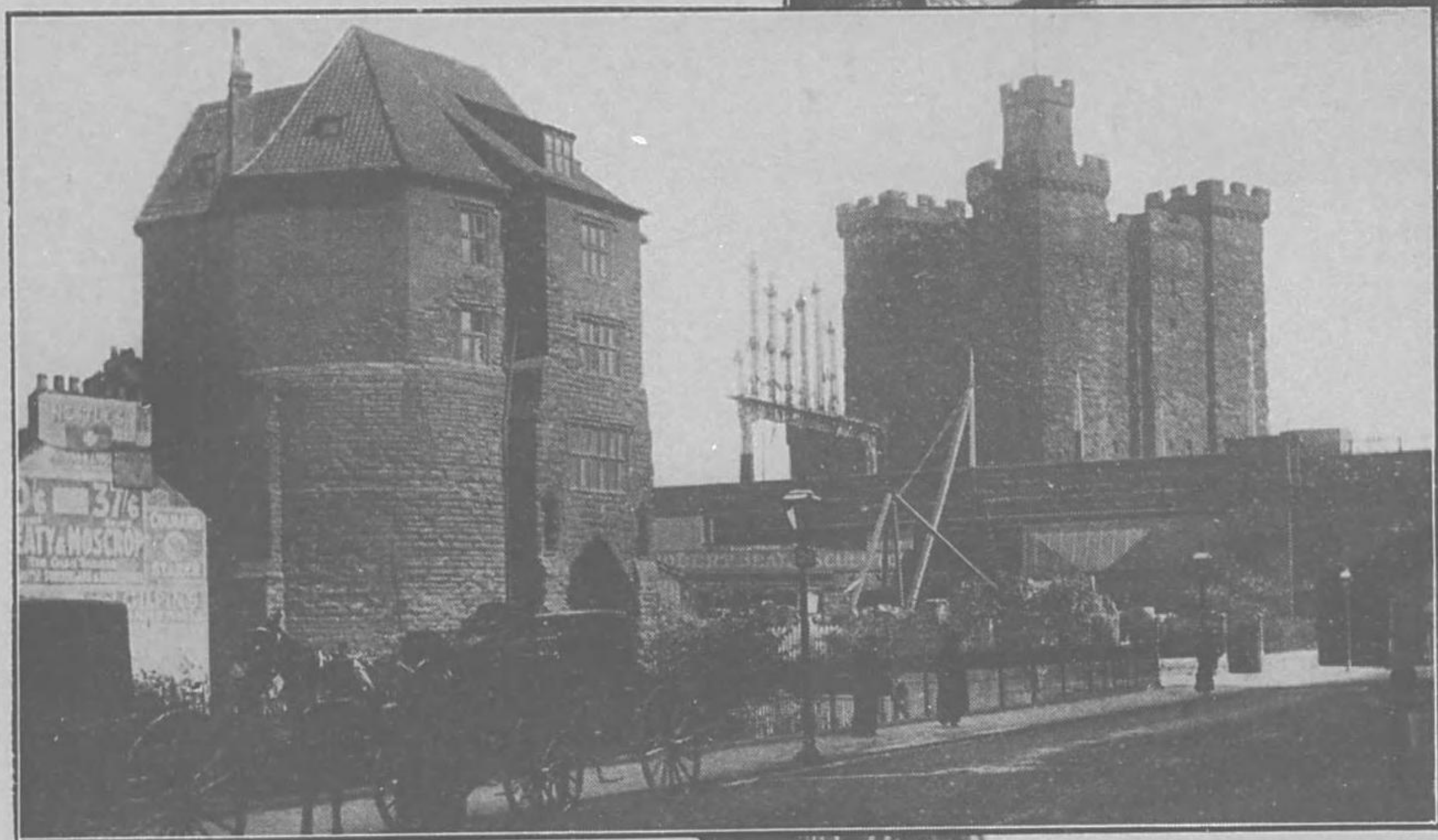
ニューキャッスル市の郊外にあり樹木鬱蒼として晝尙暗く泉水小河巧に配置せられて風光愛すへし元アームストロング氏の私有なりしも其死後此市に寄附して公園と爲せり。

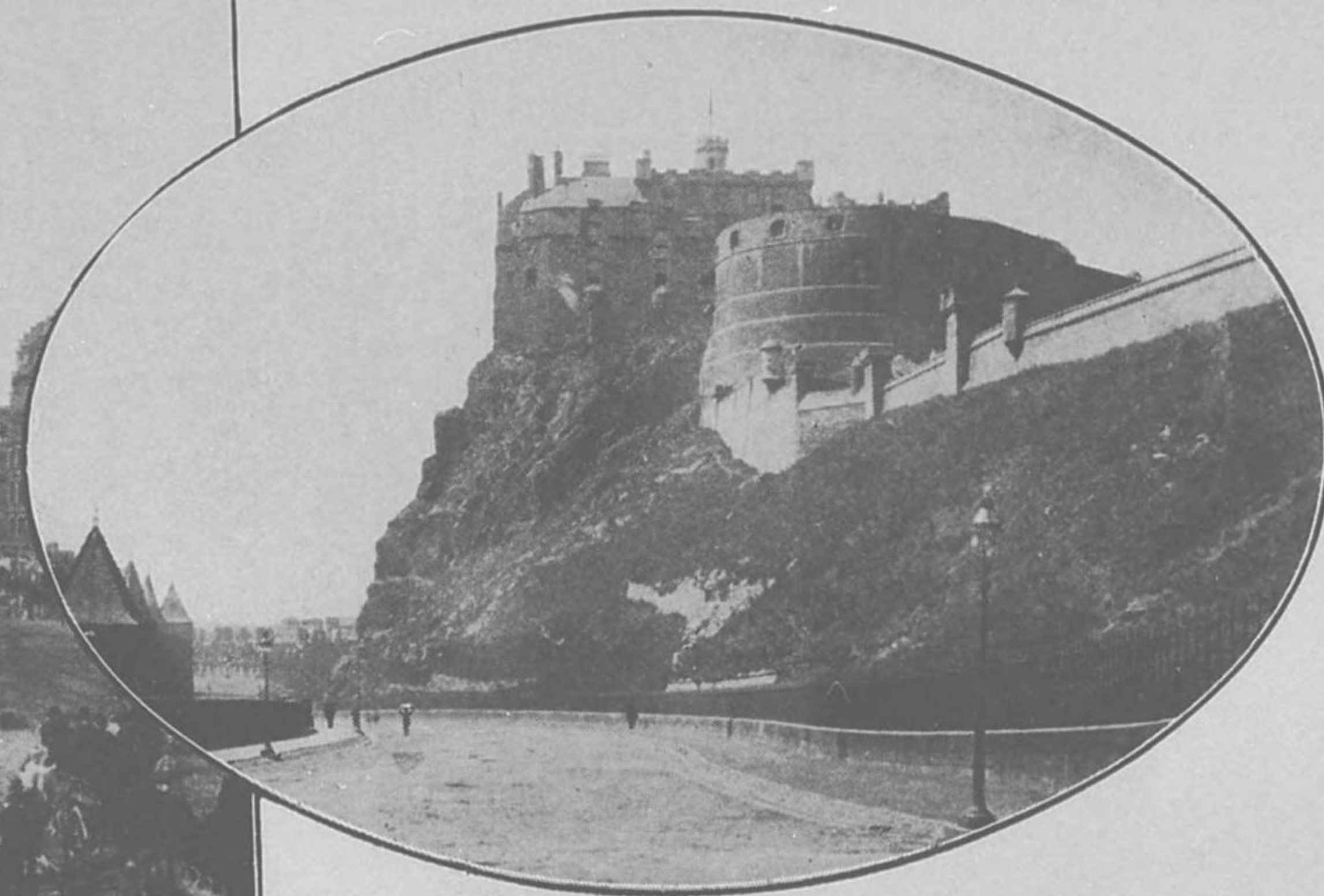
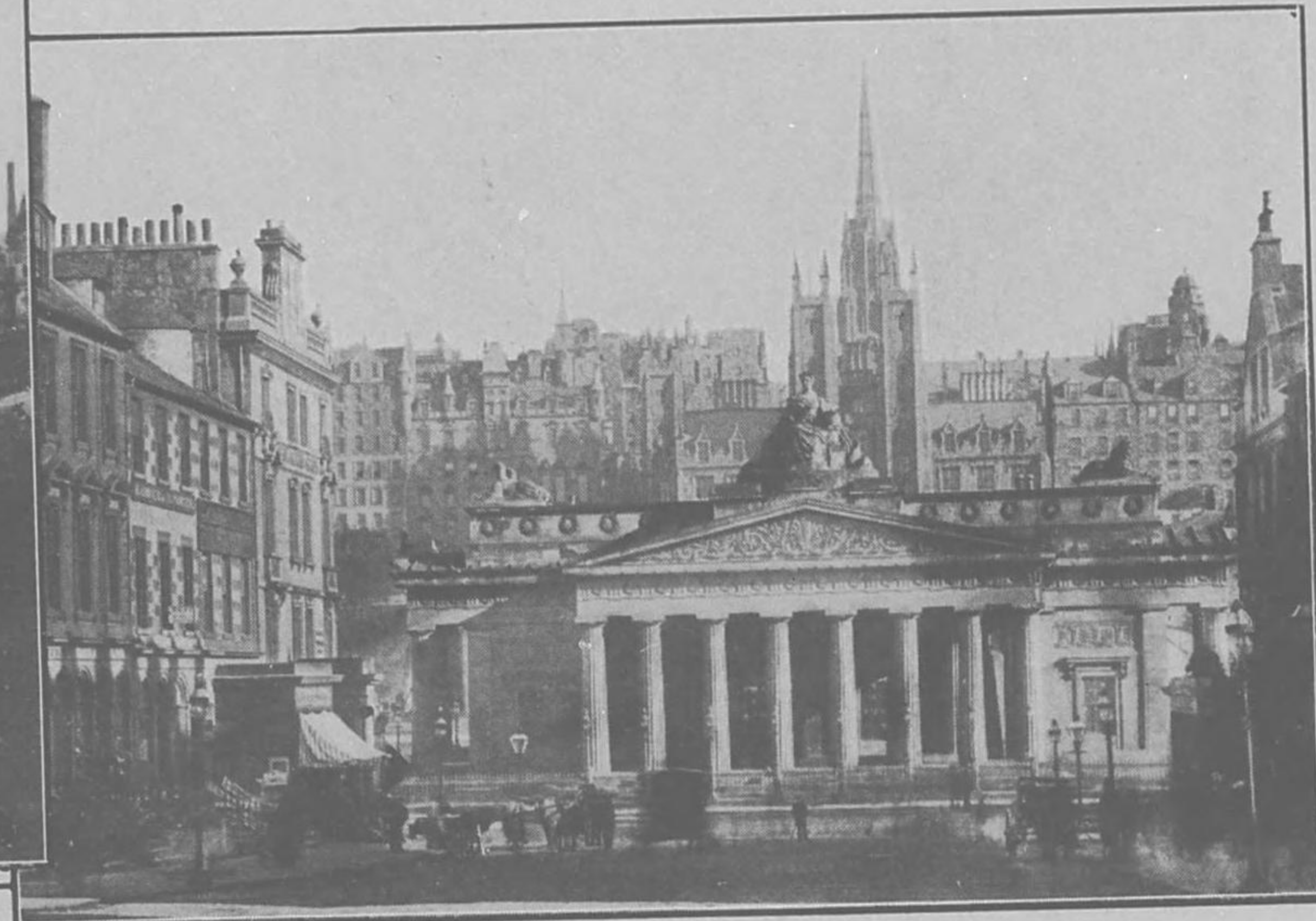
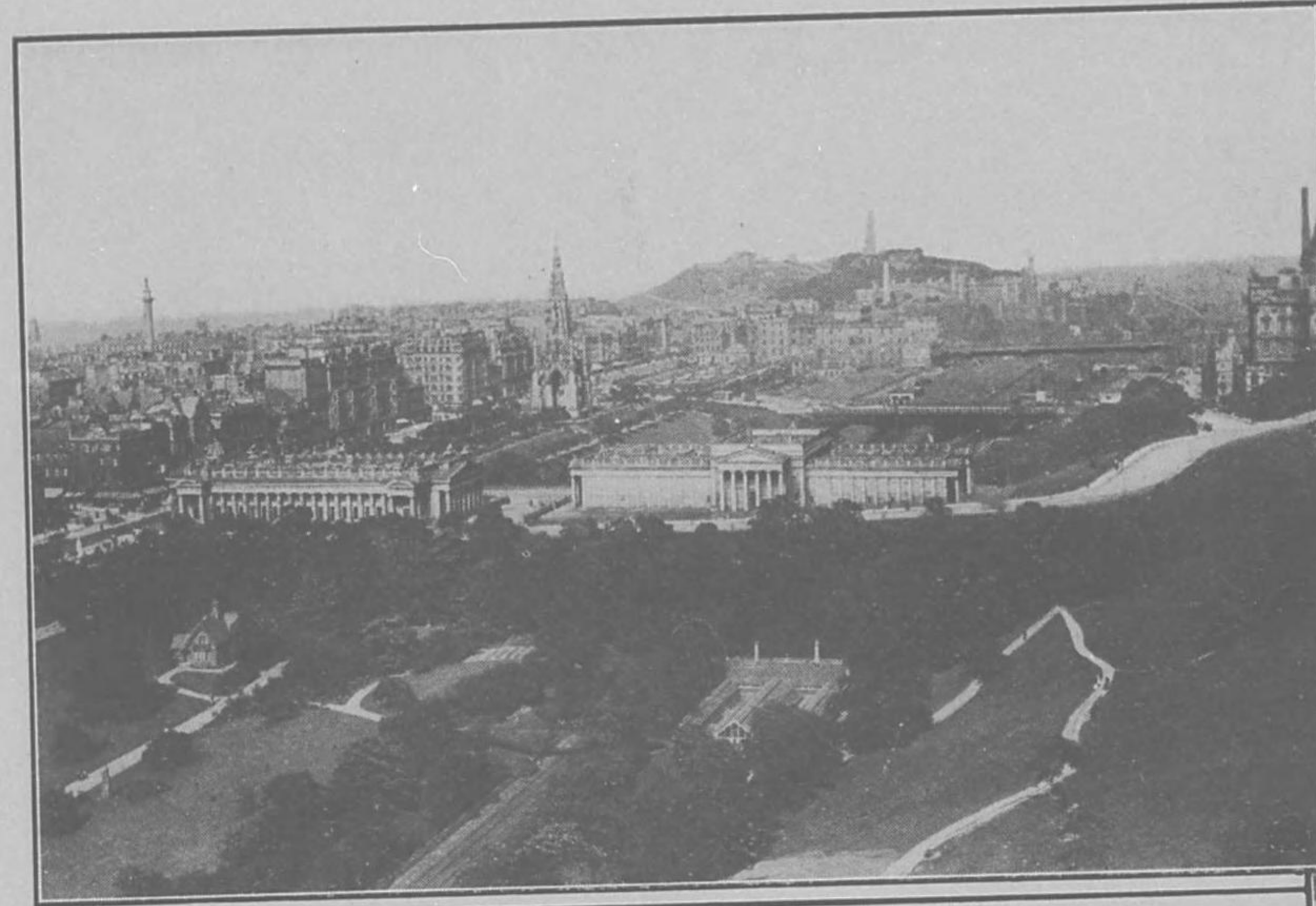
ニューキャッスル古城及黒門(左圖)

市中に在りて十一世紀の頃ロバアート・コウサウスに依りて築造せられ今はノールマンチャペル又は圖書館に供用せらる而して城壁の入口にあるを黒門と稱す。

ニューキャッスル市のキューイセラル通(下圖)

ニューキャッスル市第一の繁華なる市街なり。





エジンバラ市の遠望(上圖左)

本市は蘇格蘭の首府にして人口約三十五萬ホース河口に在り
倫敦より汽車十時間餘にして達するを得へし西曆六百十七年
頃より開かれたる都會にして其古雅瀟洒にして風景に富み且
つ避暑に適するの地たるを以て名あり十八世紀の初めより十
九世紀に亙りて英國の有名なる文學者此地に輩出すウイリヤ
ム、スコット及ダーウインの如き即ち其一人にしてスコットの記念
塔は市の中央に立てり。

スコット記念塔(下圖左)

詩人サー・ウァーター・スコット記念塔は西曆一千八百四十年に建立
せられ塔内には大理石を以て彫刻せるスコットの像を安置せり
スコットは湖上の美人なる長編を以て有名なる詩人なり。

エジンバラ美術館(上圖右)

伊太利、西班牙、英國等の繪畫を蒐集してスコット・アカデミー展覽
會は毎年一回宛其館内に開催せらるると云ふ。

エジンバラの古城(下圖右)

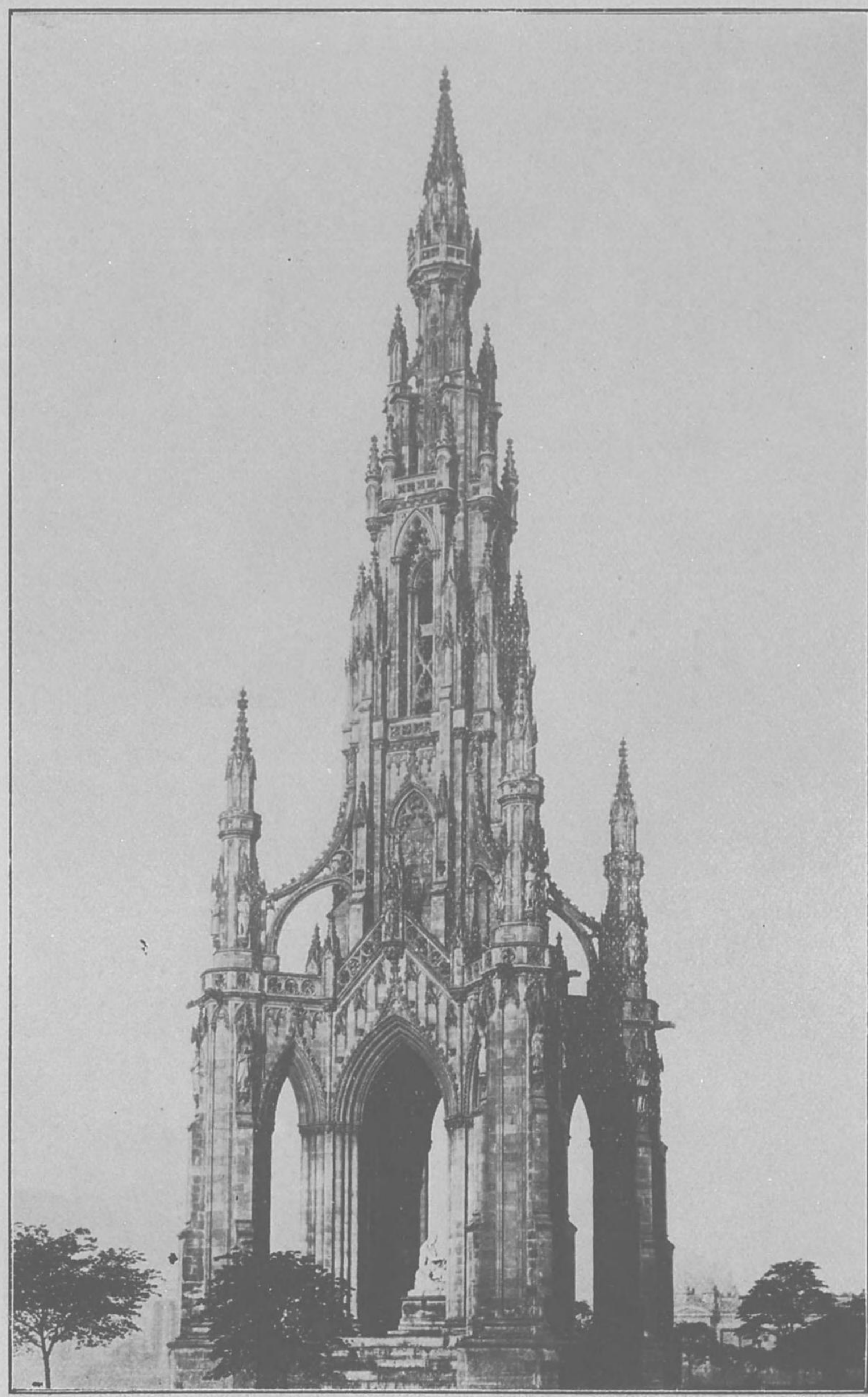
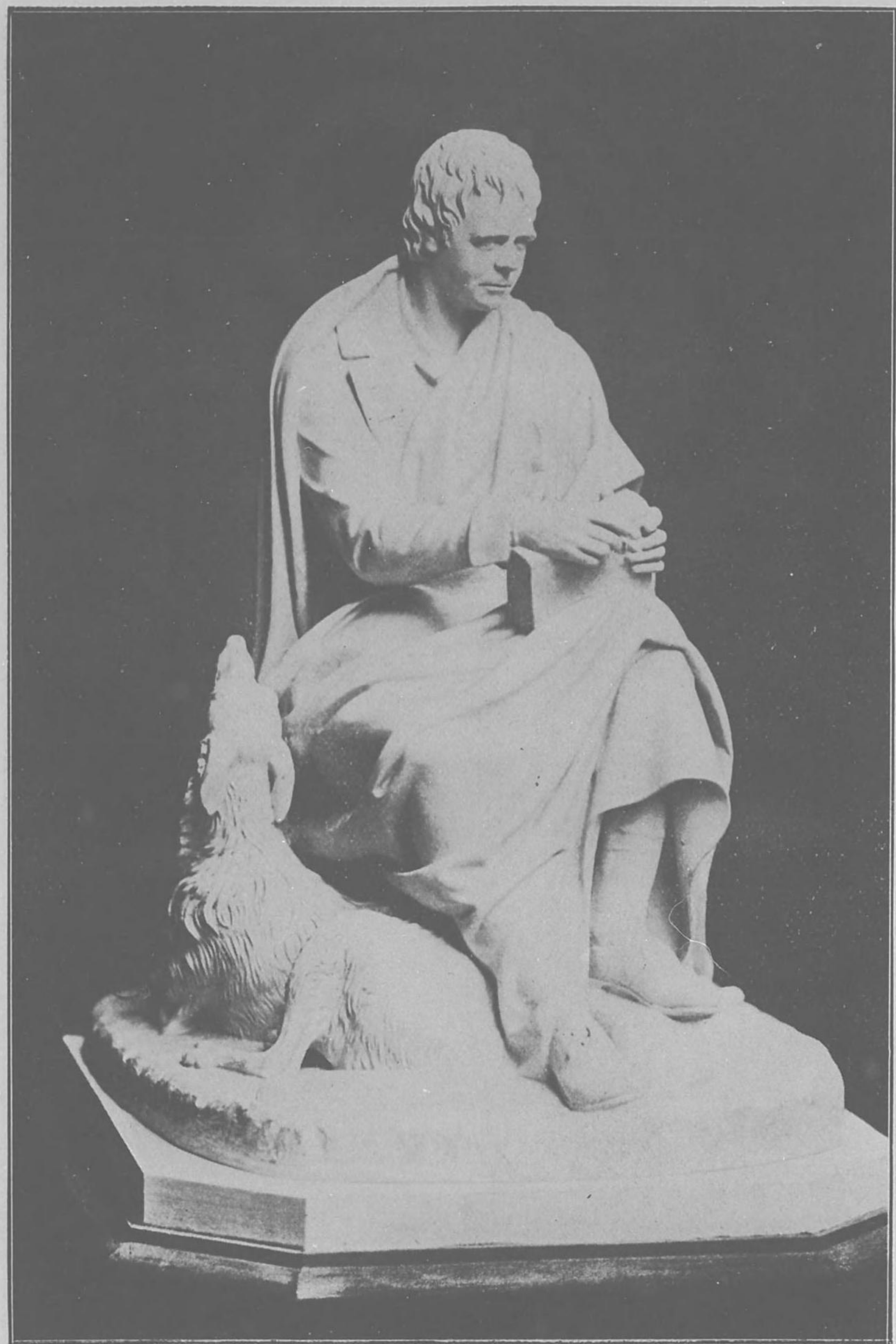
小丘に據りて築かれたる古城にして七世紀の初めノーサムプ
リヤの王イドウインの創造に係り歴世蘇格蘭王の居城として
久しく英蘇兩國の爭奪せし處なり今兵營となりて遊客の縦覽
に供す。

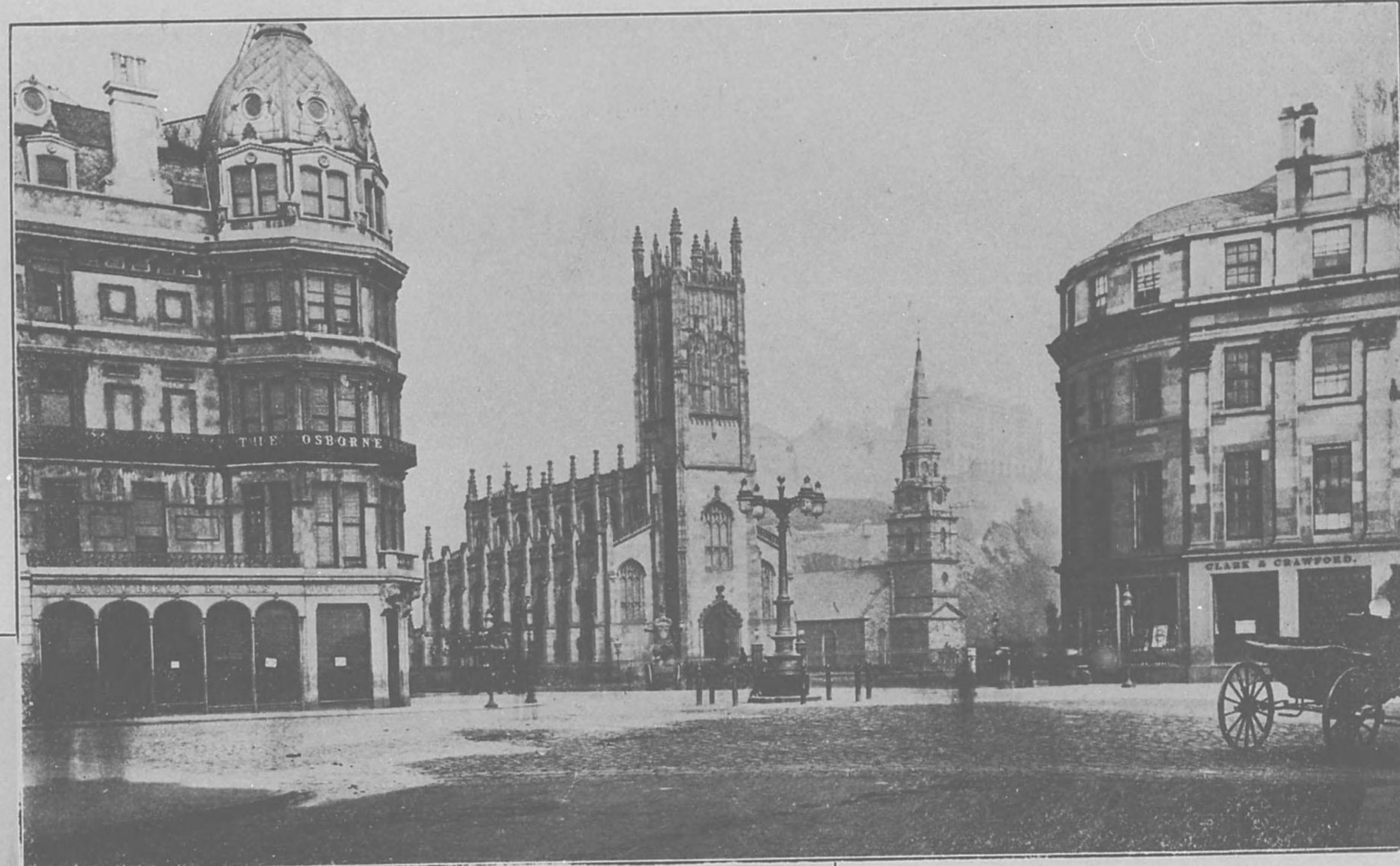
スコット記念塔

塔はエデンバラ市の最も美麗なるブクンセス・ストリート・ガーデンの西方に在り西暦一千八百四十年チャイプ氏の設計に依り落成せられ其内に有名なるスコットの像あり。

スコットの像

全體純白色の大理石を以て彫刻せられ前記の記念塔内に在りステール氏に依りて造らると云ふ。





セント・ジョンズ寺院

エデンバラ市に在り中央の塔を有する建物は即ちセント・ジョンズ寺院にしてウエスト・ブリンセス町の町端南側にある廣大なる寺院なり。

病院

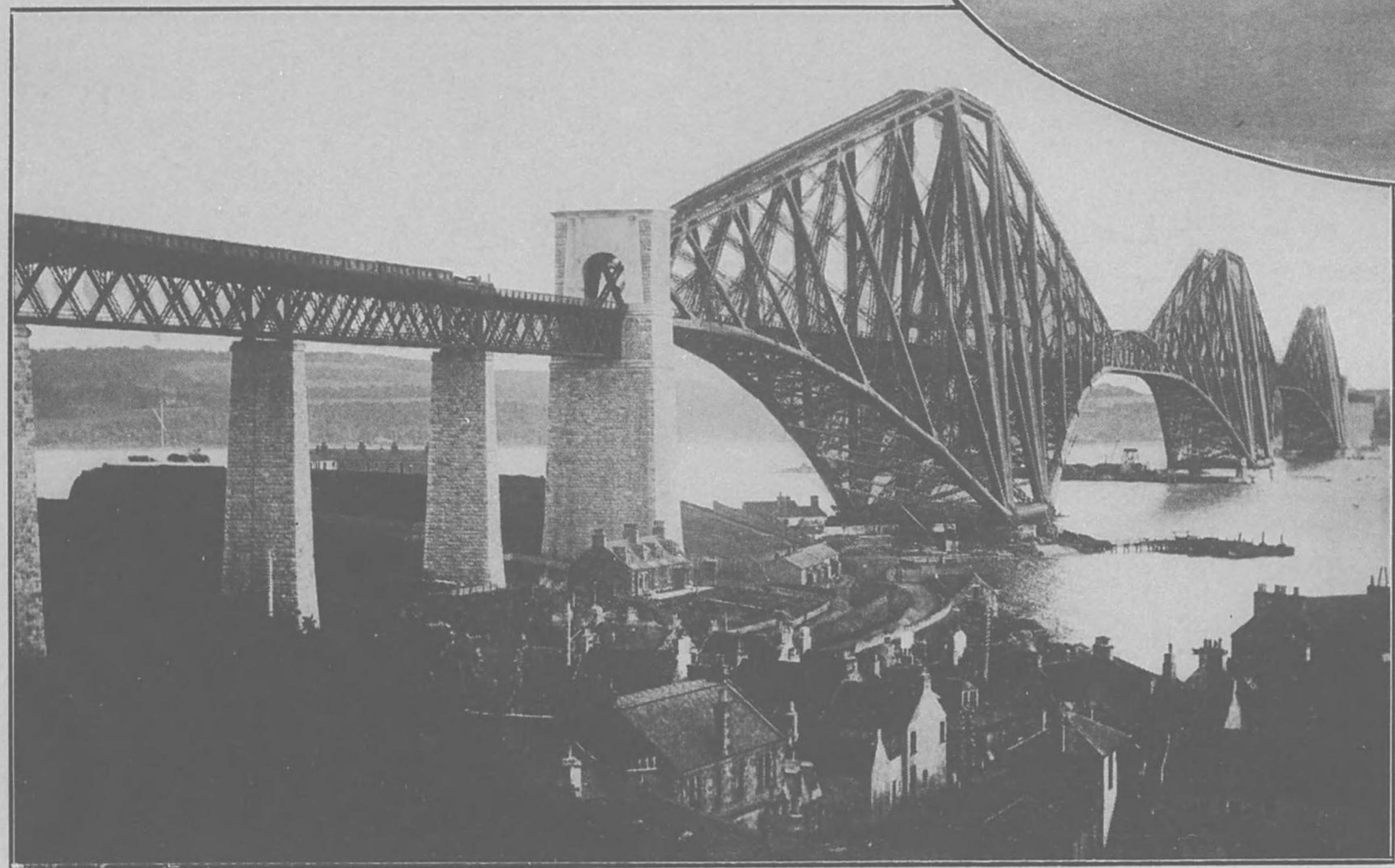
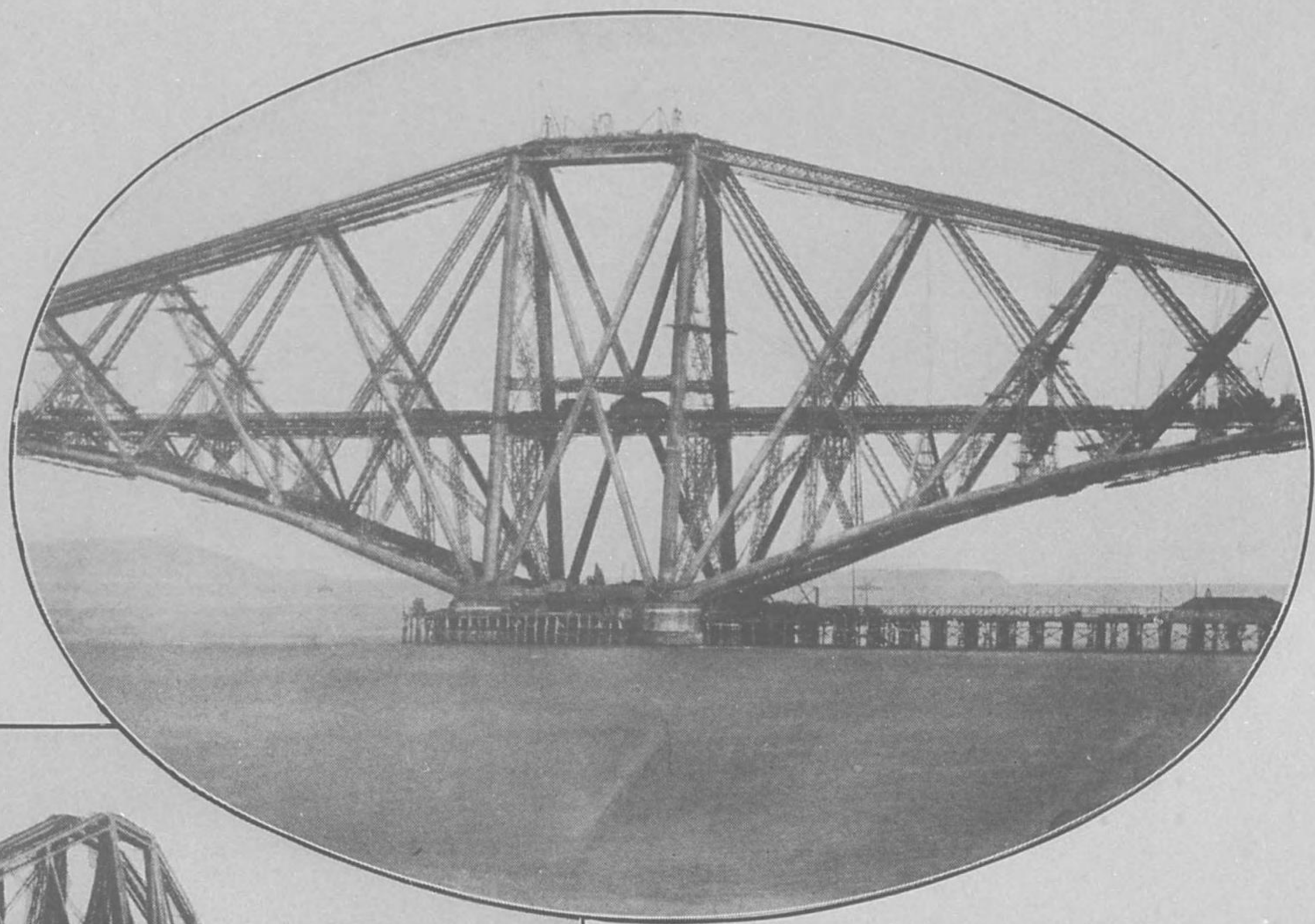
此病院は純粹なるスコット式の建築物にして經費四百萬餘圓を要し一箇年間收容する患者の數約八萬人に及ふと云ふ。

ホース・ブリッジ

ホース河口海上に架せられ佛蘭西エツフェル塔の設計者エム
エツフェル氏監督の下にサアー・ジョジ・ホウラ、サアー・ベンヂャミン・
ベーカー二人の手に依りて設計せられ西曆一千八百八十三年
より七年間の歳月と三千万圓の經費を費し全體の長さ八千二
百九十五尺にして米國紐育のブルークリン橋と共に世界最大
鐵橋の一なり。

ホース・ブリッジの一部郭大

橋脚間の長さは米國紐育のブルークリン橋より百尺程長く其
最高所は満潮時に於て尙且つ水面上百五十一尺ありと云ふ。





エ ッ ク 湖(右上圖)

三千七百五十七尺なるブレカルタア山の麓にある湖水なり。

同上湖の一部(右下圖)

ロ モ ン ド 湖(左上圖)

蘇格蘭の風景は一般に我が日本に酷似する處甚だ多く大小の湖數百あり就中ロモンド湖最大にして延長二十五哩に互り幅最も廣き所は五哩を有せり之に次てヴェナカー、アクレレー、カトリンの諸湖あり到る處山容水態秀麗ならざるなく英國の詩人か幾度か聯想したる理想郷なり然れば盛夏の頃避暑客の來り集まるもの幾萬人なるを知らすと云ふ。

インバースネド瀑布(左下圖)

スコット山間よりロモンド湖に流れ込む瀑布なり。

カトリン峠

長さ九哩なるカトリン湖畔の峠なり。

カトリン湖

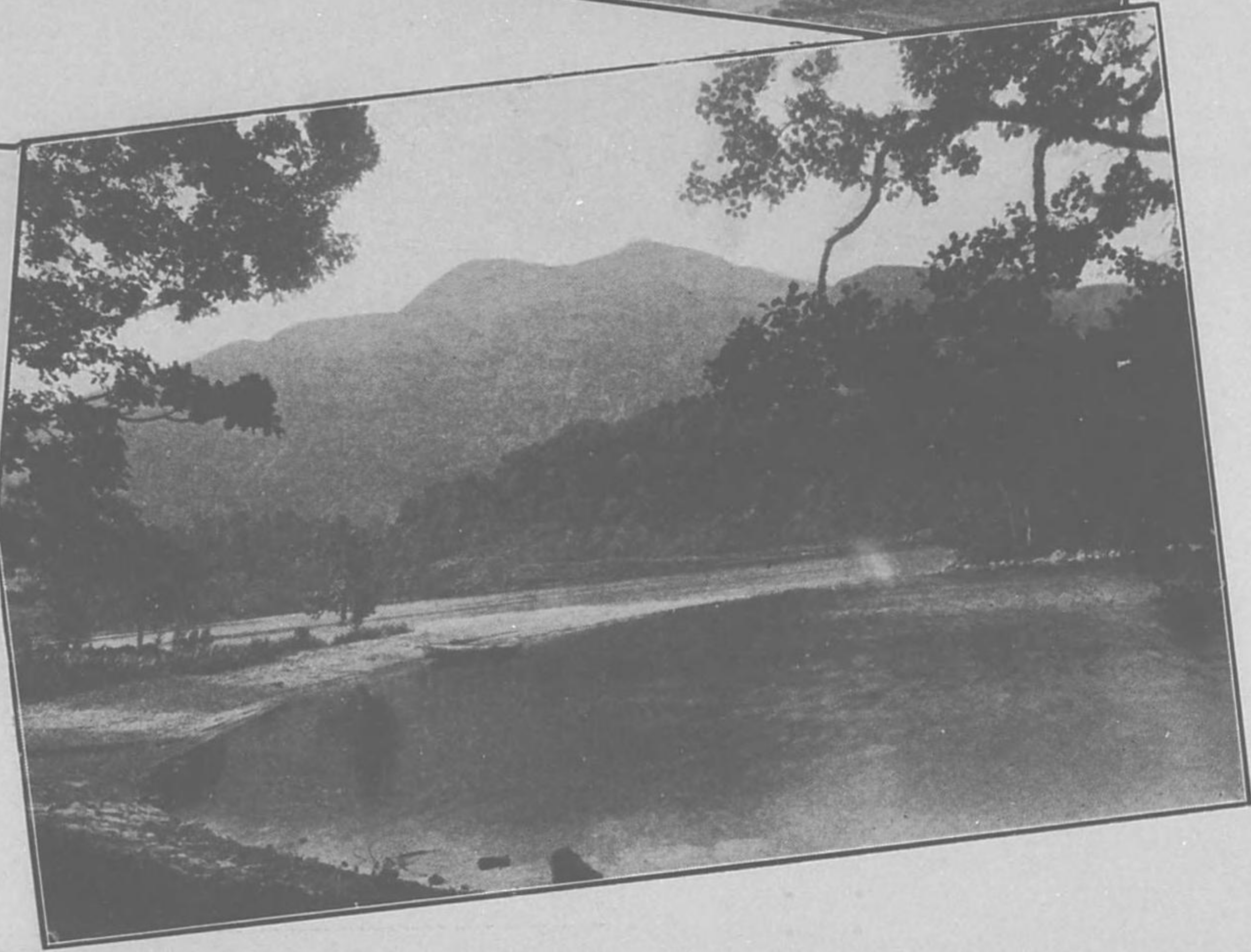
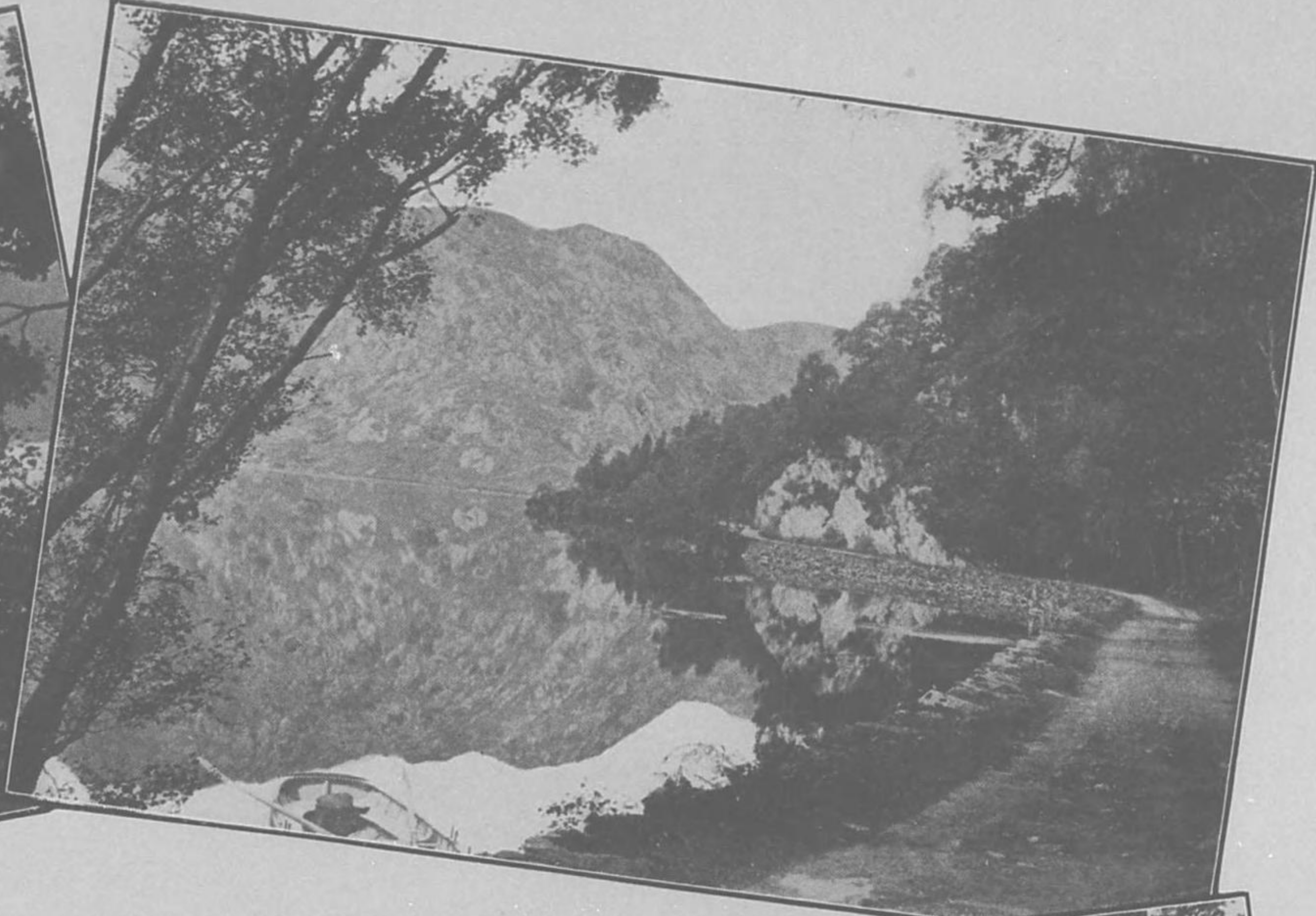
英國の詩人サー・ウォーター・スコットか一代の傑作湖上の美人を以て有名なる湖水は即ち是れなり。

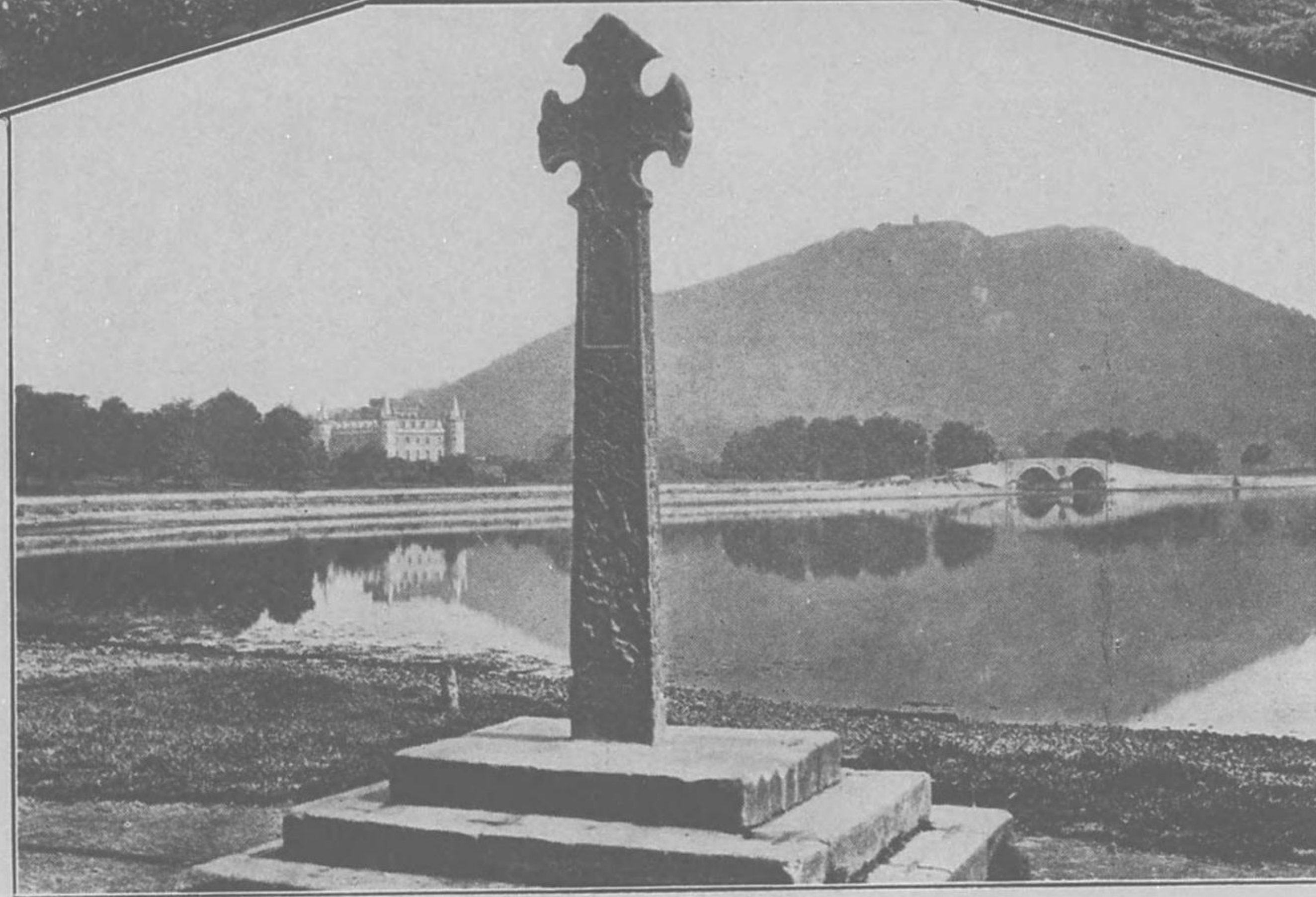
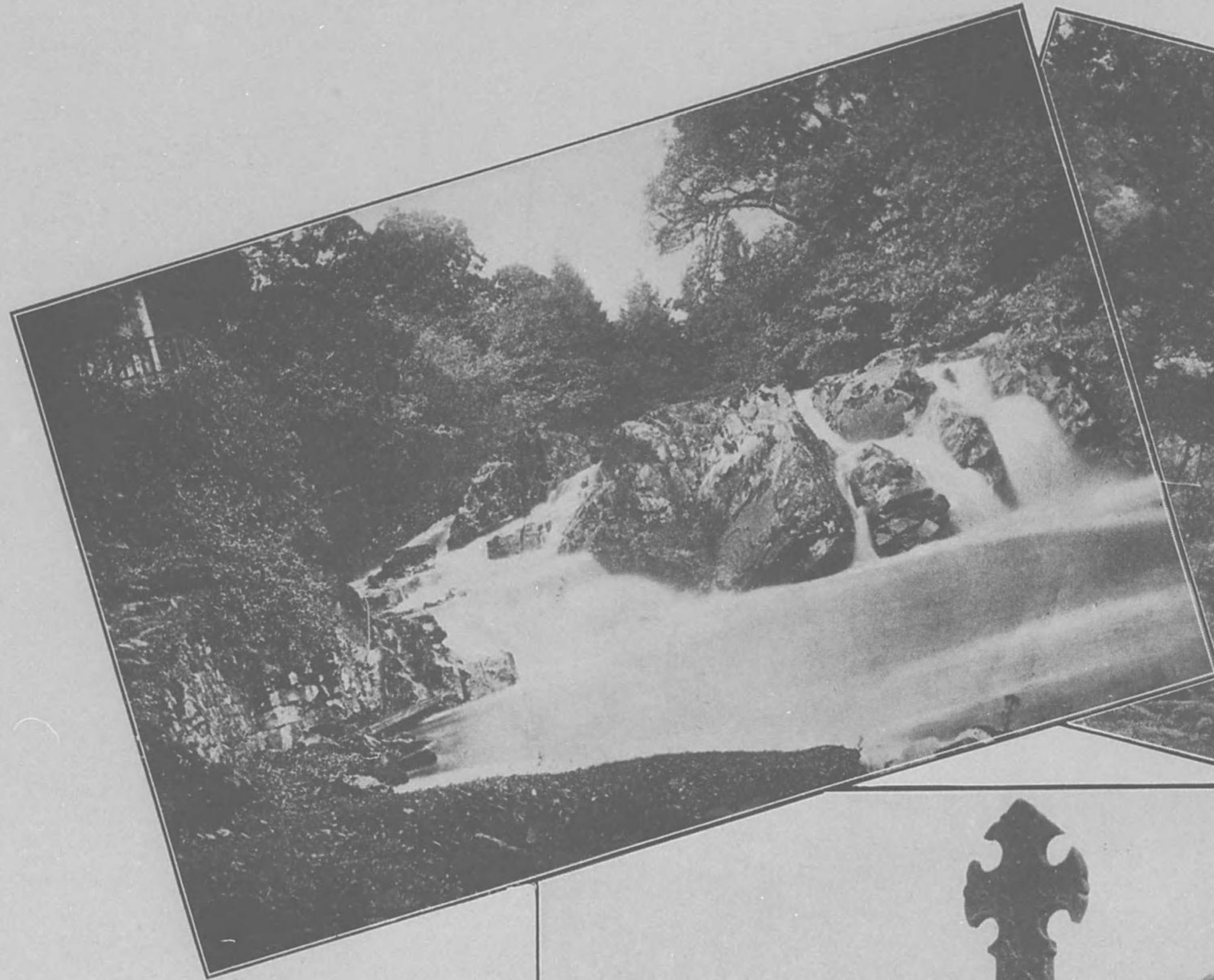
同上

正面にある島は湖上の美人によりて有名となれるエレン島なり。

カラントー

チース河岸の市にしてハイランド旅行者の中心點なり。是より北一哩の處にブラクインの瀑布あり。





ト ロ ッ サ ク ス 峠

ト ロ ッ サ ク ス 町よりカテレク湖に到る山中の小道なり。

イ ン ヴ ェ ラ レ ー

フネエ湖の西北の湖畔にある一小市なり。

イ ン ヴ ェ ラ レ ー の 十 字 架

アルゼーリ公爵の領地にして十字架のある所即ち其城址なり
と云ふ。

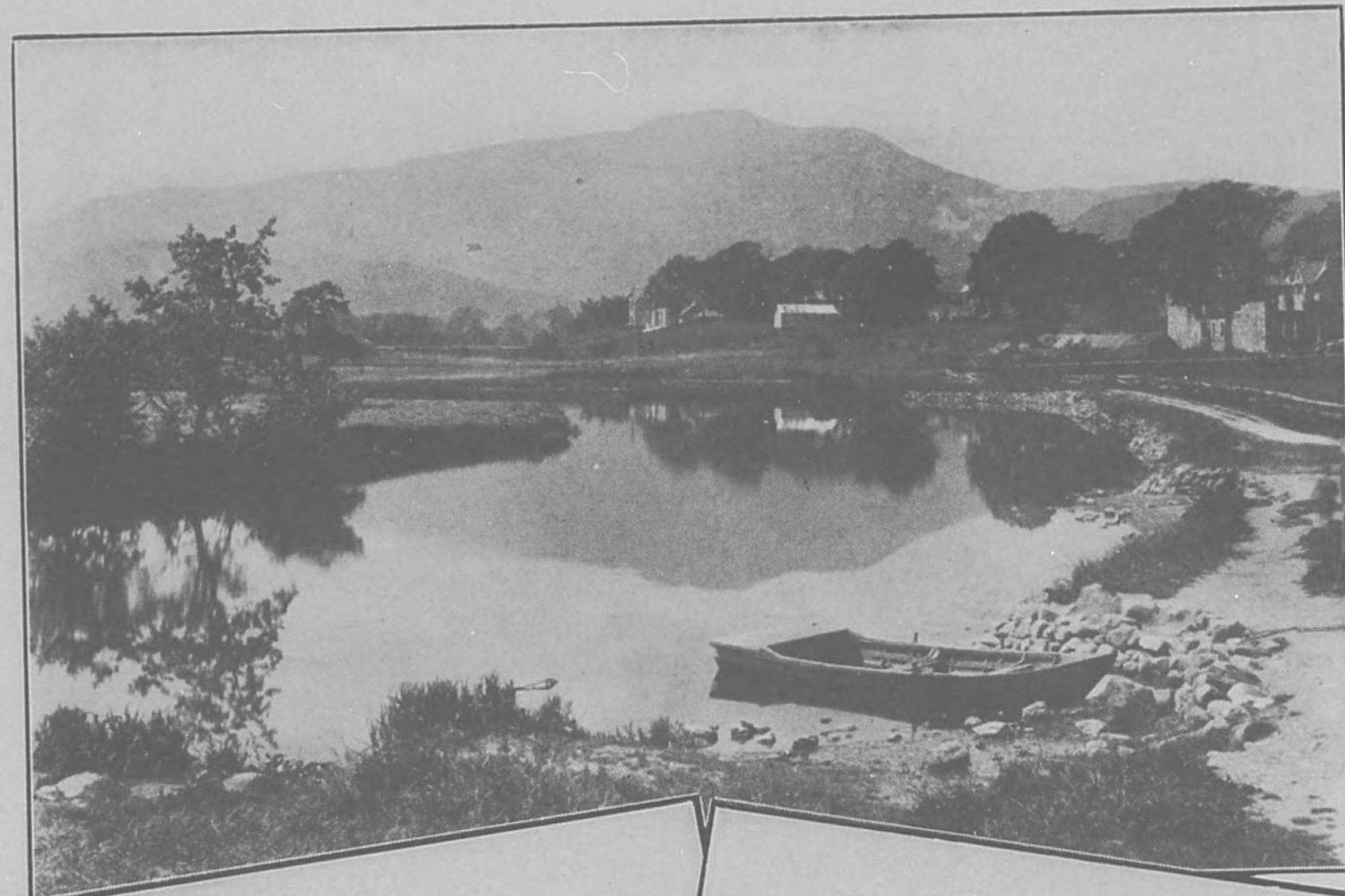
ベンレーデー山

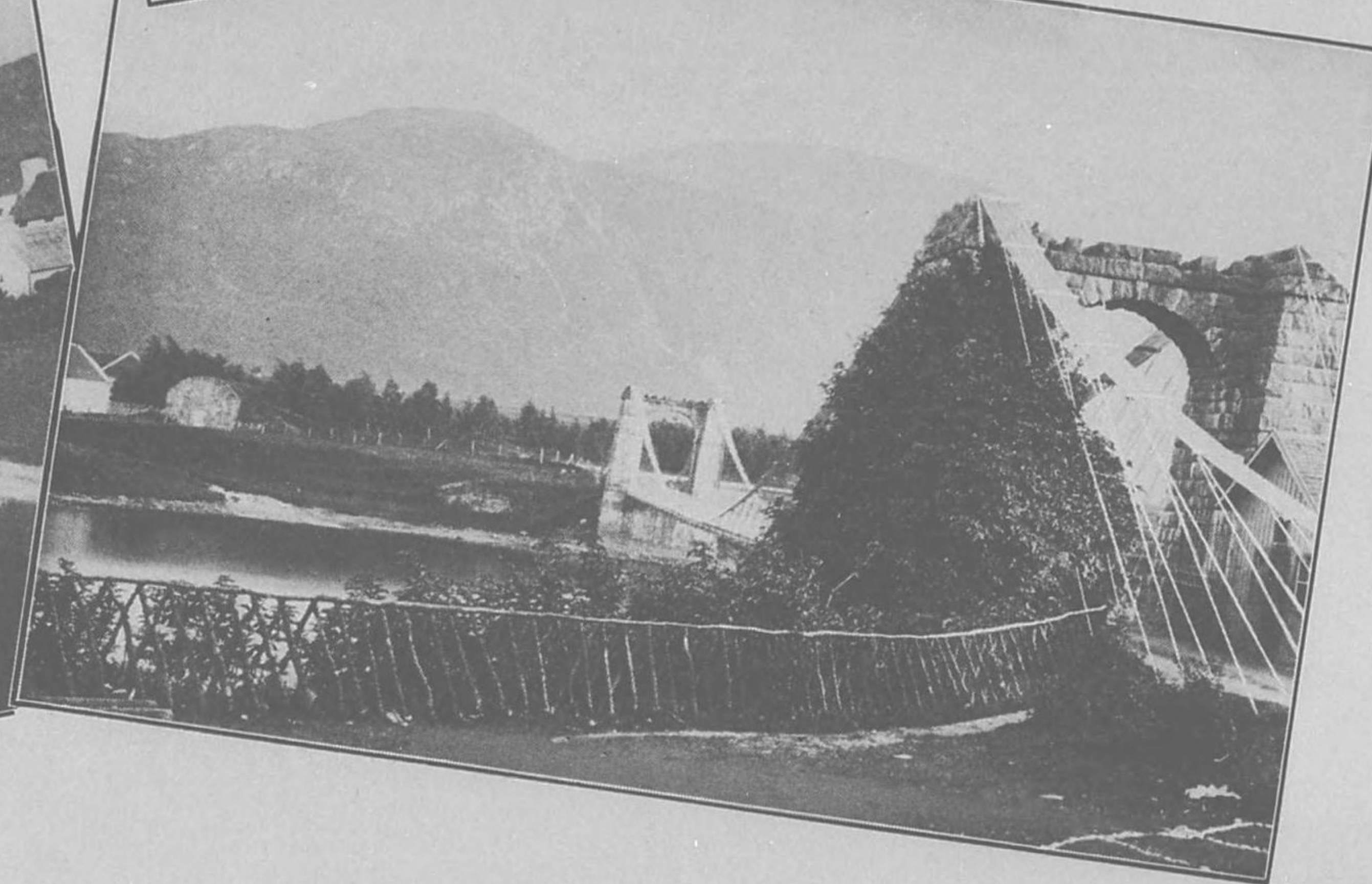
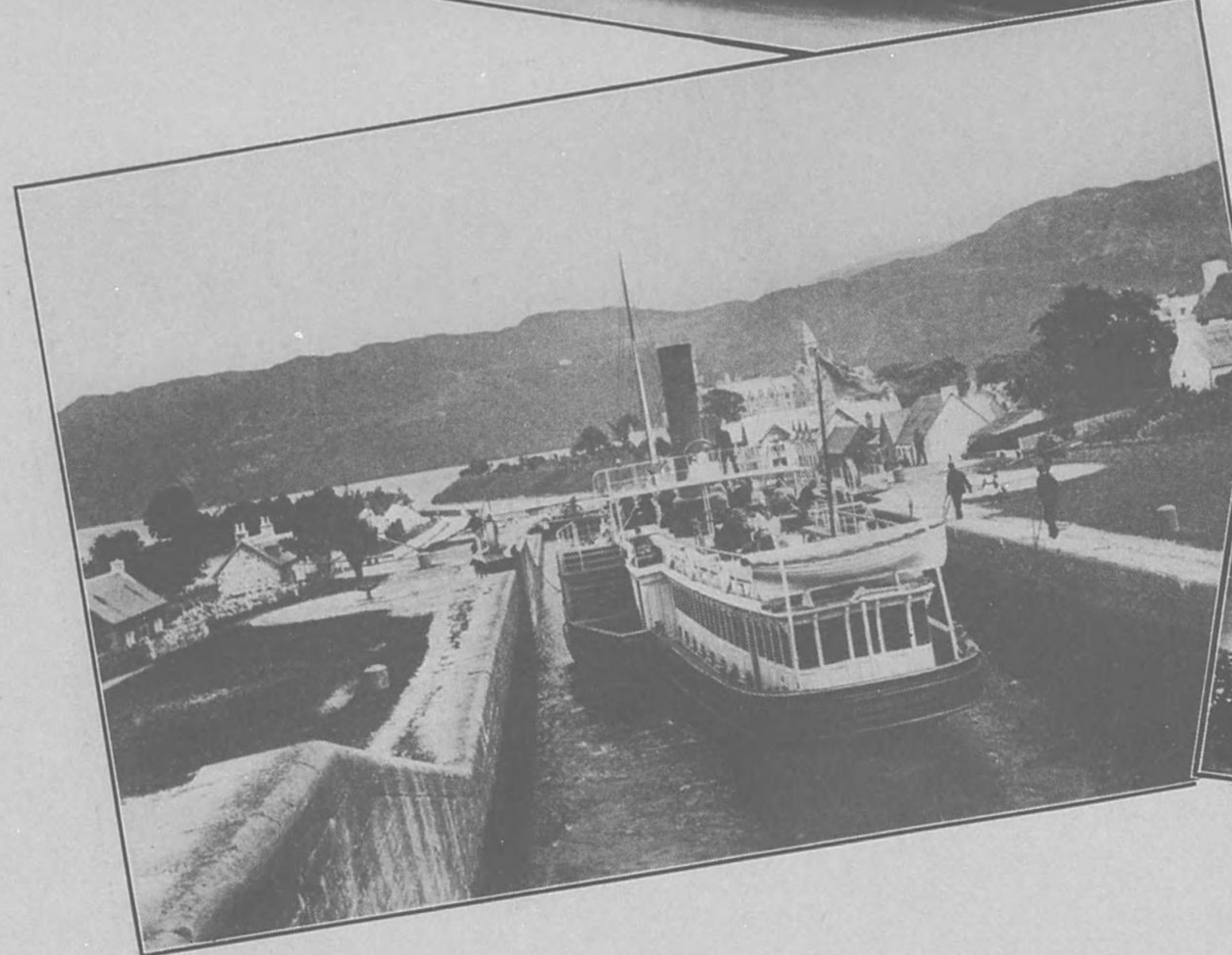
ベナチカラ湖の北方に沿ひ四哩の處にある山にして二千八百七十五尺なり普通此處を過くる者はカラレタ市より登るを常とす。

フワイン湖

バルキユヒダー町

エール湖畔に在る小邑にしてクレエフの西に到る通路なり。





アーカート城(右上圖)

ネス湖畔にある古城なり。

ウイリヤムの堡砦(右下圖)

ゼネラル・モンクレに依りて築かれ後再びウイリヤム三世に依りて建てられハイランドの首府インヴァーネスに行く旅行者は之れを下りて運河の汽船に乗る爲め西ハイランド鐵道によりてバナビイスに到るの地點なり。

インベリン城(左上圖)

ヲイチ湖の左岸に在る古城にしてアルス湖に到るの通路なり。

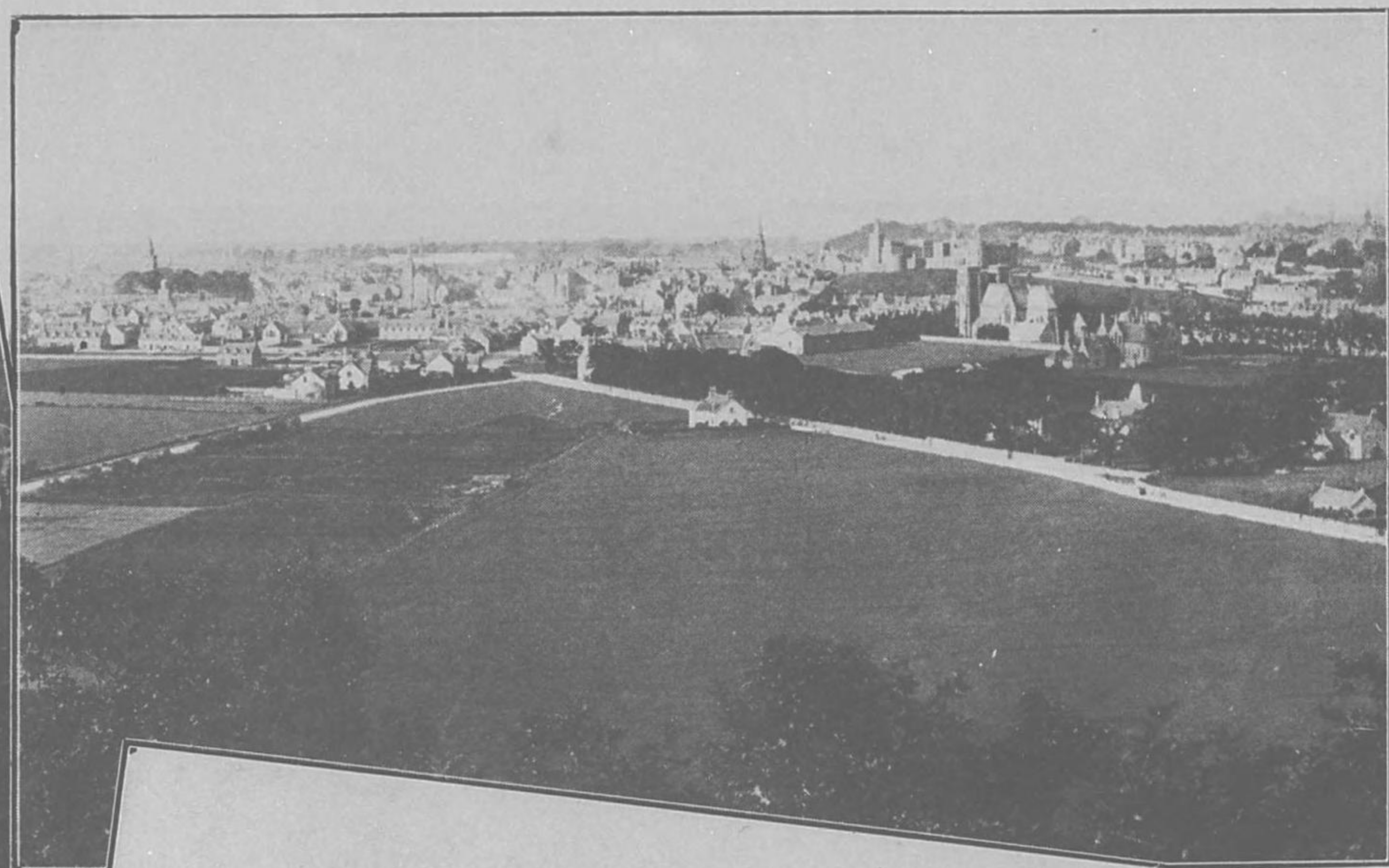
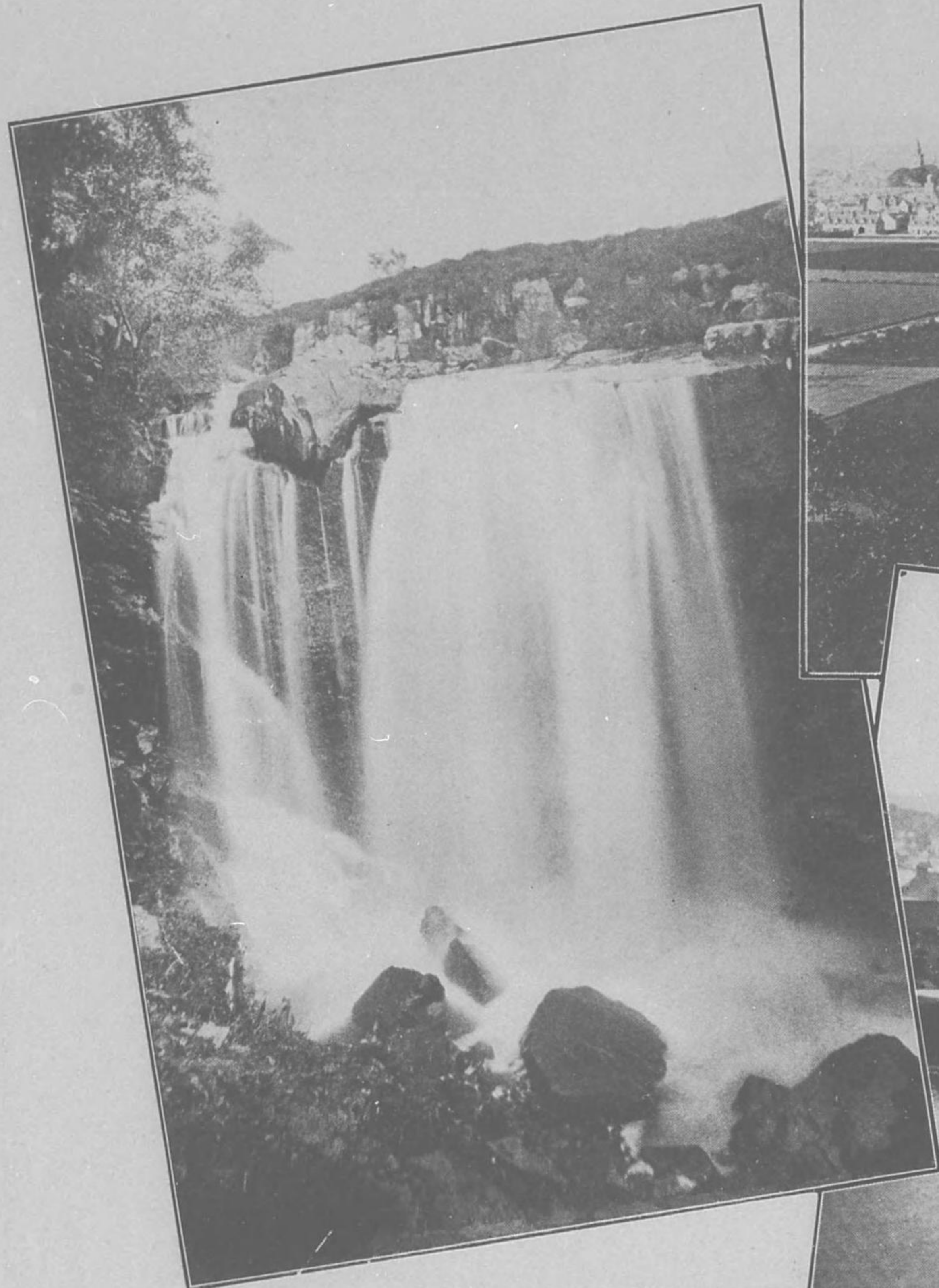
オカタス堡砦(左下圖)

ネス湖の北側二十五哩にありてグンジエルに到るの起點にして其右方一哩の處にフヲカ瀑布あり最も美はしき瀑布の一なり。

インヴァーネス

ハイランドの首府にして人口二萬餘あり、ネス湖のベウエクフ
ヒインに入る處に在り其側に西曆一千六百五十七年クロムウ
エルに依りて築かれたるクロムウエル堡あり。

ヴィクトリア瀑布





ヴィクトリア瀑布

ブレエマル

ブレエマルはデイ河岸に在りて低き山を以て取り圍まれたる處にしてデイ河クルネイ水車あり。

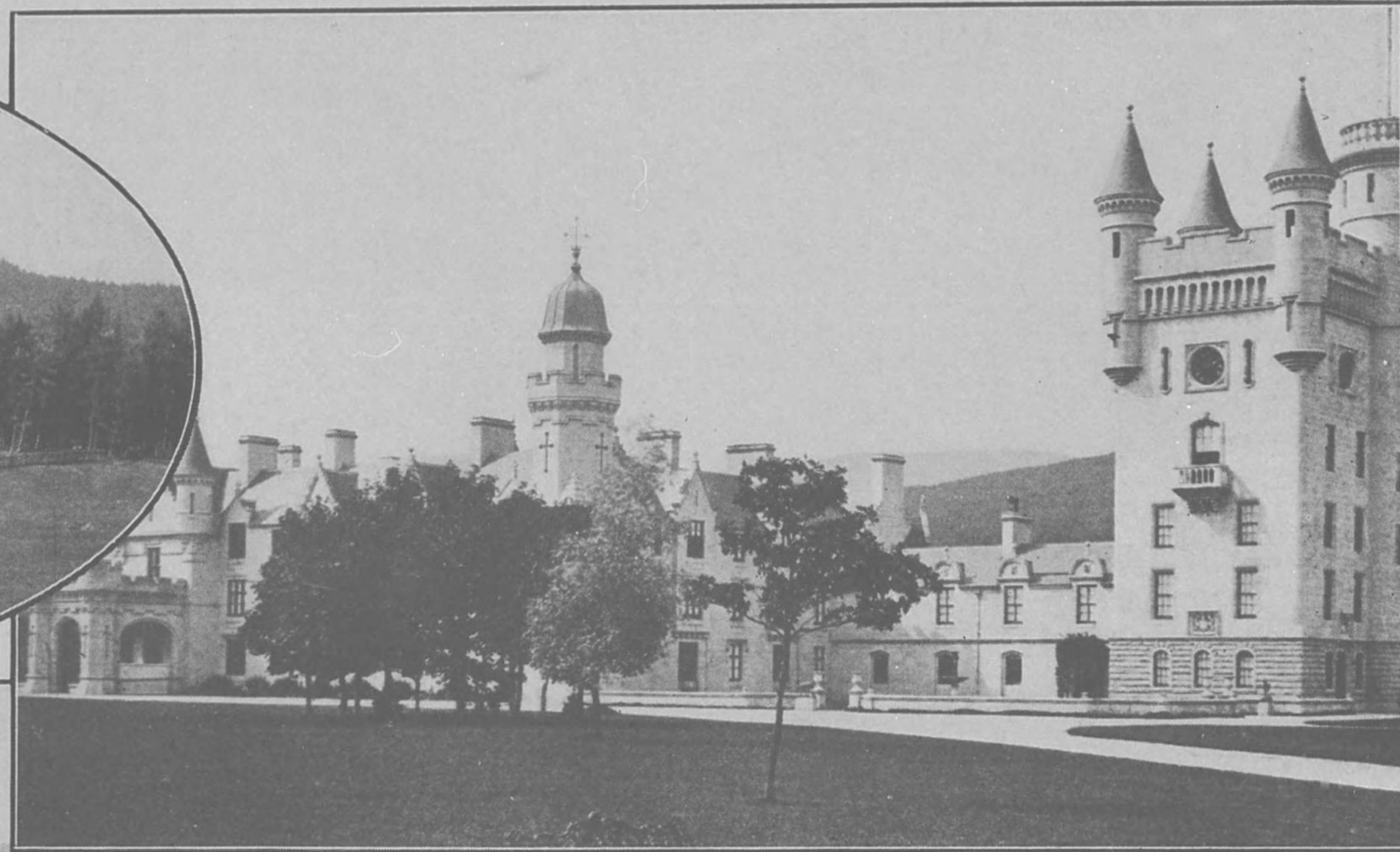
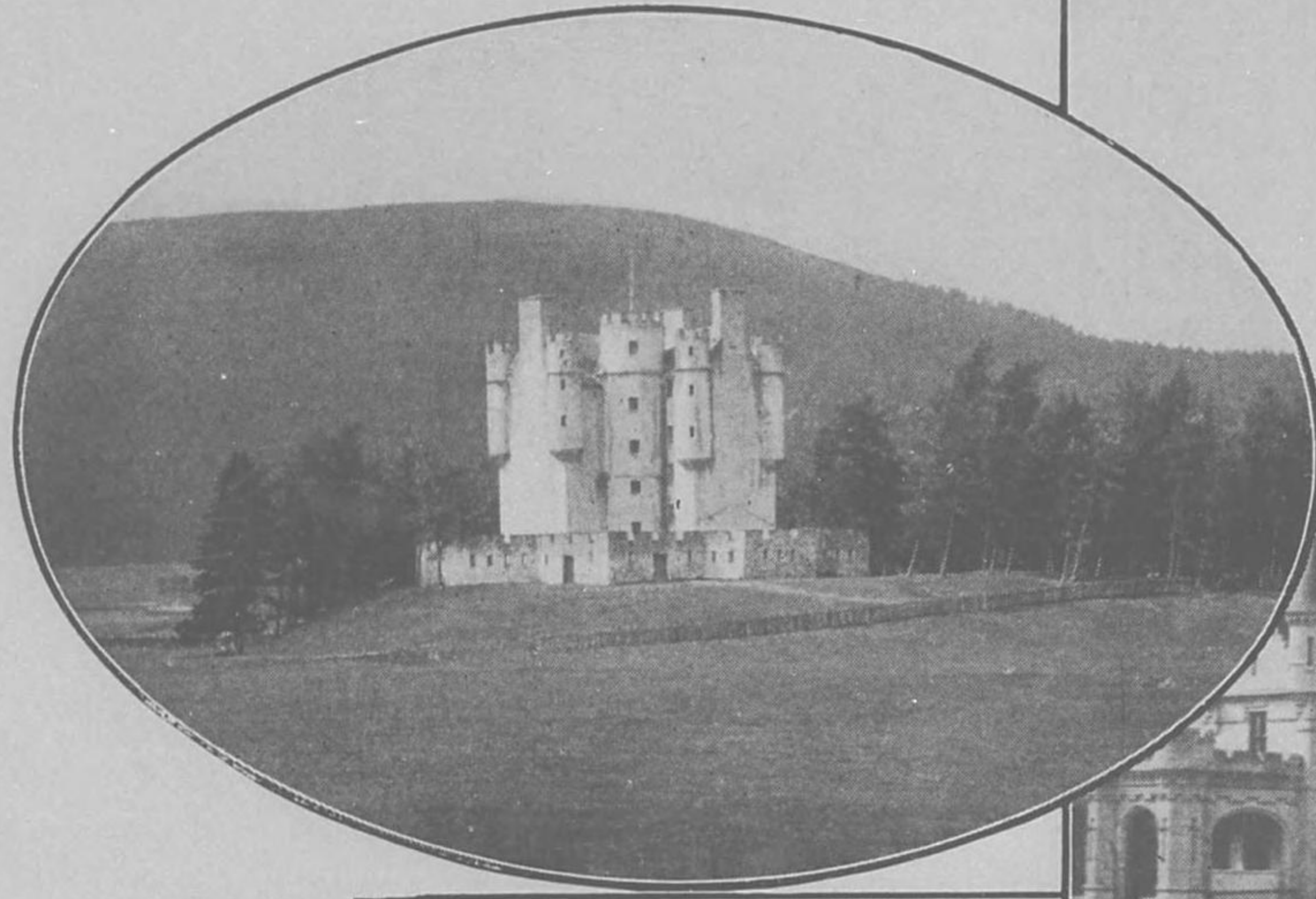
バルチモル城

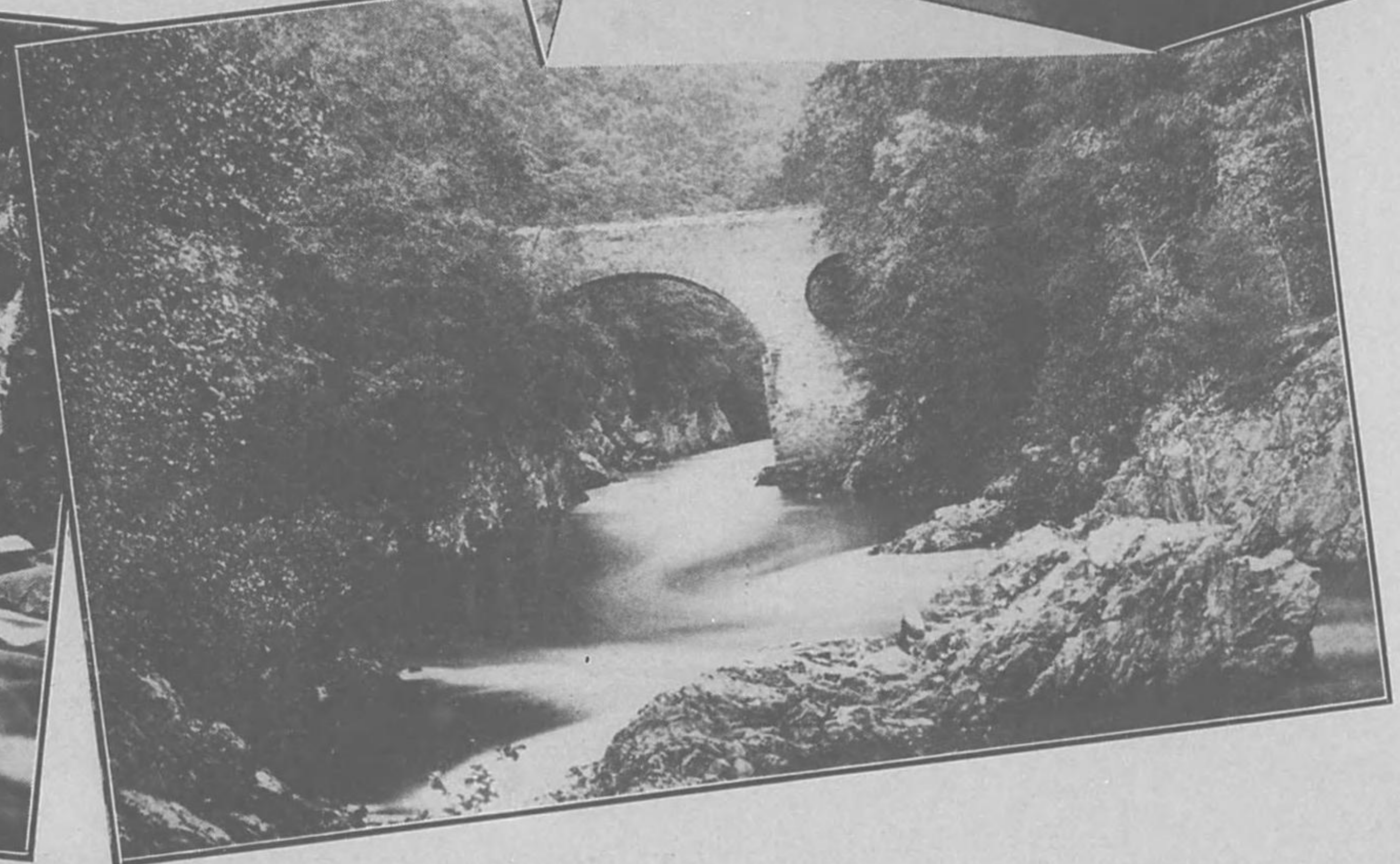
ブレエマルよりデイ河に沿ひ約六哩の處に在りエドワード七世の離宮なり。

オールドマー城

フェー公爵の居城にしてユイ河に沿ふてブレエマルの對岸に在り。

デ井ンウチール





ダンロービン瀑布

キリークランキー

キリークランキー山

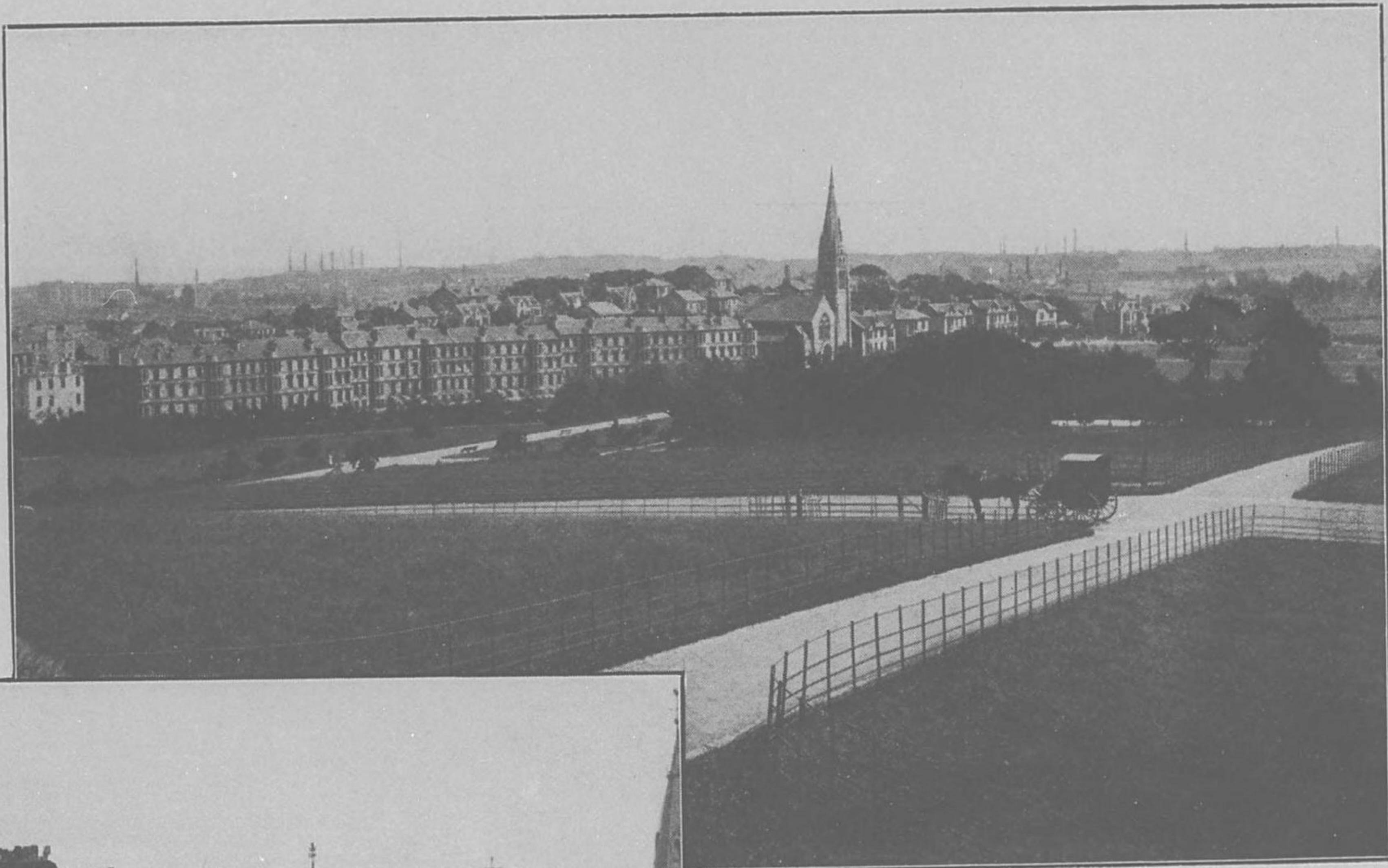
ロギー瀑布

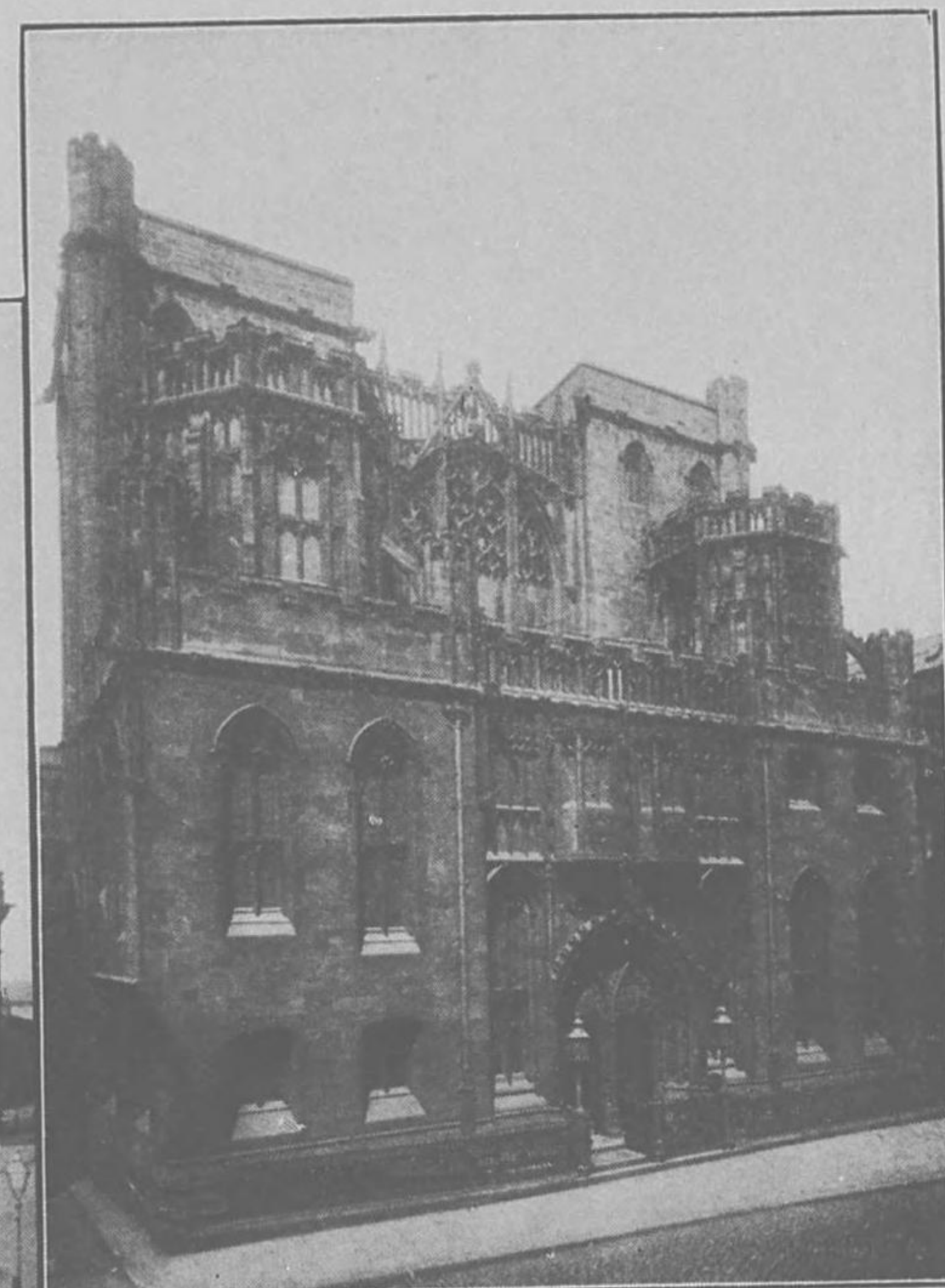
チルベングロース公園(上圖)

グラスゴー市に在り。

グラスゴー市街(下圖)

グラスゴー市は蘇格蘭第一の都會にして人口約一百万シルス
デー河に沿ひ舟運業にリヴァプール工業にマンチエスター市
と競争の地位にあり而して造船業の盛なることは世界第一と
稱せられ英國三分の二の汽船は皆グラスゴーにて製造せられ
大西洋上最初の汽船も亦西曆一千八百十三年此市に於て製造
せられたりと云ふ。





マンチェスター図書館

グラント氏夫人が此市に寄附せしものにして西暦一千八百九十九年に公開せられたり。

マンチェスター巡回裁判所

西暦一千八百六十四年ウラターハウス氏に依りて建てられたるものなり。

マンチェスター市街

マンチェスター市は約一千六百萬坪の地積と七十萬の人口を有する英國工業の中心にしてマルセイ灣口を東に距る三十六哩平野の間に在り而してマルセイ灣口に在るリヴァプール港との交通は一億八千萬圓の巨費を投じて西暦一千八百九十四年に竣工したる三十五哩の大運河を以て互に相連絡せり茲に示せるは取引所より見たるマーケット通にして同市中最も繁榮なる市街なり。

取 引 所

マンチェスター市は英國工業の中心たると同時に又有名なる綿の産地なるを以て其取引最も盛にして火曜日、金曜日の二回取引所を公開せらる。

マンチェスター大教會

マンチェスター大教會は十四世紀上半期頃創建せられ其當時に於ては中央の高塔高さ百四十尺なる一教會に過ぎざりしも西暦一千八百四十二年大教會となり漸次増築せられて現時長さ二百二十尺幅百十二尺を有する一大建築物となれるも英國内地の大教會に比すれば尙ほ其最小なるものゝ一たるを免れず然れども其内部讚美歌隊席の構造の珍奇なるご大木を方形の儘にて天井に箝め込みたる構造ご或る部分に奇異なる彫刻物を以て飾らるゝごに因りて有名なり又其レディー・チャープルは一千五百十八年の製作に係り建築頗る結構を極めたり



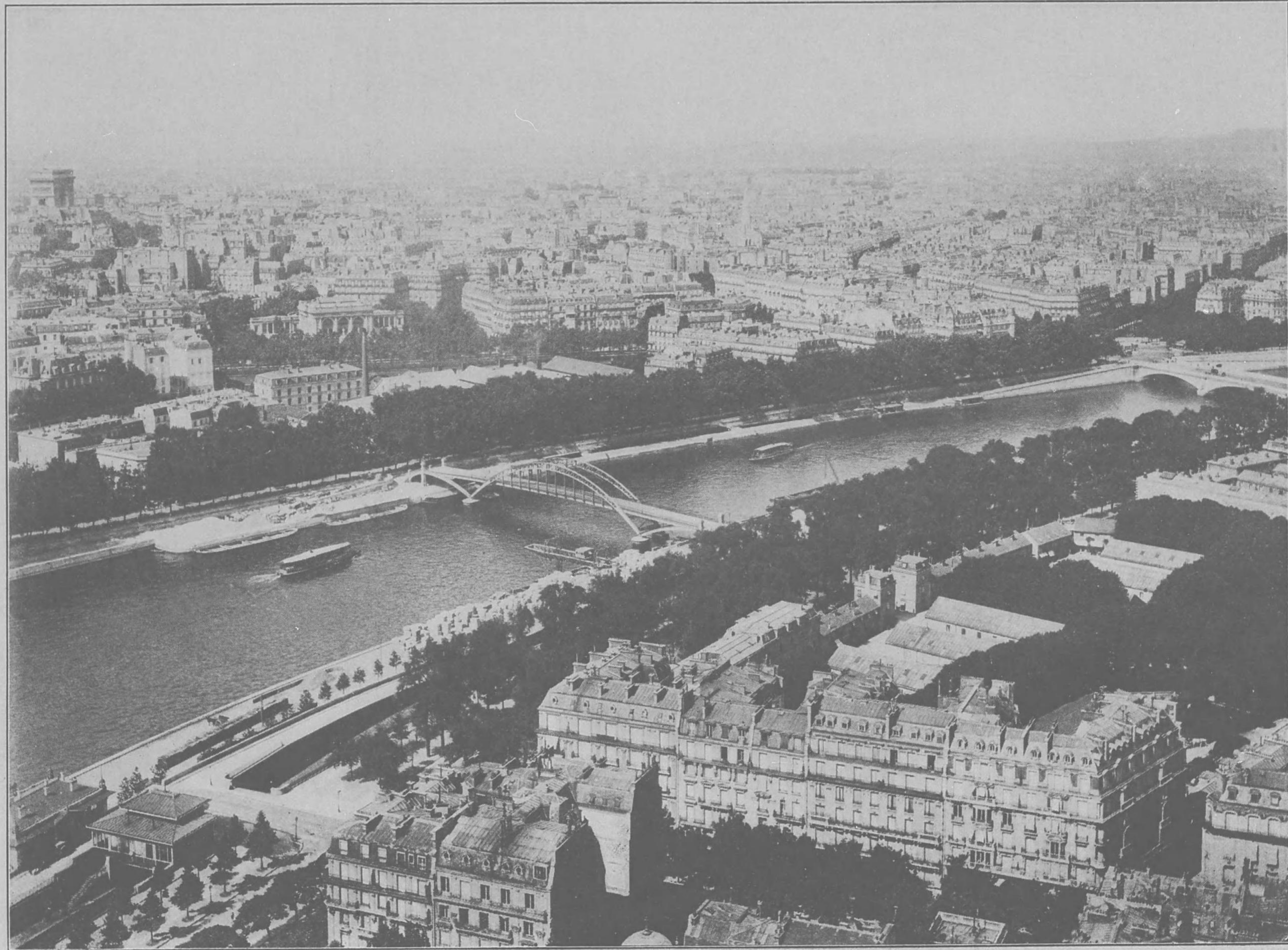


凱旋門

是れ即ち大帝ナポレオンの凱旋門にして其高さ百六十二尺其資一千三百五十餘萬圓を投じ一千八百五年より一千八百三十六年に至るの歲月を費して成りたる一大建築物にして門内の狭く幽暗なる階段より頂上に登ることを得へく頂上より四方を展望すれば此門を中心として十數條の大路は蛛網の如く四方に岐れ兩側の竝木は秩序正しく竝列して美觀を爲し末は遂に霞に隠れて天に續くかと疑はる。

巴里市街

市は人口二百七十萬餘セーヌ河を溯ること百十二哩の處にありて其兩岸に跨れり其市街の華麗なる其宮殿樓閣に美術の粹を窮むる其博物館、圖書館等の壯大なる共に世界無比と稱す最初は紀元前ゴール人かセーヌ河岸諸島に群居せし一漁村なりしか四世紀の末葉に當り附近に住みし種族の名を取りて巴里と改め西曆九百八十七年にはガベンアン王朝の祖なるエーガブ王殆んど佛國を統一して首府を此地に奠め後十三世紀の初めフィリップ・オーガスタの時より次第に發達し來り更に十七世紀の末ルイ十四世の時益々市街の美觀を添ふるに至り其後佛國大革命の慘劇普佛戰爭の禍害を経て時に盛衰消長の觀なきに非ざりしも爾來愈々進歩發達し殊に美術工藝の盛なる世界各國能く其比を見ず遂に今日の盛況を呈するに至れり。



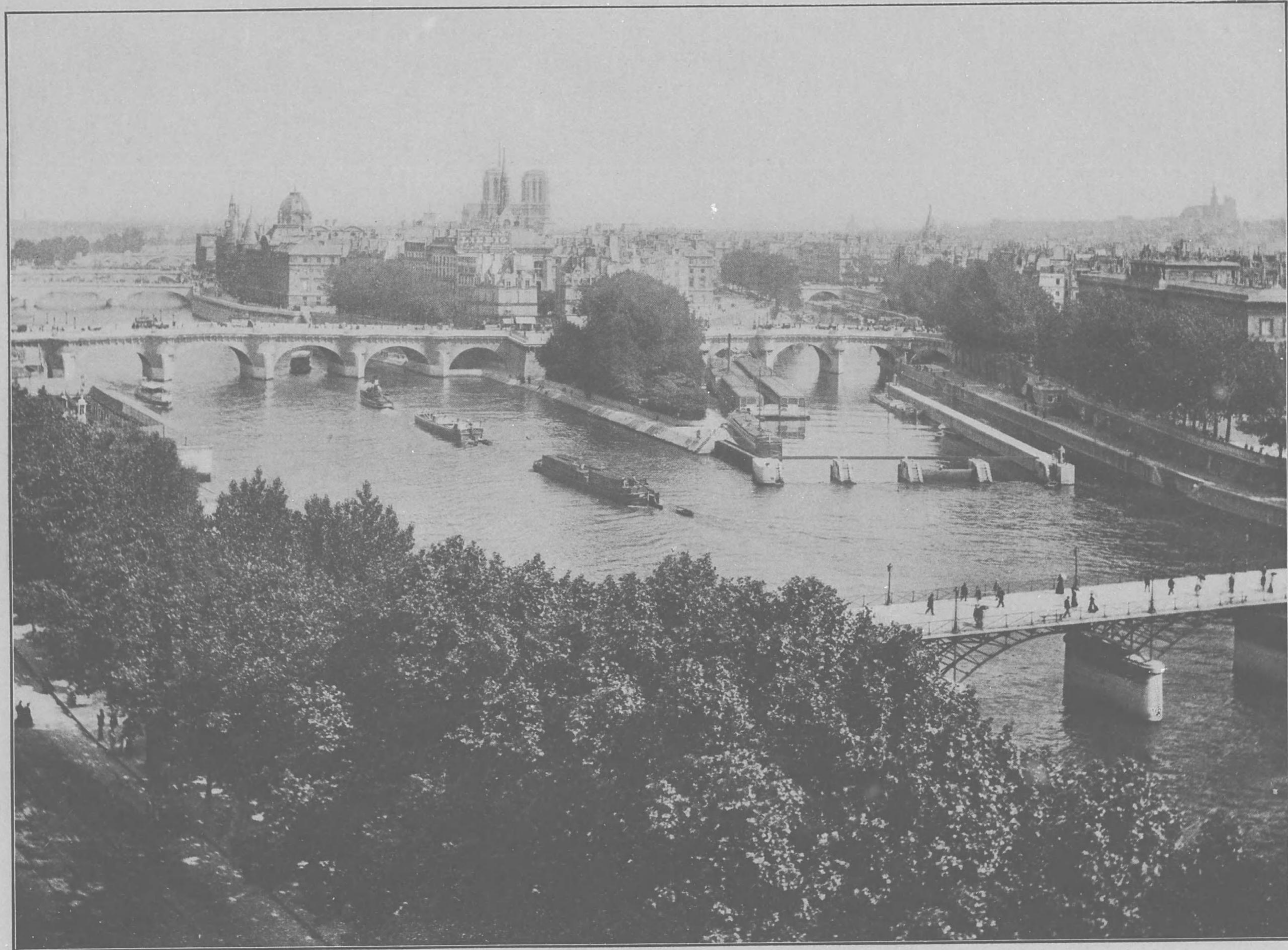


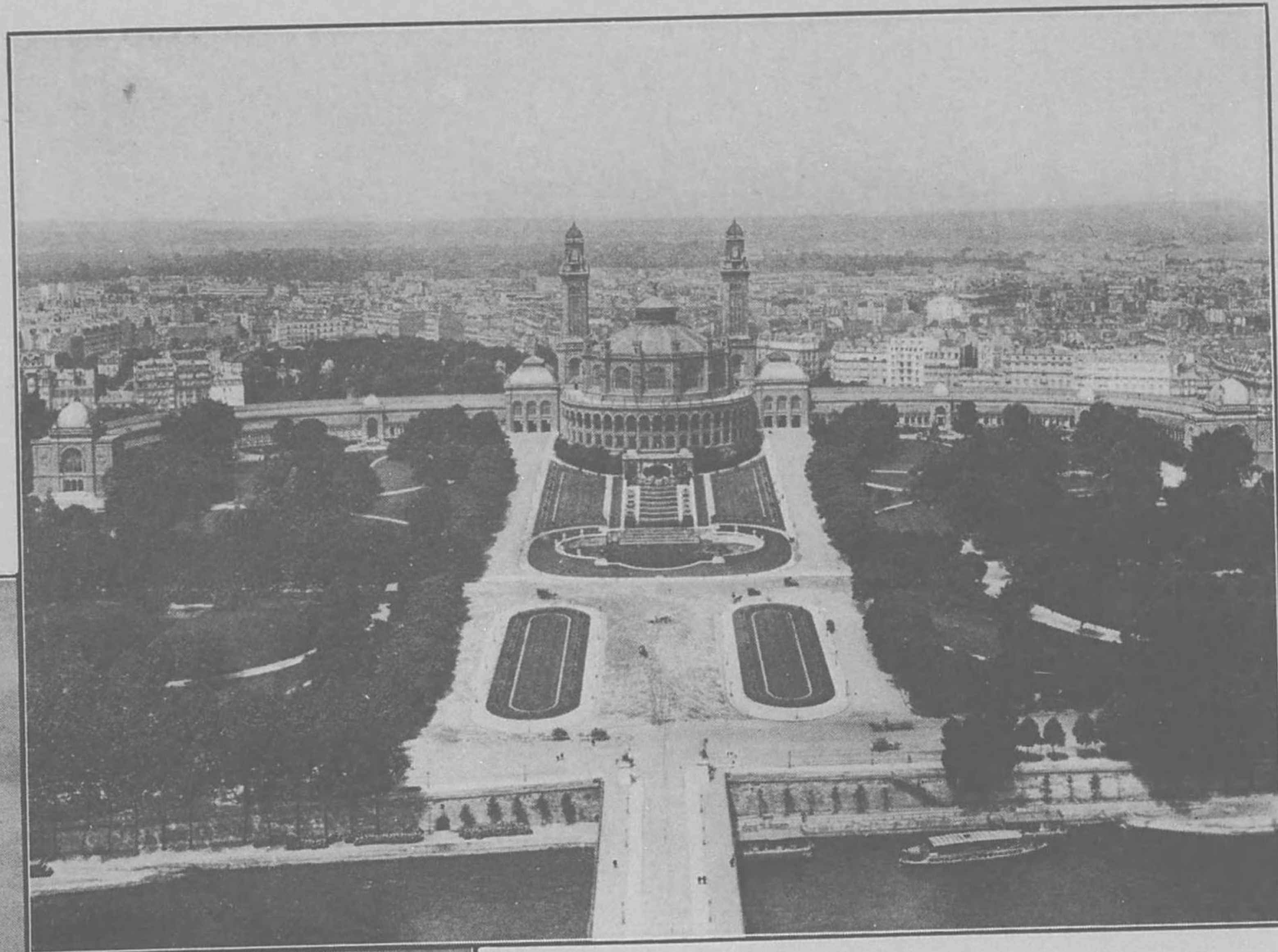
ルーブル美術館

始めは王宮なりしか今は美術館となれり其廣大なる建築と無
數なる繪畫彫刻とは實に世界第一と稱せらる就中チャールス十
世の純金の楯と兜ナポレオンの王冠ムクルの二十四相畫ルー
ベンスの畫紀元前五百年希臘に於て成れる世界第一大理石女
像等稀有の寶器珍品枚舉に遑あらず。

ルーブル附近巴里市街

佛都巴里イールドラシチーはセーヌ河中の一小島にして殆んど巴里の中央に位し其最も古き部分に屬せり彼のリュテスと謂ひしゴールの都羅馬人及フランク人の巴里は即ち此地にありたるものにて舊はセーヌ河の左岸にのみあり爾來漸漸右岸に擴張したるもシチーは尙久しく諸王の宮居となり又首都宗教の中心たりしを以て從て宮仕の者及商人等も多く此方面に住居したるか其最も多數なるは僧侶なり然れば巴里市の北部は町人南部ユニヴェルシイ方面は多く學者の住居たりしと云ふ今日にてはシチーは巴里の中心に非ざるも尙能く二箇の最も美麗なる古代の建築物を有せり即ち一は圖上中央に二箇の塔を有するもの即ち巴里の本願寺ノートルダムにして彼の有名なローマン的詩人ヴァクトルユーゴーの資料となりたるものは其左方に圓蓋を有するもの即ちサントシャペル齋場にして裁判所の中央にあり往時の宮殿は今日控訴院と變せり又其左方二箇の圓錐塔の見ゆる所はコンシユルジュリーと呼びて其昔牢獄なりしを以て彼のルイ十六世及皇后マリアントワネットと共に斷頭臺上に登るの前此處に幽囚せられたりと云ふ。





トロカデロ(上圖)

セーヌ河を隔て、エッフェル塔と相對する處に在り是れ西曆一千八百八十九年に開催せる大博覽會の遺物にして今尙音樂會の會堂等に使用せられ優に七千人を容るゝに足ると云ふ。

エッフェル塔(下圖)

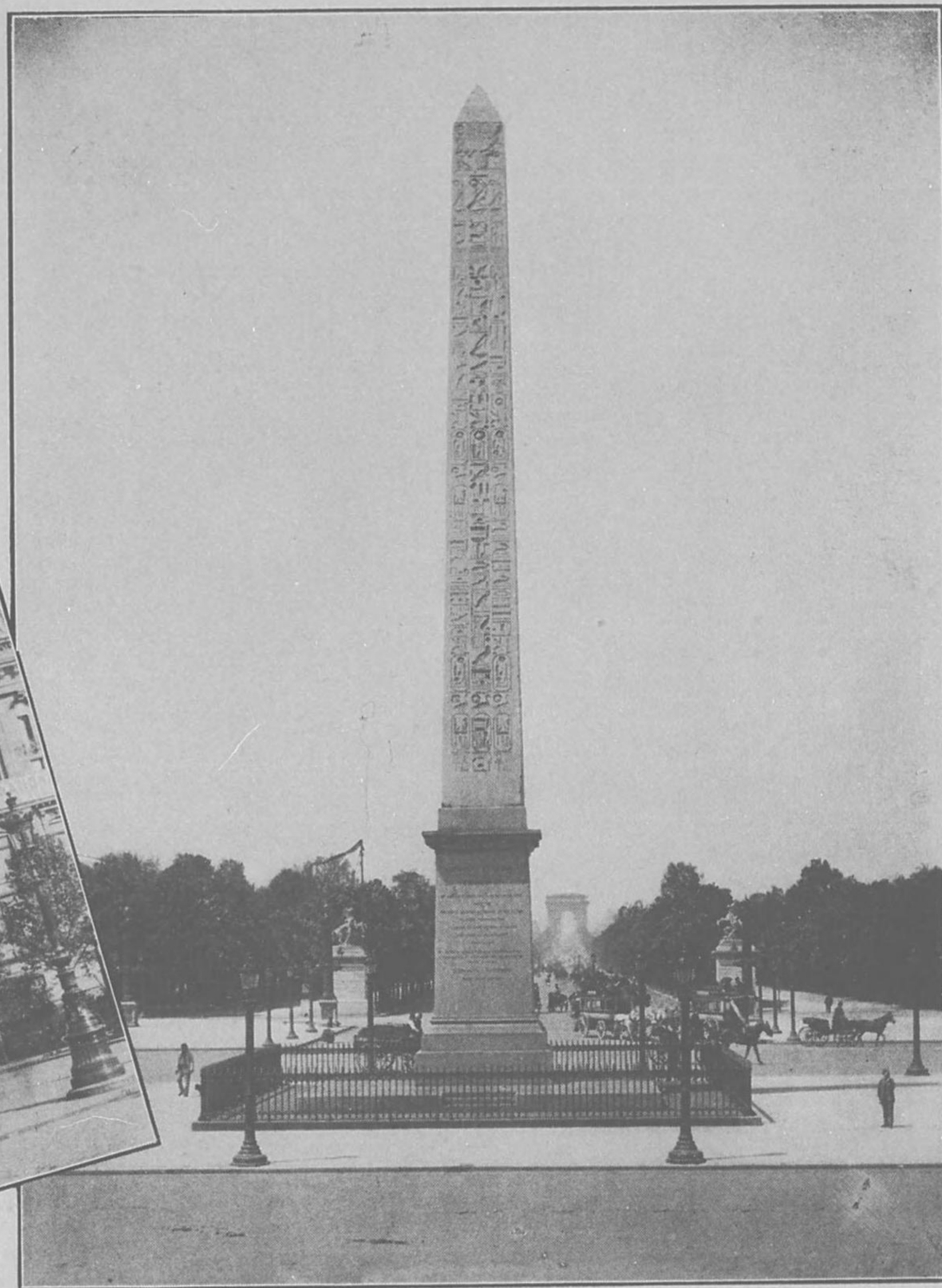
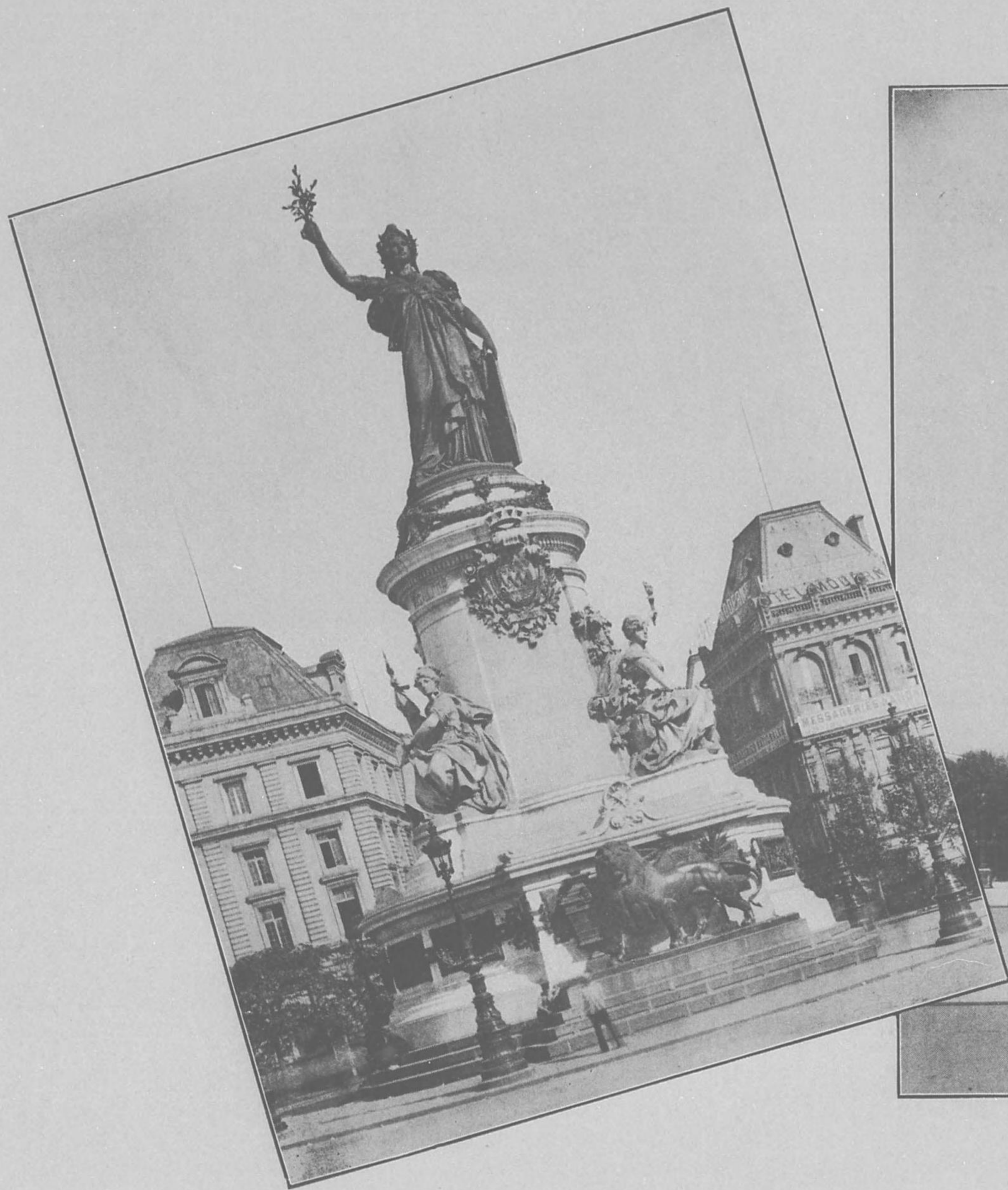
是れ又大博覽會の遺物にして高さ一千尺其の頂上まで攀登するには昇降機を乗換ふること二回四箇所の停車場を経て約一時間を要す絶頂より下瞰すれば所謂豆人寸馬巴里全市は點點指顧すべく恰も心臟形の地圖を眼前に展開したるか如し。

コンコルト廣場

ルイ十六世の首を刎ねたる處にして佛國大革命の時は此處に於て二千四百餘人の首を斬りし大悲劇の演せられし處と云ふ其中央の碑石は埃及王カルフイリップ王に獻せしもの高さ七十六尺四面に埃及文字を刻み三千年前のものなりと云ふ其路傍には佛國各邦を象とりたる數箇の記念石像あり其中アルサス、ローレンの像は喪章を附したる國旗を立て獨逸に對する遺恨千秋の跡を留む。

共和の神像

パリ共和神像はモリス兄弟の傑作にして西曆一千八百八十三年以來ブラス・ド・ラ・レピュブリックの中央に屹立す其基礎は石材にして高さ五十尺像はブロンズにして其右手に持てる橄欖の枝の端まで三十尺あり前方にはブロンズの獅子あり且其基礎の周圍には自由、平等、友愛の像とブロンズの十二のバルリエフありダルーの作なりと云ふ。



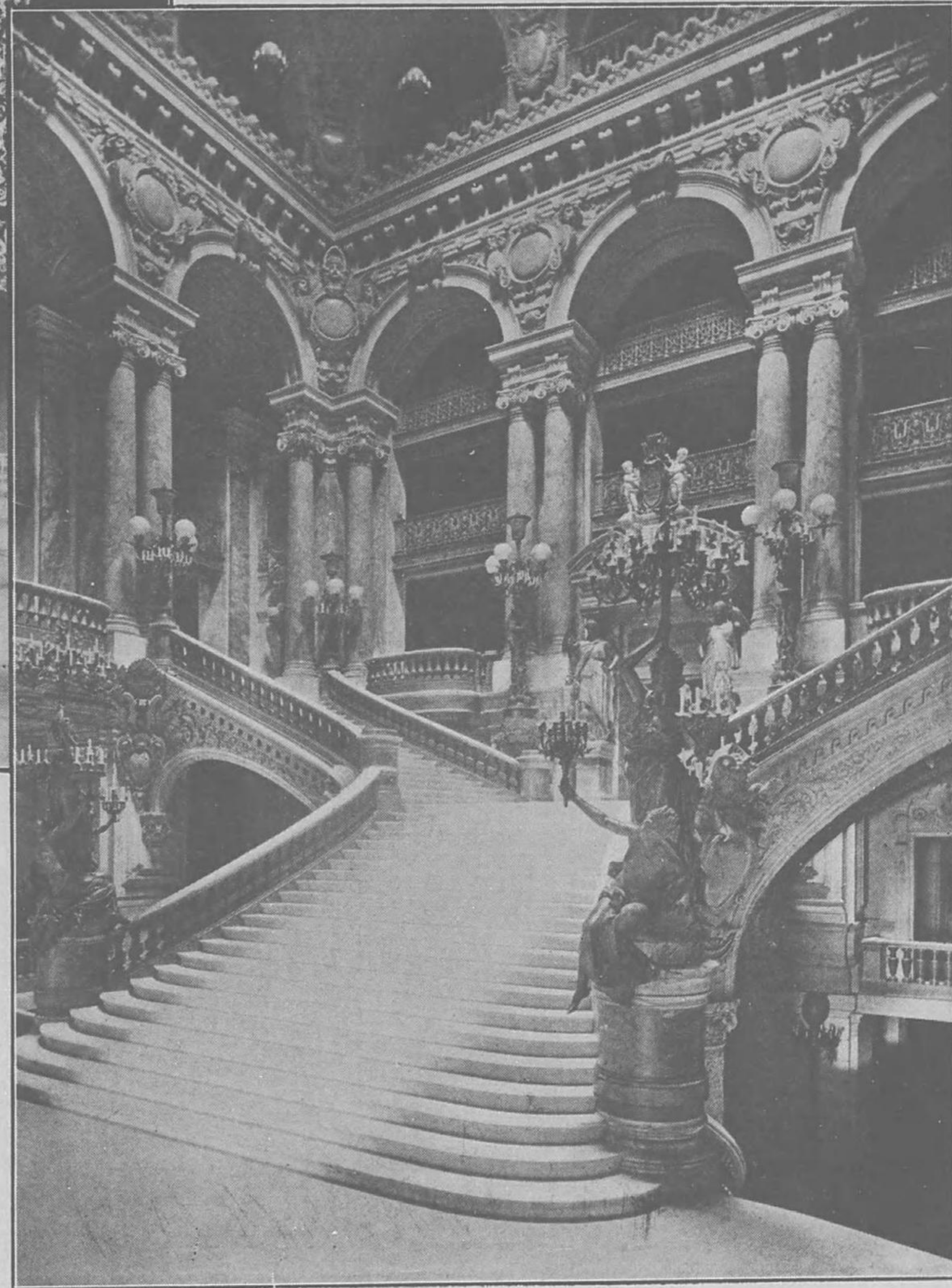


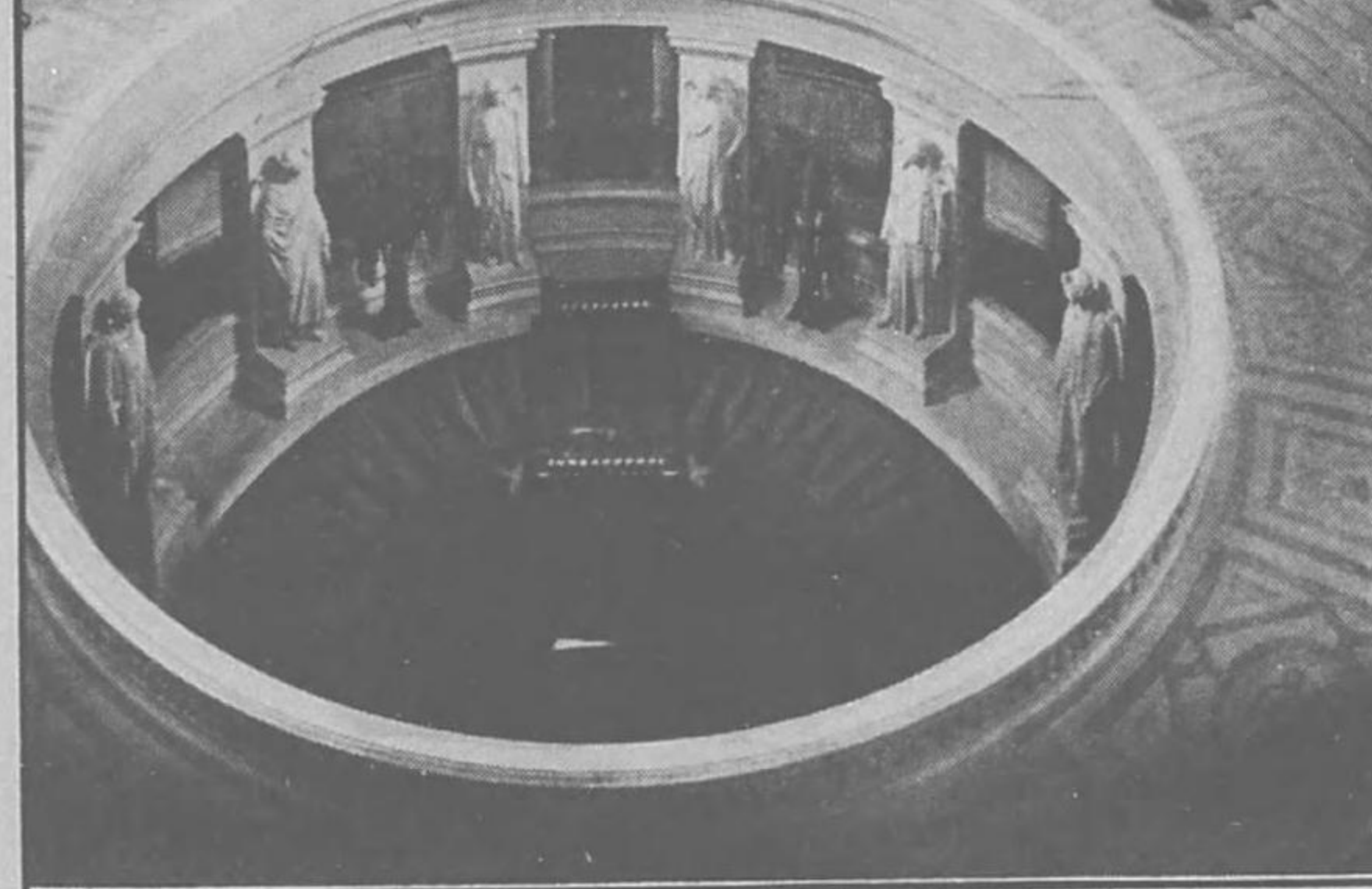
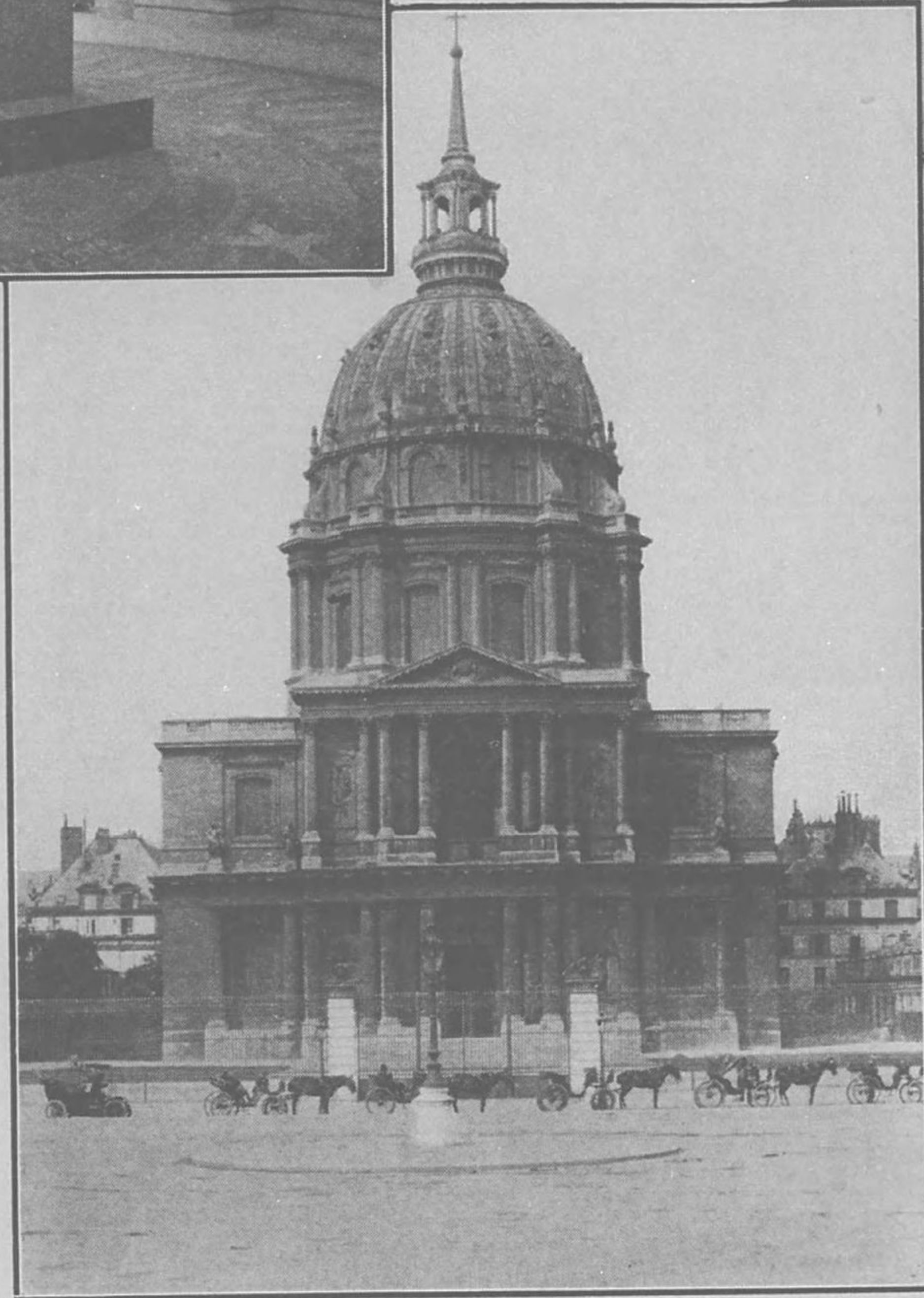
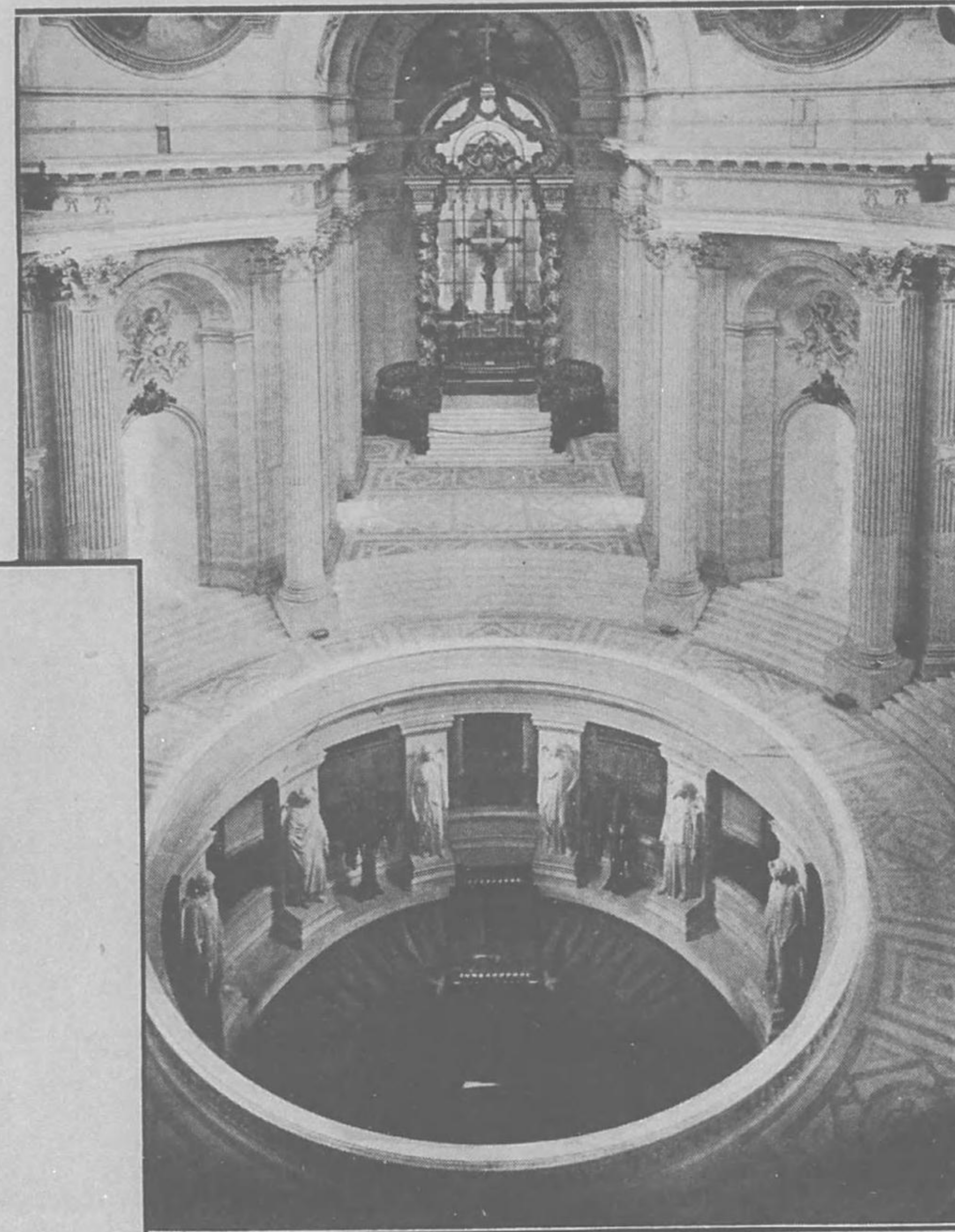
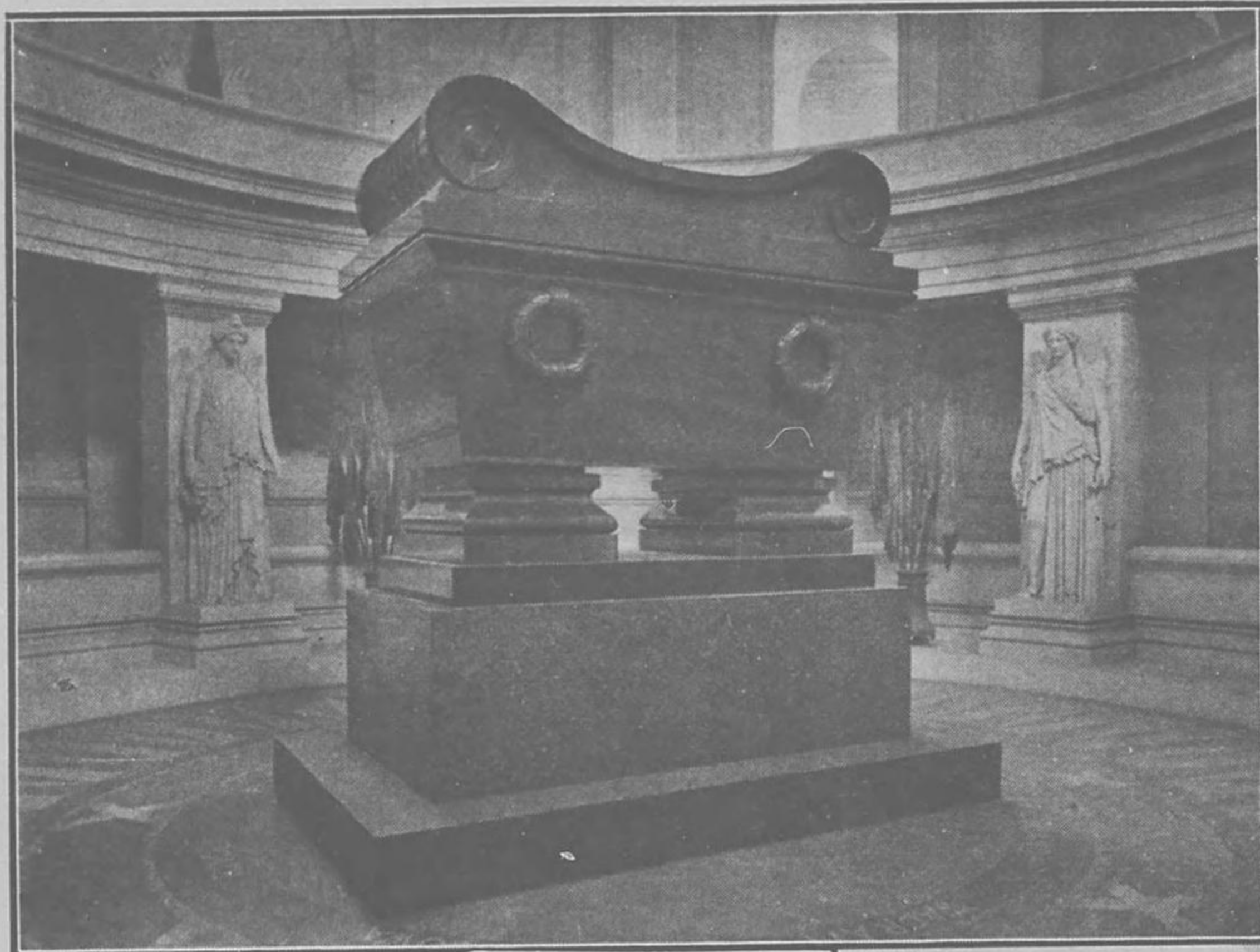
グラント・オペラ(其一)

即ち國立劇場にして制服著けたる兵士嚴めしく立番し總數三千人を容るへき石造の大建築にして其オペラは音樂を主とするものなりと云ふ建物の壯大にして裝飾の華美なる出演俳優と共に世界第一と稱す。

グランド・オペラ(其二)

右圖は階段にして左圖は廊下なり。





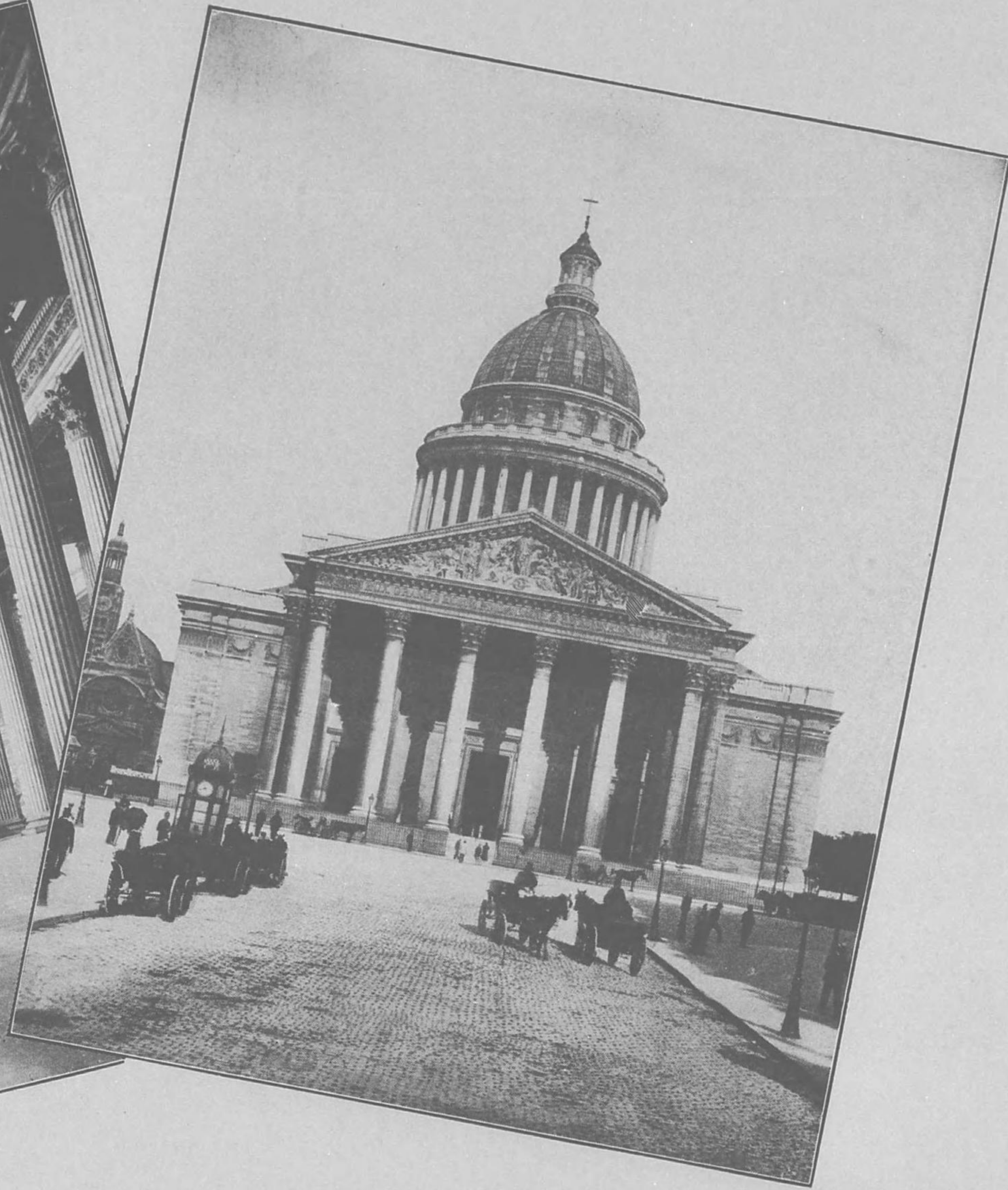
インバリード寺院

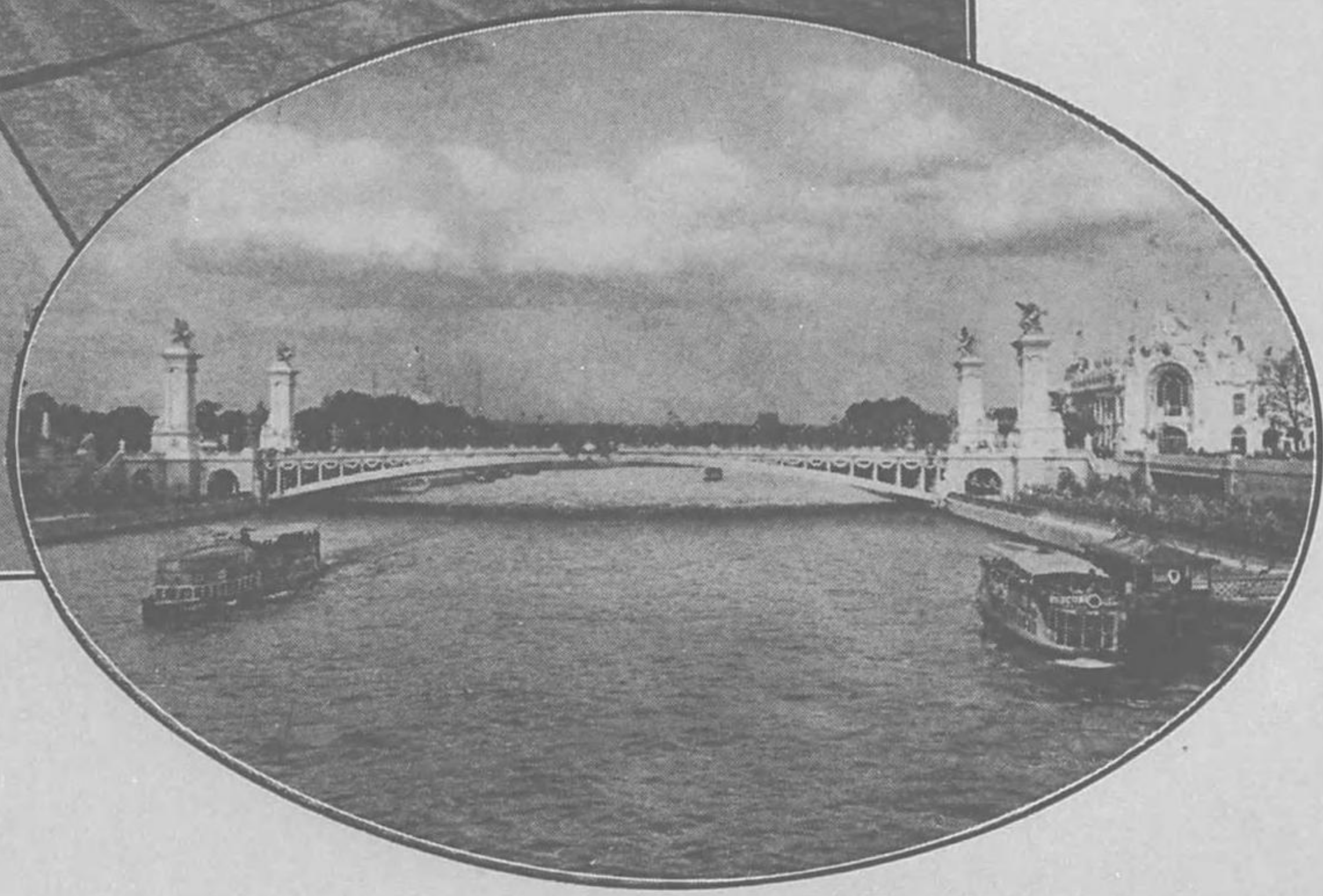
此寺院は武器陳列所と相對立してナポレオン一世墳墓の在る處其圓蓋の地底こそ實に此の怪傑の英魂長に永眠する處となり西曆一千八百二十一年五月セント・ヘレナ島にての死後遺櫃を此處に移し來りしものなりと云ふ。

上圖右方は寺院内部左方は紅色大理石にて作られたるナポレオンの石棺下圖は其全景なり。

パンテオン寺院

佛蘭西の國葬寺院にして其塔上迄の高さ二百六十七尺室内四基の大理石柱には一千八百三十年の革命に殺されたる志士の氏名を銅刻し其四壁は宗教畫、戰爭畫、歴史畫等にて飾らるユイゴ、カルノー等の如き文豪名士の墳墓を存し佛國人は死後此處に葬らるゝを以て無上の光榮となせり。





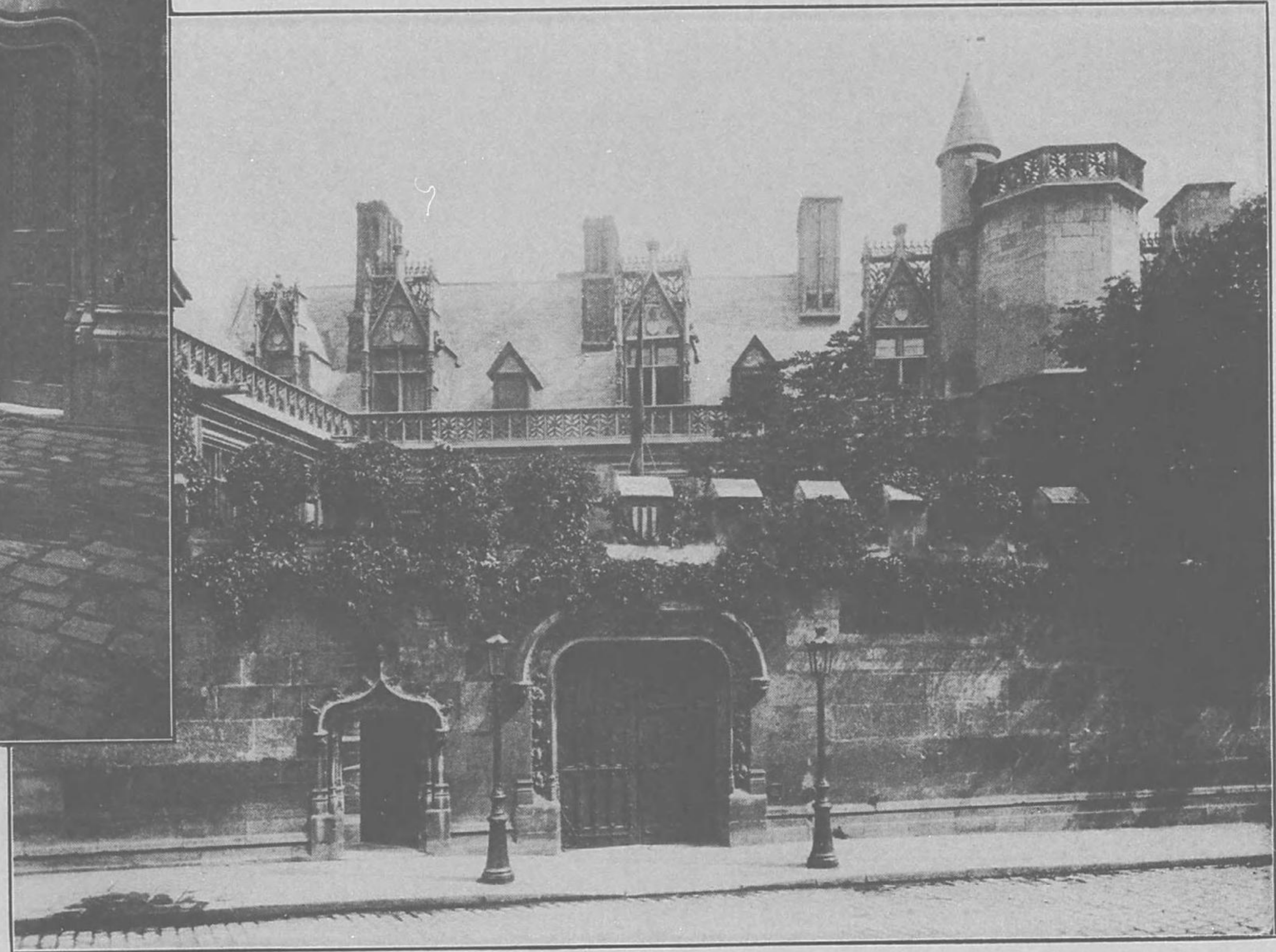
アレキサンダー三世橋

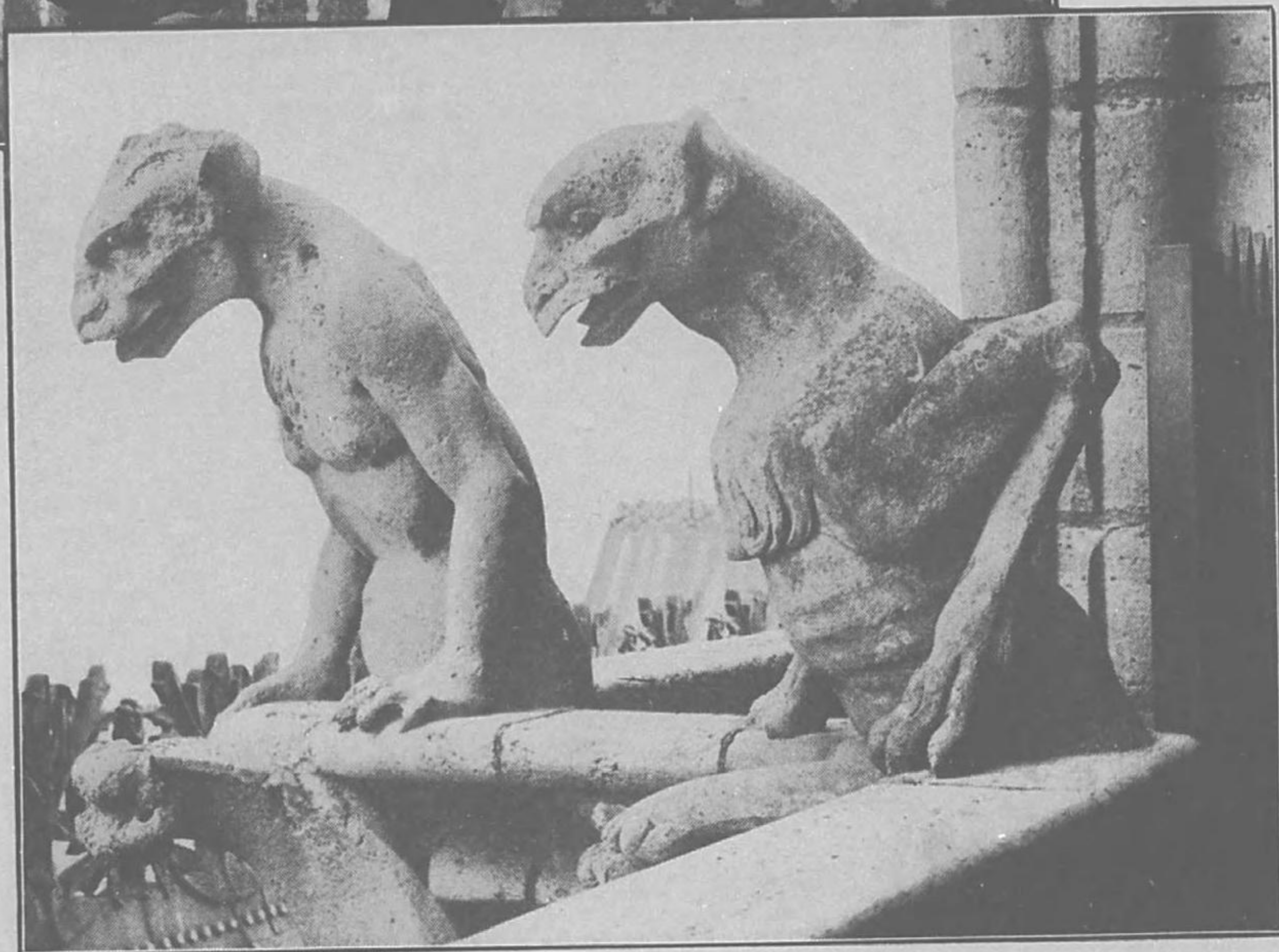
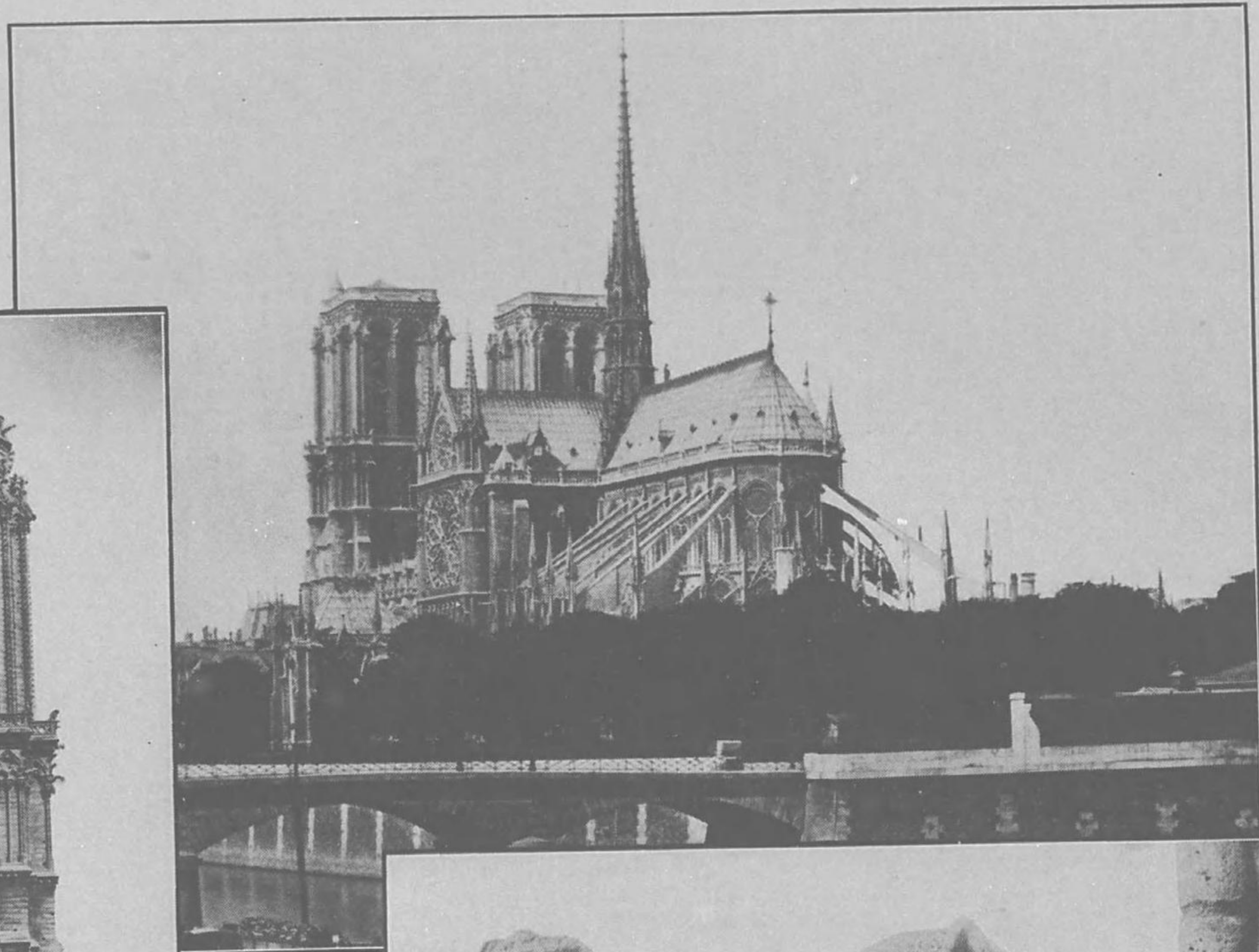
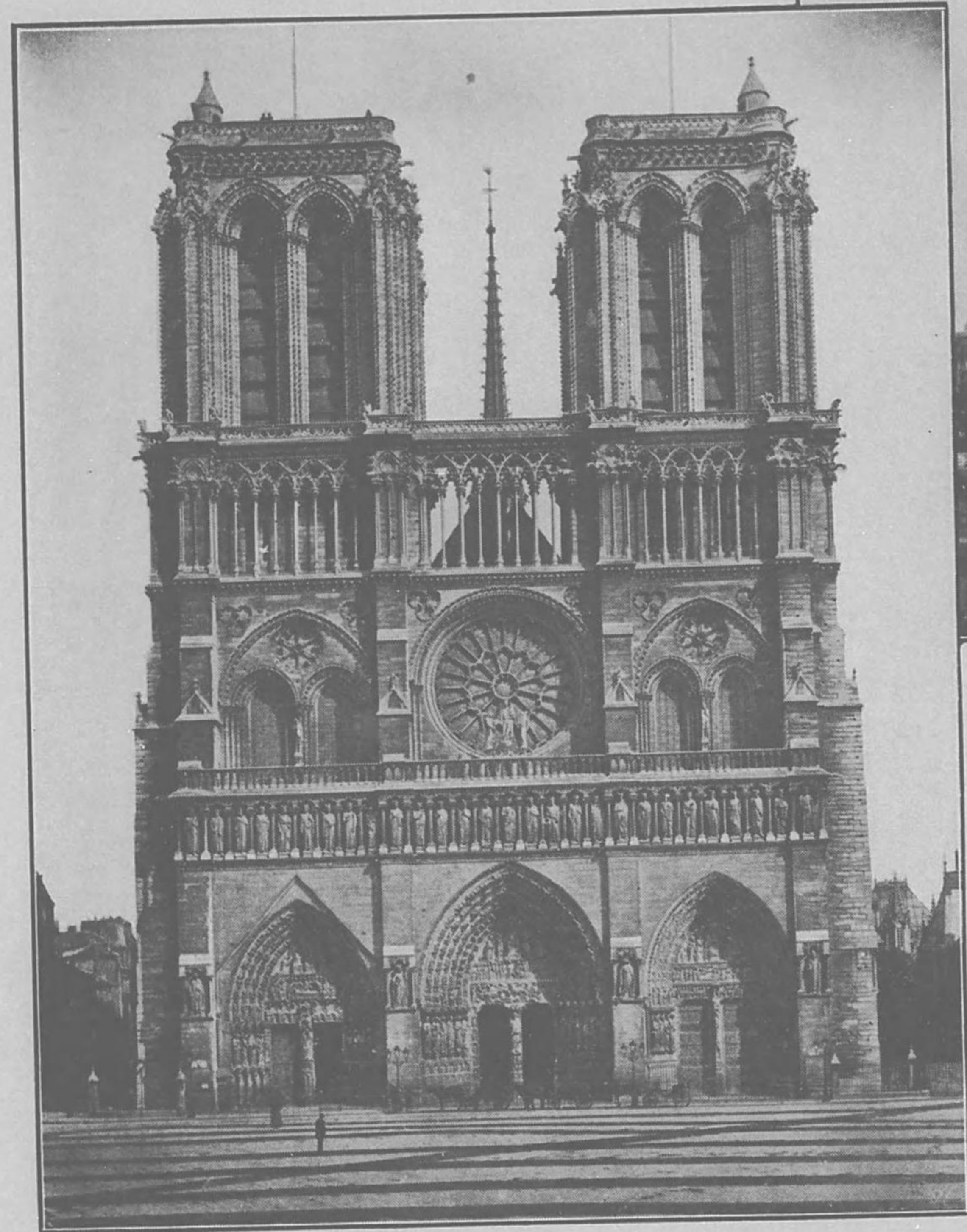
セーヌ河に架し左右人道の幅各六間車道の幅十間あり四基の柱上には金鷲其翼を張り柱及び欄干には種種の彫刻を施し最も華麗を極む橋畔左右の建物は始めは大博覽會後は美術館となりし建築物なり。

本圖は橋の正面にして下圖は側面なり。

クルニー博物館

此博物館には中世紀の美術品を蒐集し其數一萬以上ありと云ふ建物其ものも亦中世紀の建築にして建築學上参考とすべき點多しと云ふ其他此館の特色とも言ふべきは總へての時代の靴を蒐集されたるにあり。



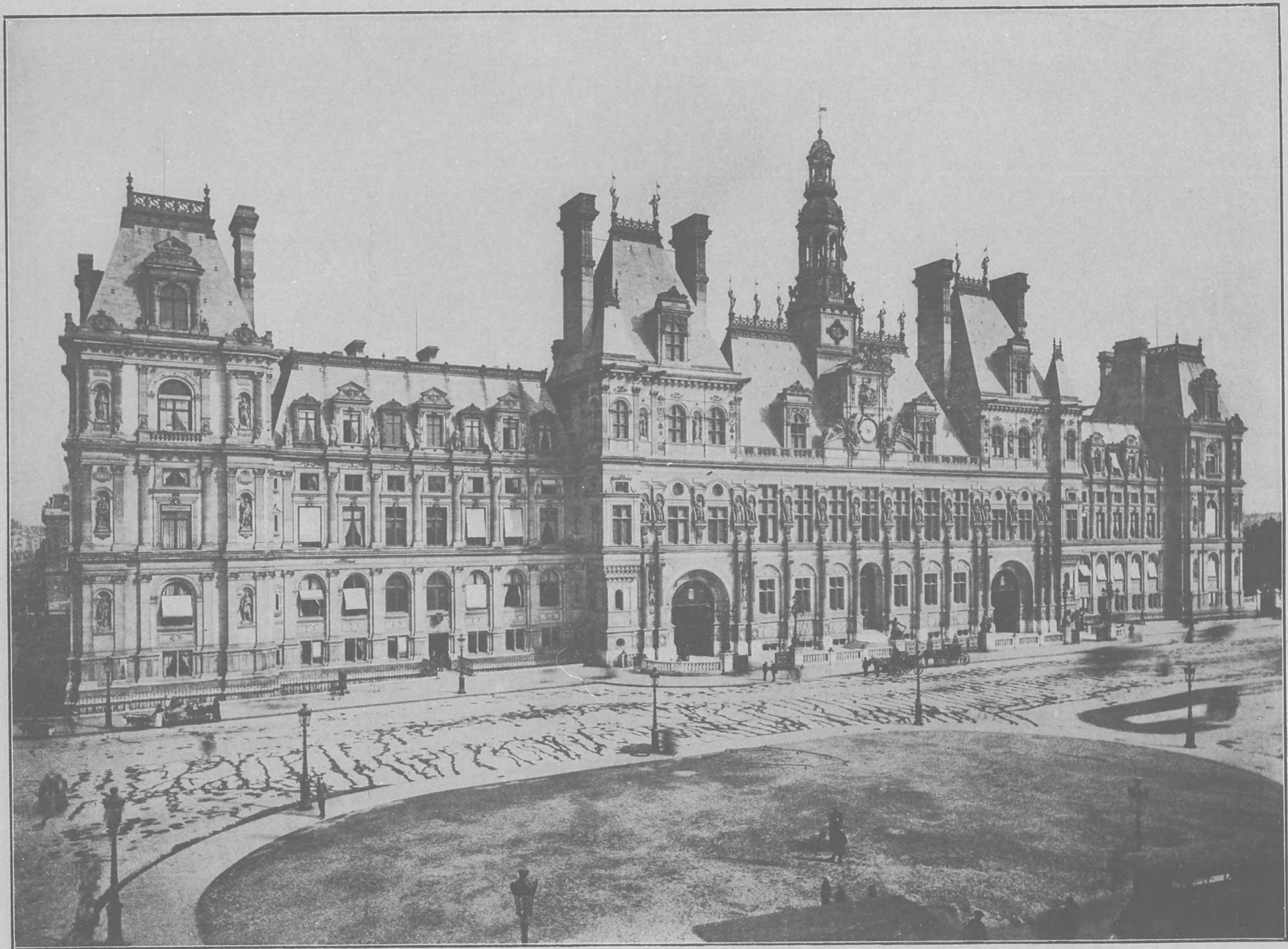


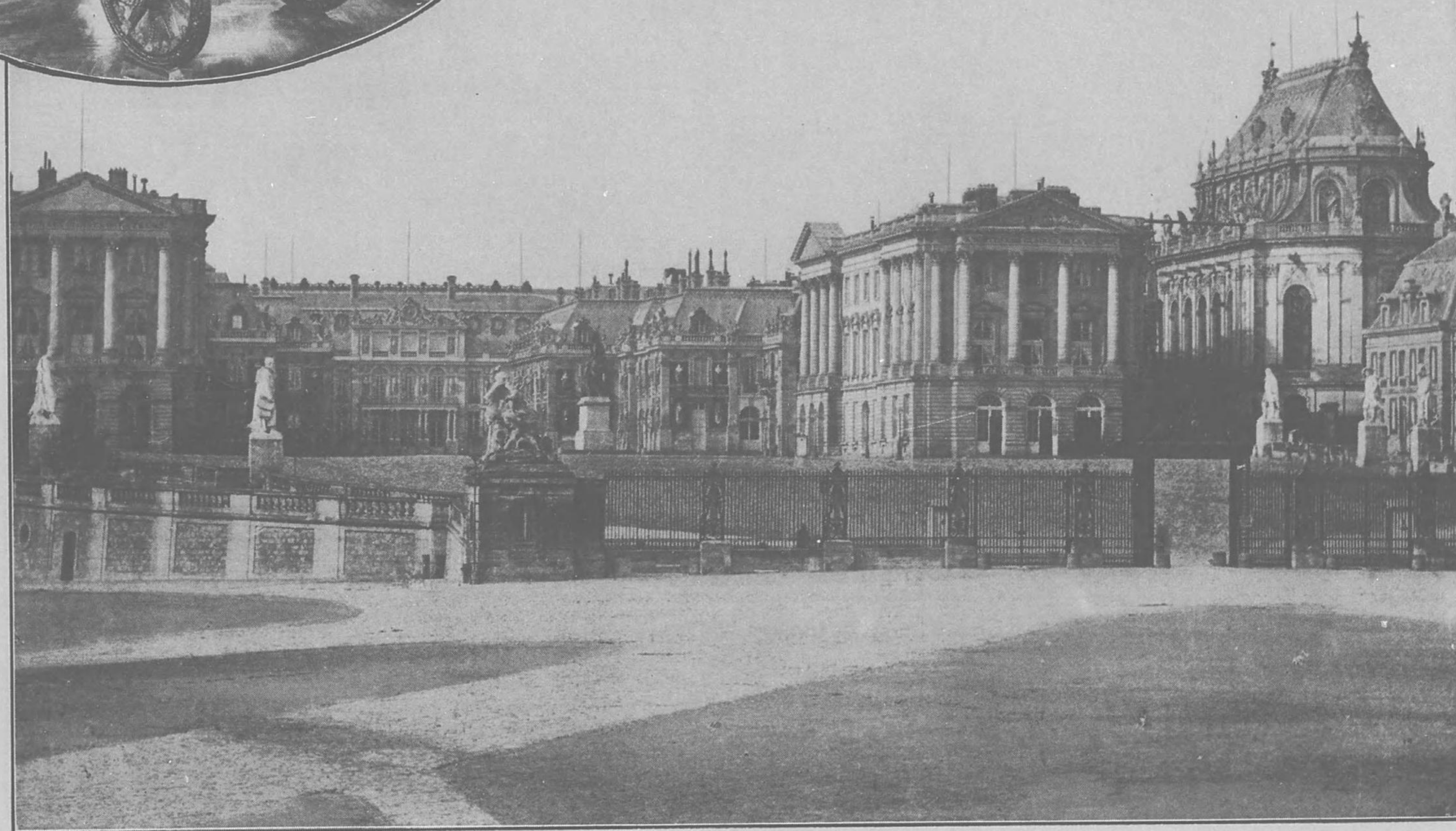
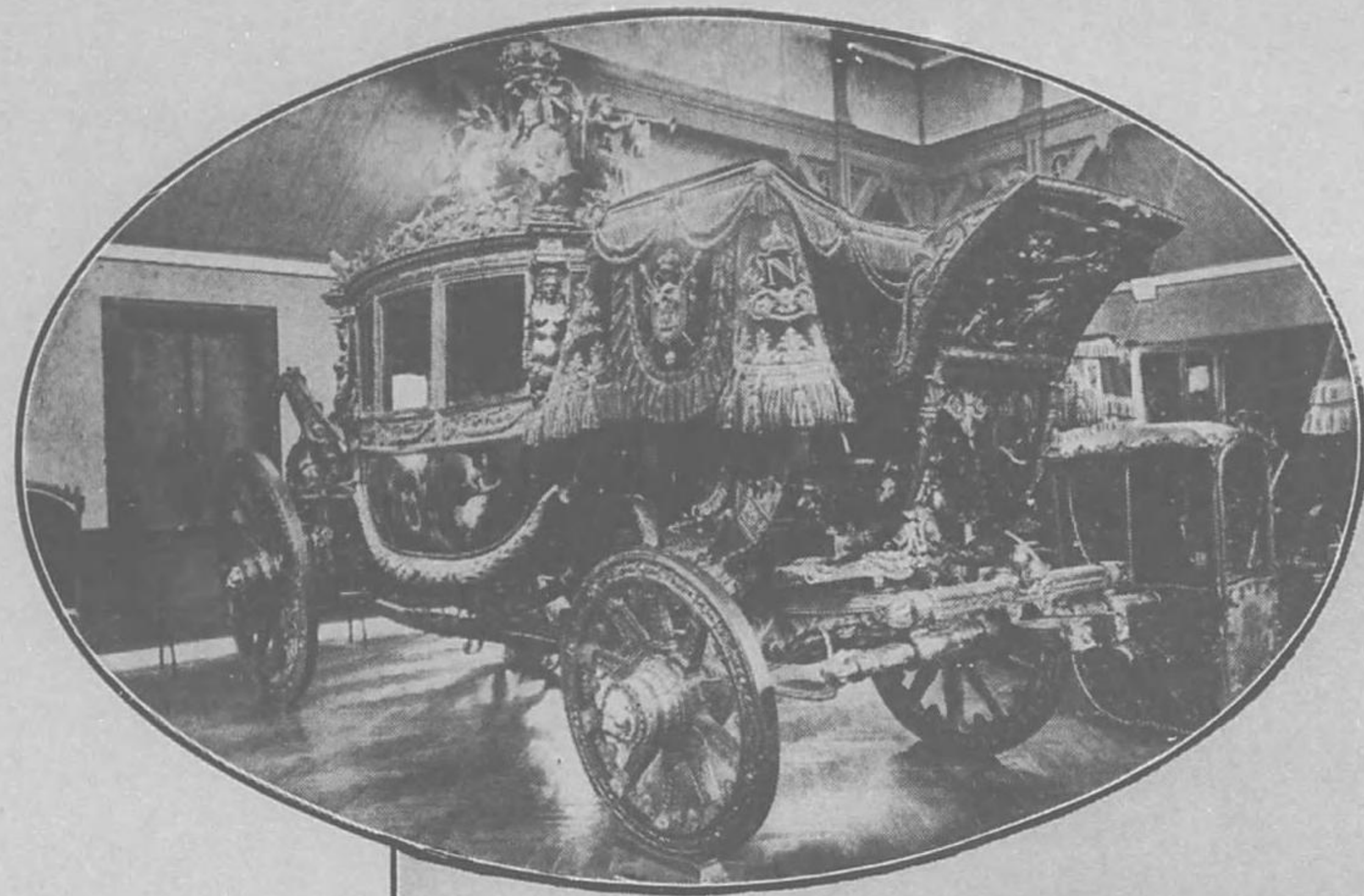
ノートルダム・バリー寺院

ノートルダムは巴里の本願寺にして西暦一千百六十三年に於て四世紀の頃創設せられたる舊寺の址に建てられたるものにて第一の礎は其當時佛蘭西に隱遁し居たる法皇アレキサンダール三世の据ゑたるものなりと云ふ全體に於て此寺の外観は少しく素朴なるも其最も美しき部分即ち其正面には無數の肖像を彫刻せられ塔の欄干には種種怪獸の彫刻あり三百有餘の階段を登りて塔の頂上に出つれば巴里全市眼界の中に在り。此寺院の背部と相對する河岸に一小屋ありモルグと云ふ變死者の體軀を保存する所なりしも數年前之を他に移せりと云ふ。

巴里市廳

巴里市廳は西曆一千八百七十一年以後前型に基きハリニドベルトの兩氏に依り改築せられたるものにて佛國ルネッサンス式の莊麗なる建築物なり其周圍の大部分は渠を廻らじあり以前の建物は一千五百三十三年に創設せられたり市廳は巴里市行政の中心にして二十の區役所を統轄す。





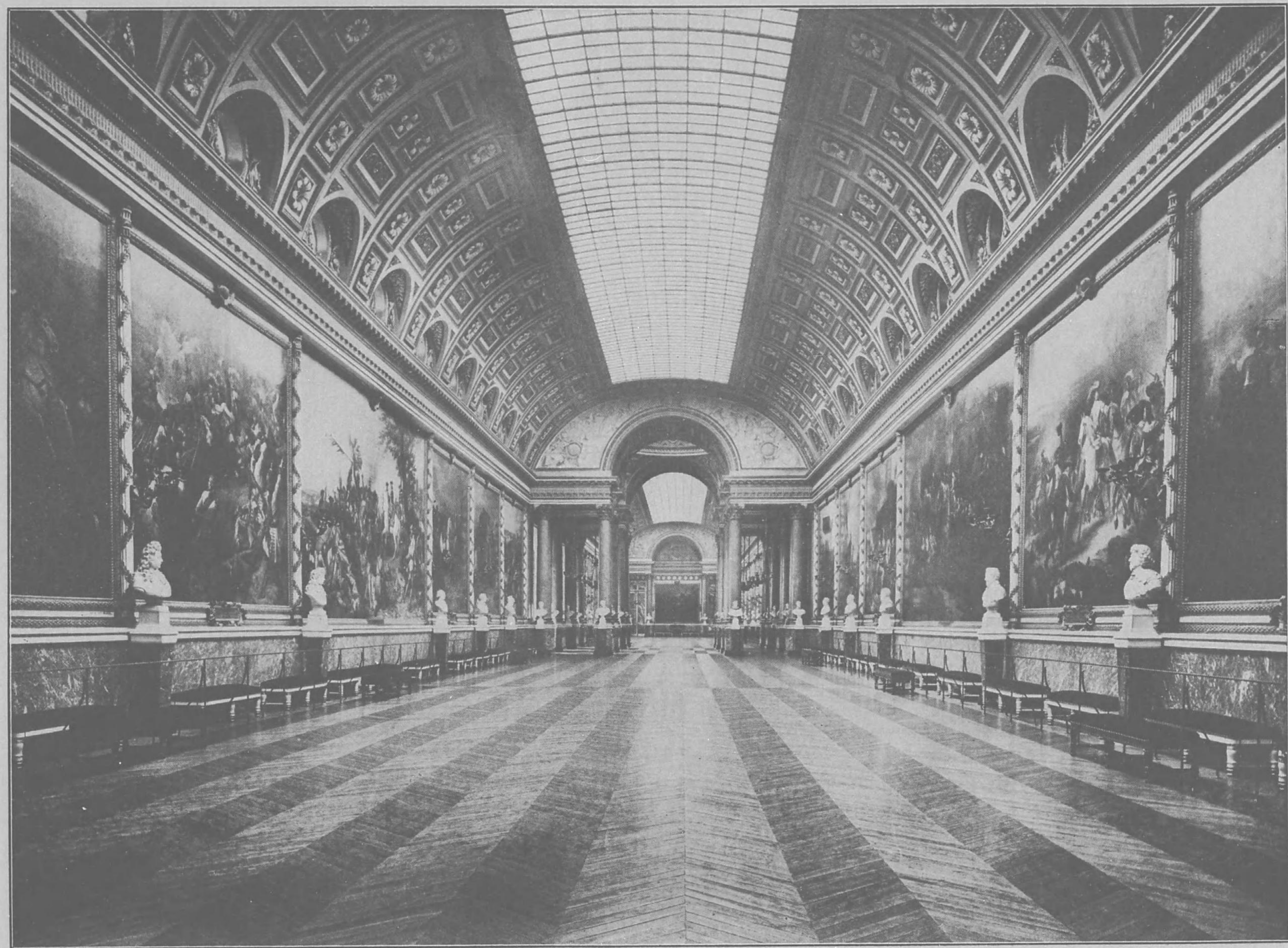
ヴェルサイユの宮殿(其二)

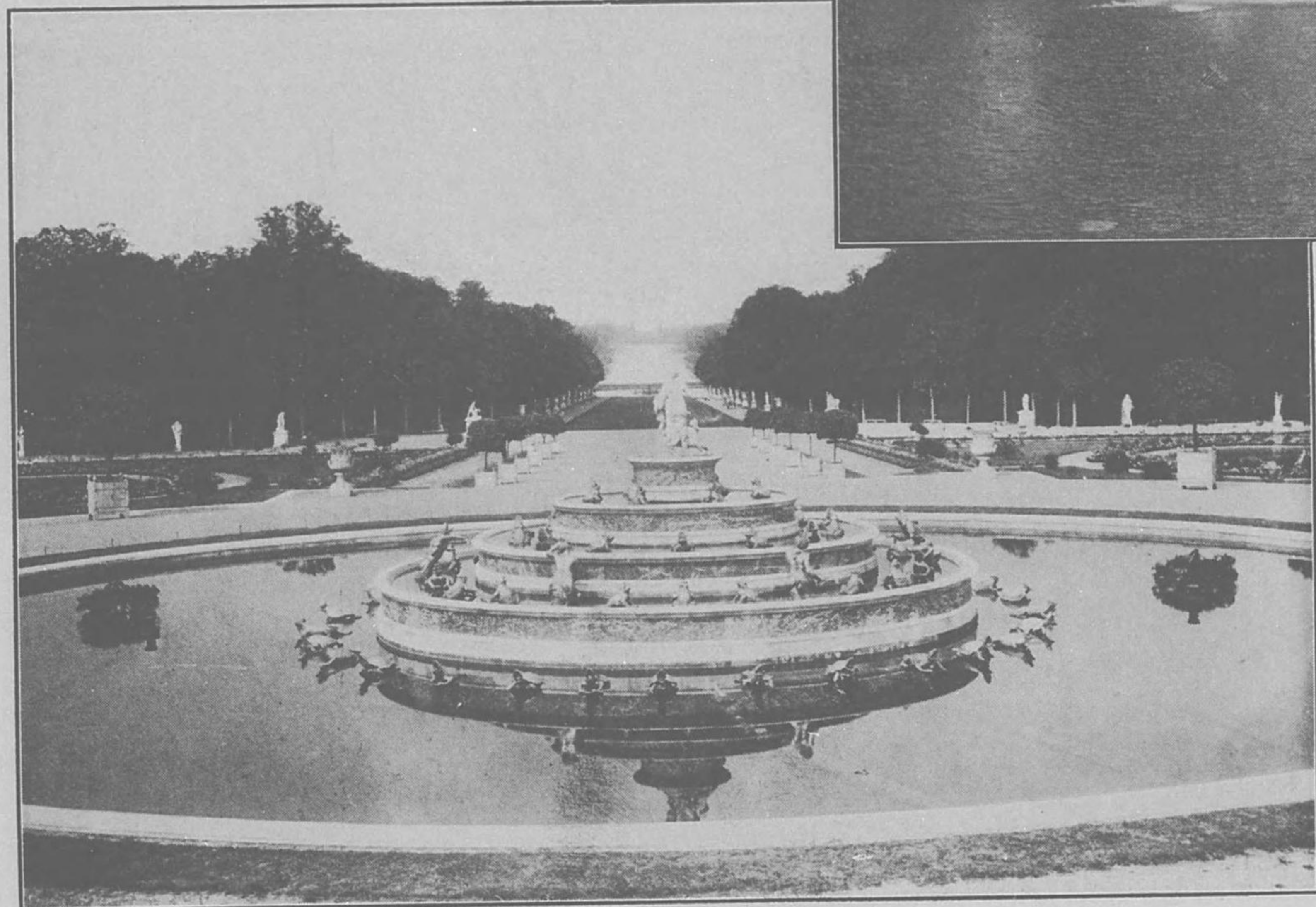
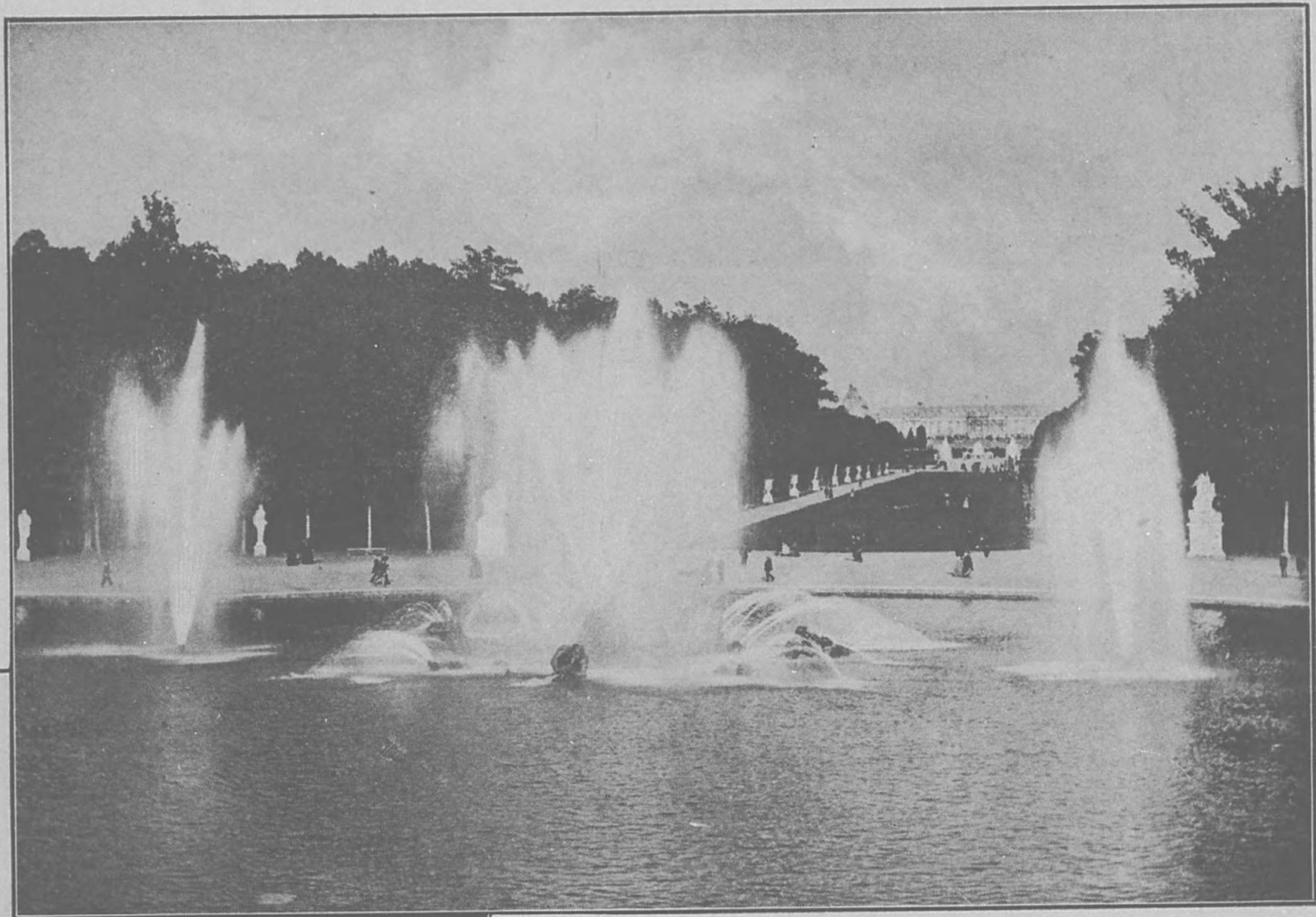
巴里の郊外に在り鐵道電車の便に依りて此に赴くを得へし路
易十四世全盛の當時世界の美術家を集めて西曆一千六百六十
四年より四十四年の歲月と二億五千萬圓の經費とを捐て建築
したる宮殿にして敷地五十方哩其豪華を極めたる筆舌の能く
盡す所にあらず而して路易十六世は實に此宮殿より巴里市に
引出されて斷頭臺に上りナポレオン亦此處に豪華を盡くした
る處なり又普佛戰爭の際には獨逸軍の本營と成り其他幾多の
史蹟を有し佛國史を彩るに最も値價ある宮殿なり。

上圖の馬車はナポレオンの即位式に使用されたるものなり
といふ。

ヴェルサイユ宮殿(其二)

同宮殿中の一室なる戦争の間にして左右の壁畫は佛國の古昔よりナポレオンに至るまでの繪畫を以て満たされたる所謂戰爭畫室なり。



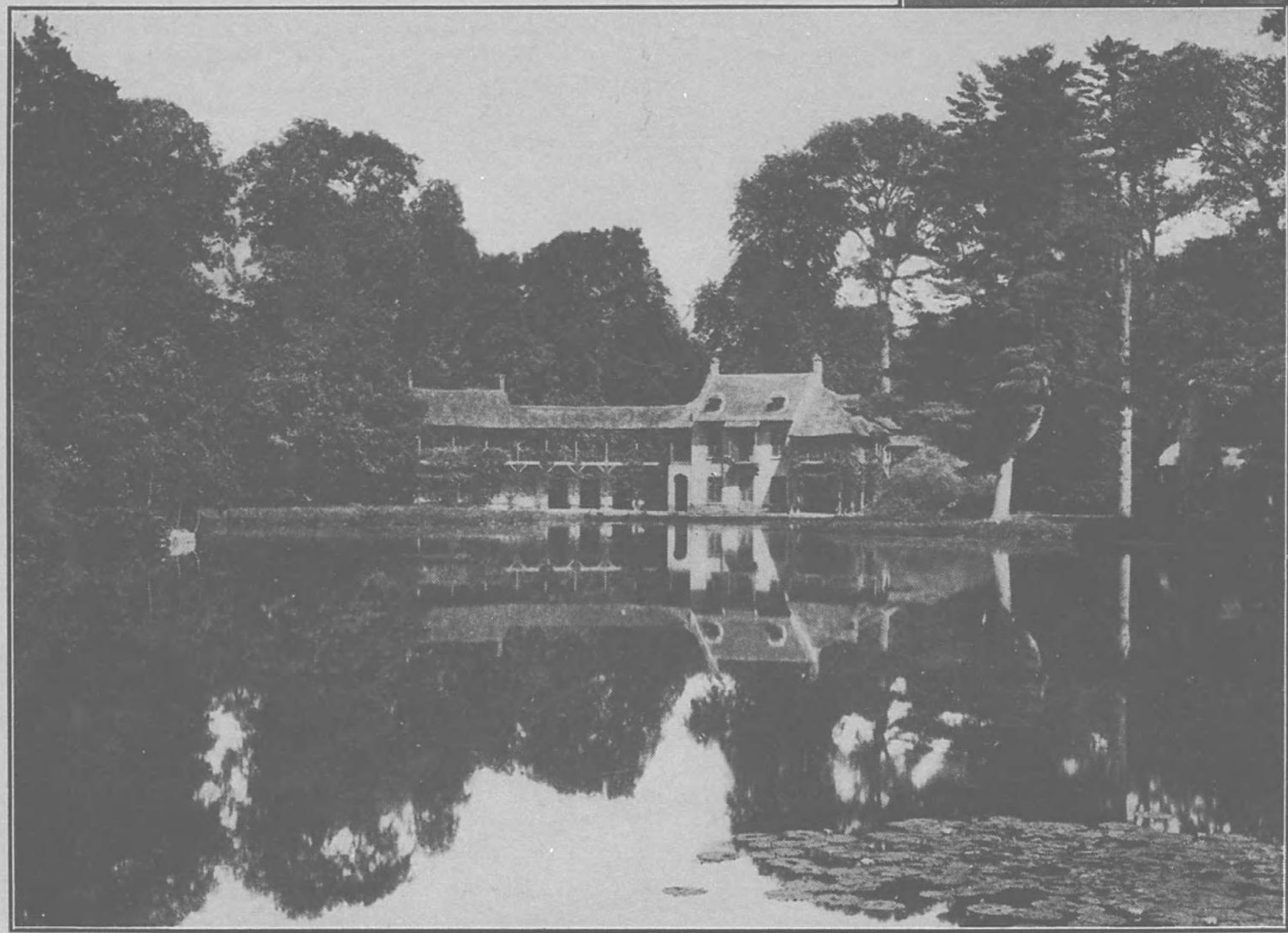


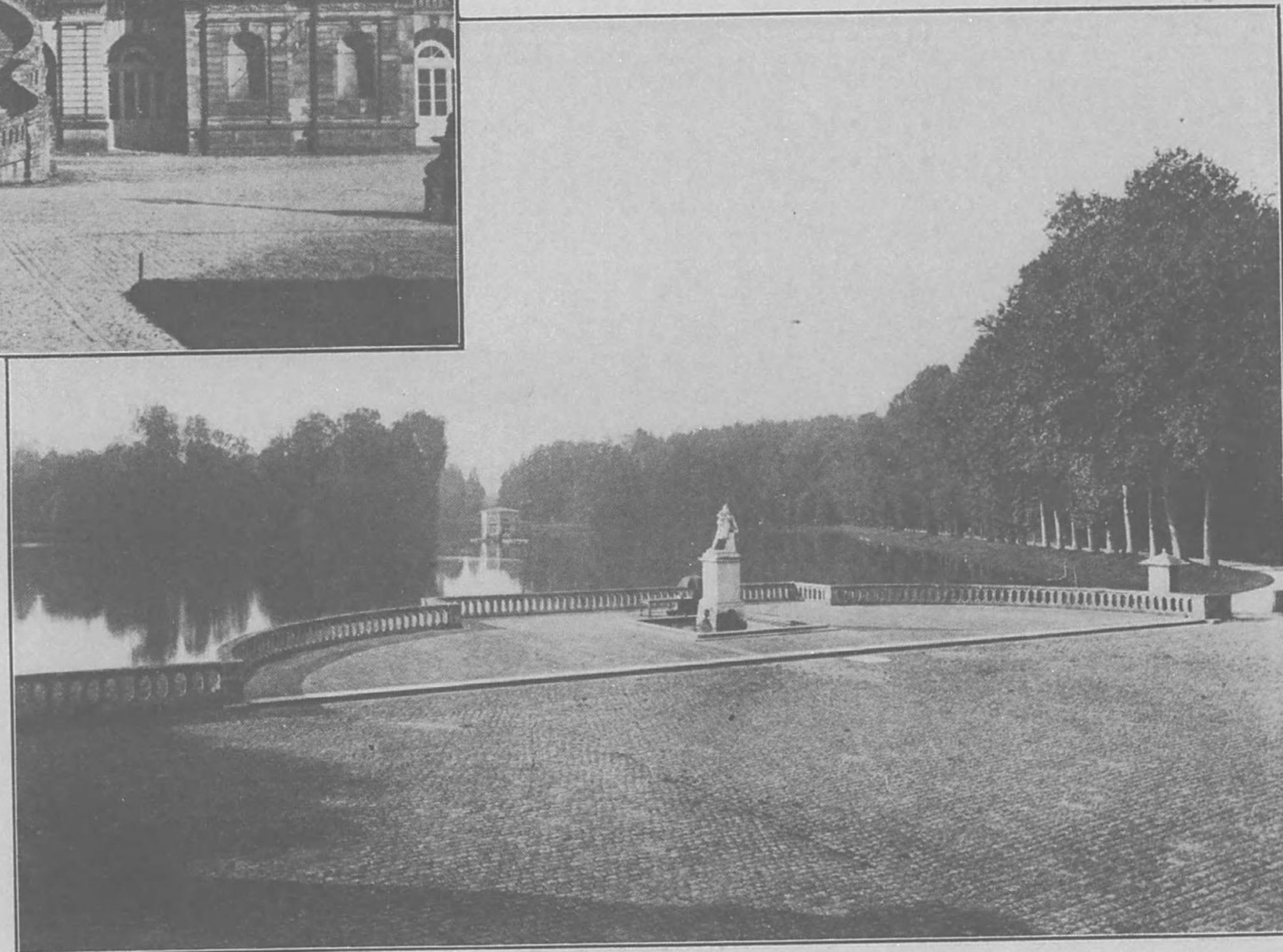
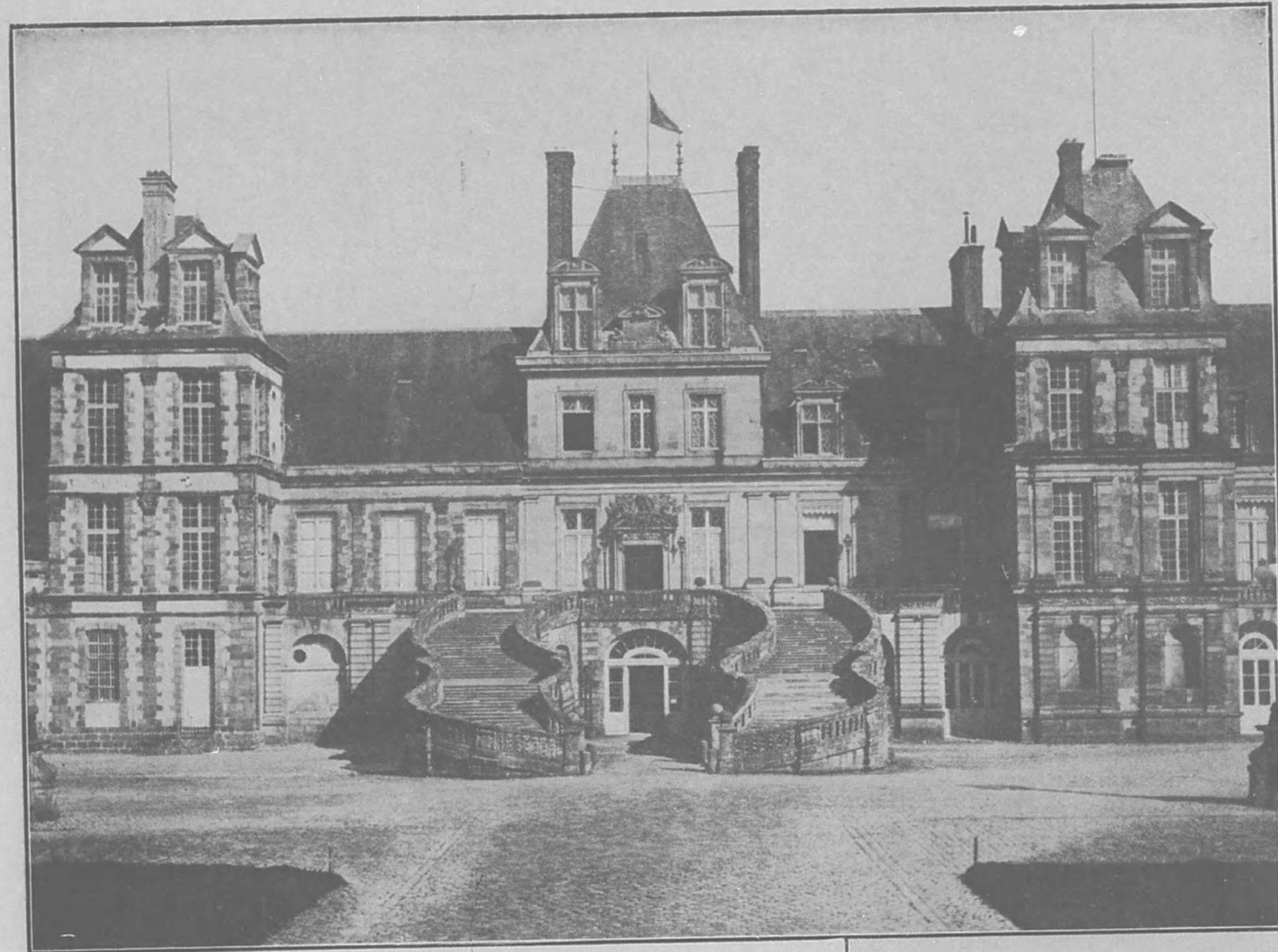
ヴェルサイユ宮殿庭園内の噴水

此噴水は一箇月に一回時間を期して水を噴出せしめ池の岸より豎に噴き出つるもの四五十本池中よりするもの六七本竝に物體の口等より噴水するもの其數を知らず其一齊迸射日光に映して幾多の虹蜺を現出するや四邊の綠樹と相反映して光景頗る壯麗を極むるを以て遊覽客の膺至雜鬧最も甚し。

ヴェルサイユに於けるプチトリアノンの宮庭

プチトリアノンの宮庭は終日公開せらるマリアントフネットの爲に作りたる英國式の庭にて今日にても尙多く舊體を存す特にドシュッシーの植付たる外國樹あり湖畔には水車、藁屋等あり宮中奉仕の侍女をしてジャンジカックルソー趣味の自然生活を味はしめたる所なり。



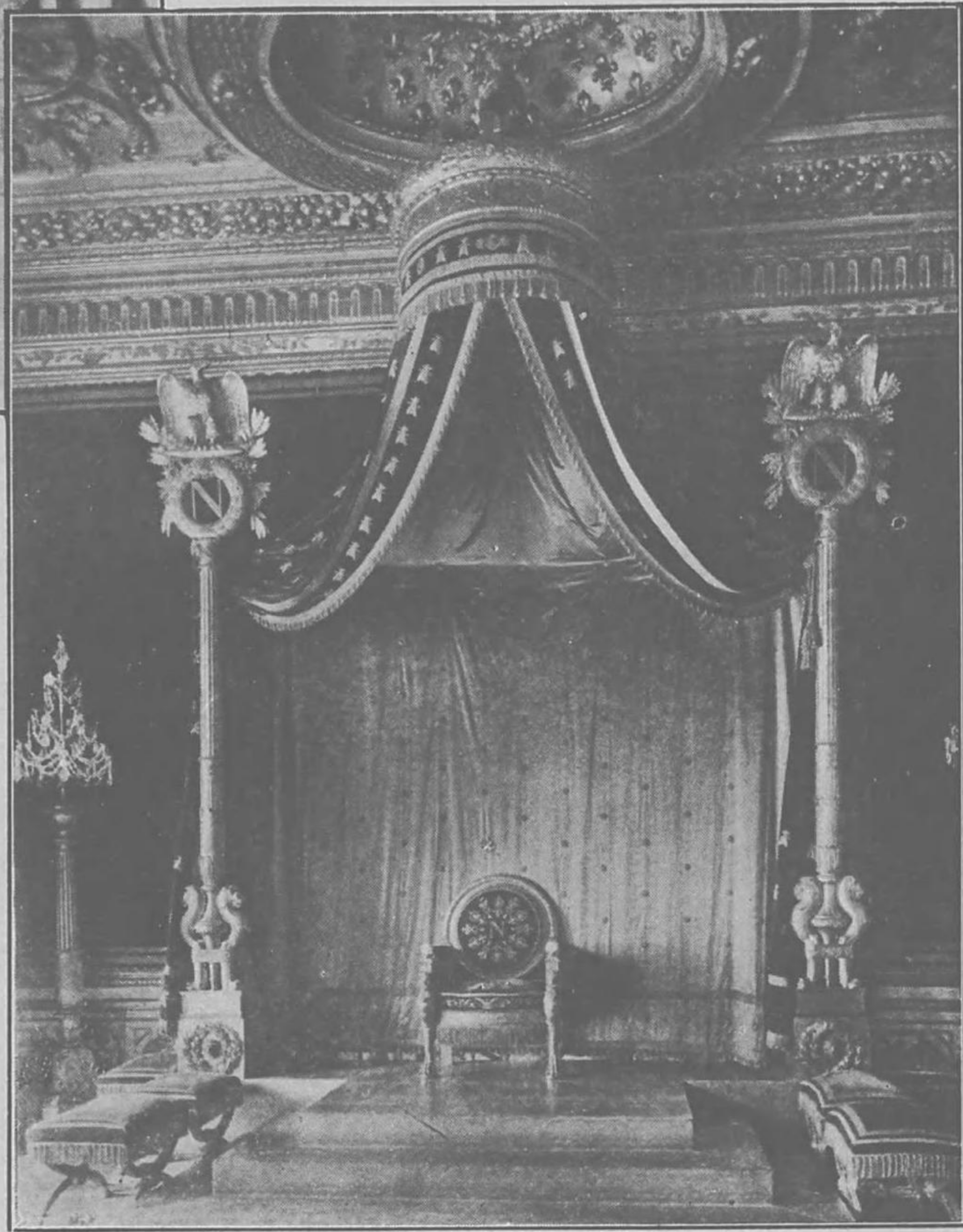
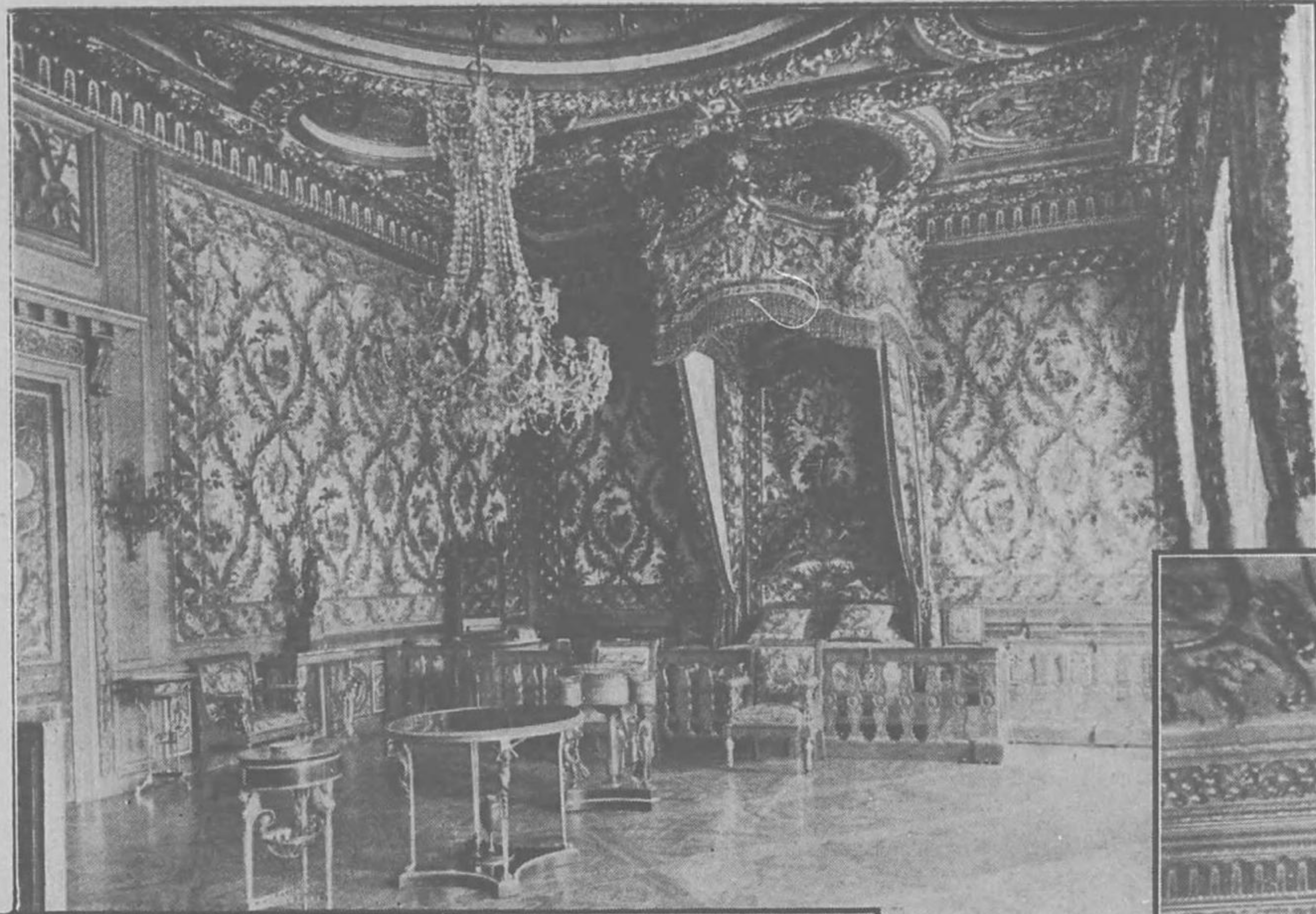


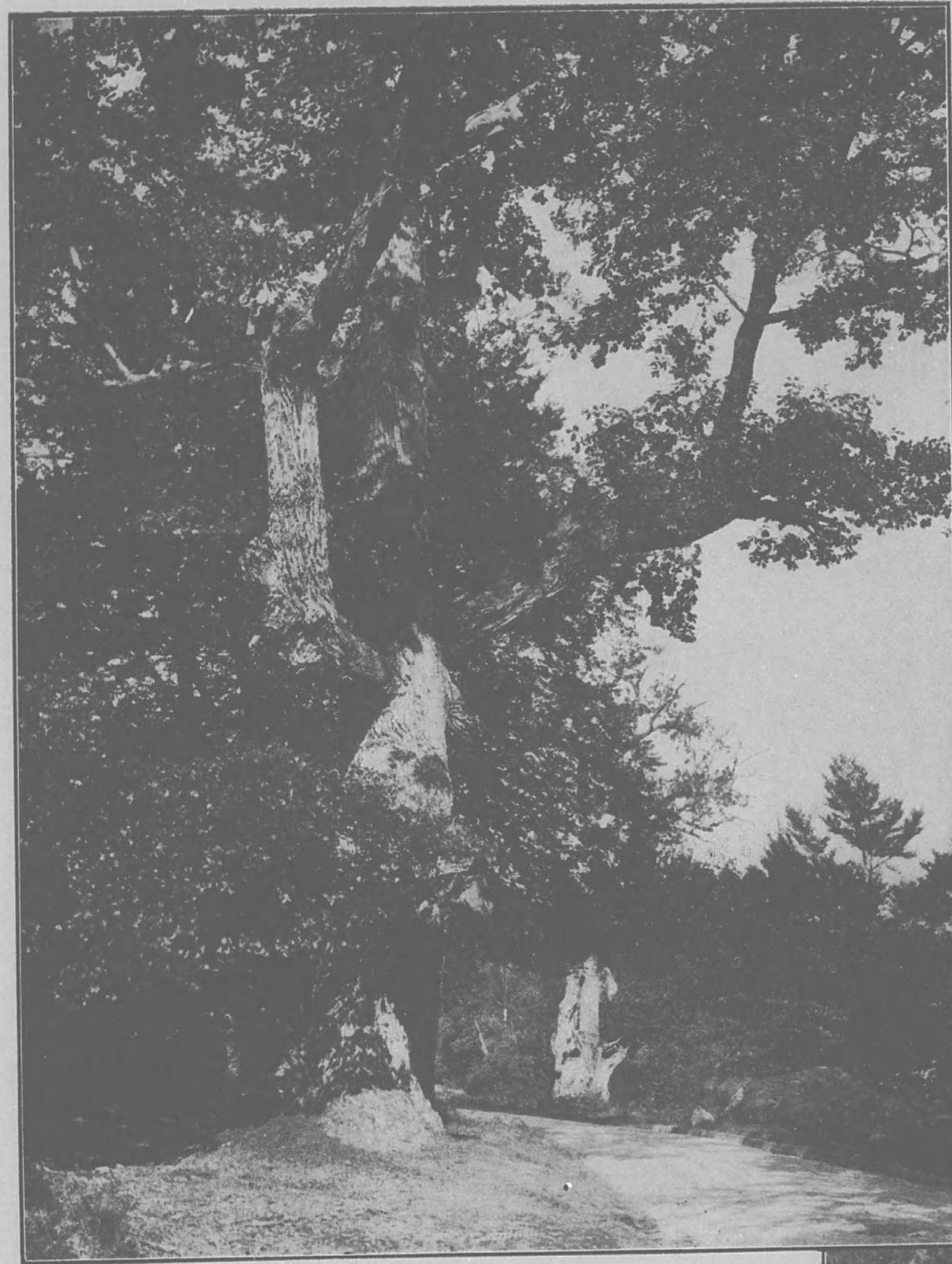
フオンテンブロー宮殿(其二)

ヴェルサイユの附近に在りて其由緒はヴェルサイユより舊く其の規模亦之に劣らず此中の蹄鐵形階段はナポレオン廢位の時此上に於て告別演説を爲せりと云ふを以て其名高し。

フオンテンブロー宮殿(其二)

何れも宮殿の内部にして上圖はマリリアントネット寢室下圖の
右方はナポレオン帝の玉座左方はアンナ皇后の寢室なり。





ドヌクールの塔

ドヌクールの塔はフォンテンブローの勝景の一にして其眼界の廣きを以て有名なり停車場より半時間フォンテンブロー市より約四十五分を以て達するを得へし中に望樓及休憩所あり塔内には此森の研究に其多大の資産を投じたるドヌクールのブロンズ製像あり塔上よりは周圍三十八哩を見渡し晴天には遠く巴里のエッフェル塔を望見するを得と云ふ。

フォンテンブローの森

フォンテンブローの森は周圍五十方哩面積一千七百萬坪ありて佛國中最も立派なるものゝ一と稱せられ東北はセーヌ河の屈曲したる流によりて劃せられ地勢は起伏甚しく且つ砂礫より成る其廣大なる林及荒廢したる地は變化ありて却て景致に富む今は市人の散策地となり又畫家には良好の畫題を與ふるものゝ如し。